向出遺跡発掘調査報告書 — 00-1区—

2009年 阪南市教育委員会

はしがき

国道26号線(第二阪和国道)は、当市の暮らしや産業を支えるためになくてはならない大切な幹線道路です。しかし、新しい築造物は地下に眠る多くの文化財を破壊しなければ築けないのが現状です。

国道26号線延伸に先立つ発掘調査では、多くの遺跡が破壊されましたが、それと引き換えに新しい発見もあり、市域の歴史も塗り替えられました。

当教育委員会は土木工事などで破壊されていく遺跡を、せめて記録として子孫に残すことが大切な責務と心得、埋蔵文化財行政を行っております。

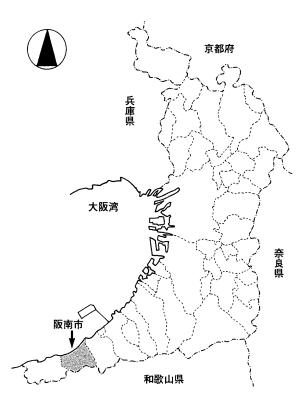
遺跡は一度壊してしまうと二度と甦らないものです。何百、何千年の間、地下に眠っている人類の歴史を破壊する権利は、現代の我々にあるはずがありません。

今後も我々は子々孫々に恥ずかしくない埋蔵文化財行政を行っていくよう努力する所存です。

今回の調査に当たり、ご指導、ご協力いただきました関係者に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2009年3月

阪南市教育委員会



第1図 阪南市位置図

例 言

- 1. 本書は阪南市自然田に所在する向出遺跡の発掘調査報告書である。
- 2. 本調査は、平成12年6月から10月まで、国土交通省近畿地方建設局浪速国道工事事務所の委託を受け、阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課が行った。
- 3. 調査は生涯学習部生涯学習推進課田中早苗が担当して実施した。
- 4. 本書内に示した標高は、T.P.であり、方位は既製の地形図などを使用したものを除いて磁北である。
- 5. 調査に当たっては土地所有者など、関係者各位の理解と協力を得た。ここに記して感謝の意を表したい。
- 6. 本書の執筆・編集は田中早苗、縄文土器及び石器の記述は横澤 慈(現大分県 教育委員会)が行った。また、発掘調査、整理作業は以下の調査従事者による。
- 7. 骨片については安部みき子氏(大阪市立大学)の所見による。
- 8. 本調査における記録は実測図、写真、カラースライドなどに保存されている。 当教育委員会にて保管しているので、広く活用されたい。

(調査従事者)

和田旬世、井上祥子、井上 進、島田万帆、外池美渡里、上田妙子、滝本奈保子、福森由紀、中寺幸子、廣島良子、谷口恒子、芝 尚幸

目 次

第1章	調査にいたる経過	1
第2章	歴史的環境	2
第3章	調査の成果	
第1節 調査の方法		4
第2節	5 遺構・遺物	7
第4章 まとめ		41
遺物観察表		42
報告書抄	绿	

第1章 調査にいたる経過

阪南市の幹線道路である国道26号線(第二阪和国道)の阪南市自然田から岬町淡輪間の延伸は、昭和63(1988)年に計画、事業化され、15年後の平成15(2003)年に阪南市自然田と箱作間の約4.5kmが部分開通し、阪南市域における慢性的な交通の停滞はようやく解消された。

しかし、その地中には久保田遺跡、向出遺跡、向山遺跡、亀川遺跡、井関遺跡などが存在し、工事に先行して平成8 (1996)年より(財)大阪府文化財調査研究センターによる発掘調査が行われ、多くの成果を得た。

これら本線部の調査は面積も広く、華々しく新聞紙面を飾ったものもあったが、それに伴う付属工事は面積も狭く、忘れられがちである。

本調査は上記の本線部工事によって台地が削平されたため、台地の東側に取り残された耕作地490m²を削りとって、側道の高さに合わせるため、計画された工事に先立つ調査である。 現地は(財)大阪府文化財調査研究センターが平成10(1998)年に発掘調査を行い、多くの遺構、遺物を検出した調査区に隣接するため、試掘調査は実施せずに調査を行った。

以下にその成果を報告する。

第2章 歷史的環境

向出遺跡は大阪府阪南市自然田に所在し、市の東端部を流れる男里川の支流である菟砥川 と山中川に挟まれた狭小な台地上に広がる遺跡である。

当遺跡は、昭和62(1987)年度に阪南町教育委員会が行った埋蔵文化財分布調査で発見された。この調査では縄文時代のサヌカイト製石器が多く採取されたが、詳細な時代がわかる遺物としては縄文時代晩期の土器が若干確認されたのみであった。その後、小規模な調査が数件行われたものの縄文時代の遺構は検出されなかった。

平成9 (1997)年に(財)大阪府文化財調査研究センターが国道26号線(第二阪和国道)延伸の道路部分約8975m²の調査を行い、縄文時代の土坑墓群を発見したため、平成10(1998)年より史跡指定を考慮した範囲確認調査を当教育委員会が4年にわたって行うこととなった。その結果、遺跡の中部では古墳時代中期の住居跡、南部では縄文時代後期から晩期の土坑墓群の広がりを確認した。

向出遺跡より南側の台地上では、縄文時代の土坑墓や弥生時代後期から古墳時代初頭の集落などが発見された向山遺跡(47)が存在し、その南側には自然田遺跡(35)が広がる。

自然田遺跡からは縄文時代の石器が採取されているが、十数件の小規模な発掘調査は行われているものの、詳しい遺跡の性格はわかっていない。

さらに南側の玉田山丘陵の山頂付近には玉田山遺跡(6)が、西側山麓には古墳時代終末期の横穴式石室2基から構成される玉田山古墳群(5)が存在する。

玉田山遺跡は江戸時代に成立した垂仁天皇の皇子である五十敷入彦命の宇度墓伝説があったが、昭和57(1982)年、丘陵頂上の公園整備事業に伴う事前調査では、箱式石棺を検出したものの宇度墓と関連するものは発見されなかった。

寺田山遺跡(7)は玉田山古墳群から望む西側平地に位置し、古墳を築造した集団の住居の存在が期待されていた。当教育委員会では平成11(1999)年度に約4000m²の民間の開発工事に伴う発掘調査を行い、大幅に削平されていたものの、弥生時代後期の竪穴住居や土坑墓などを検出し、土器とともにサヌカイト製石器と大量のサヌカイト剥片が出土したが、古墳時代の遺構は見られなかった。

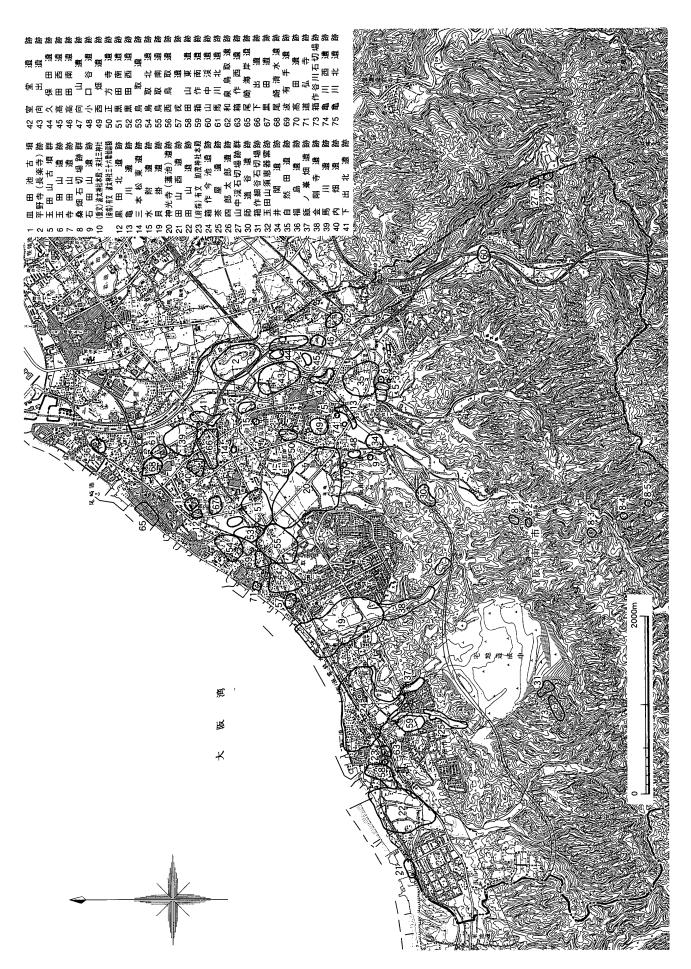
参考文献

阪南町史編さん委員会 1983 『阪南町史』上巻

阪南町教育委員会 1982 『玉田山遺跡発掘調査報告書─大阪府泉南郡阪南町自然田所在─」(阪南町埋蔵文財報告Ⅲ)

阪南市教育委員会 1988 『阪南町埋蔵文化財分布調査概要 I』(阪南町埋蔵文化財報告 VI)

財団法人 大阪府文化財調査研究センター 2002 『向山遺跡発掘調査報告書 - 大阪府阪南市自然田所在 - 一般国道26号線(第二 阪和国道)建設工事に伴う』(財団法人 大阪府文化財調査研究センター調査報告書第72集)



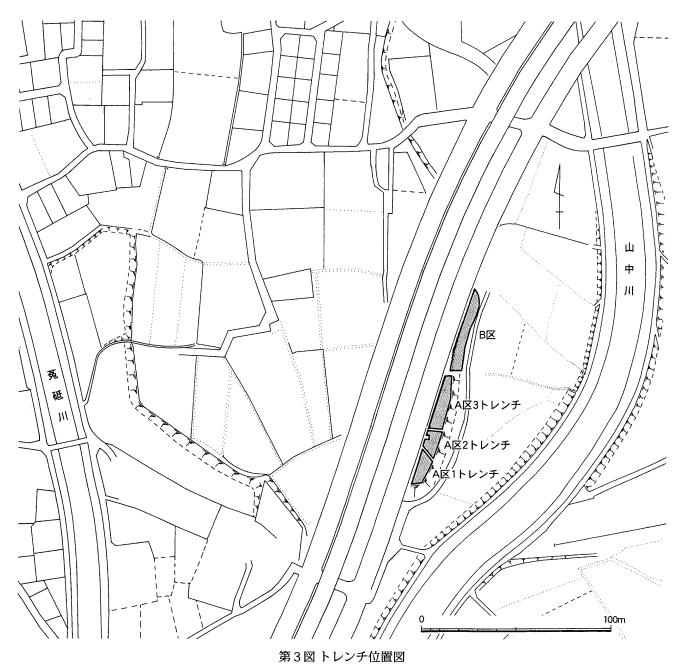
第2図 阪南市埋蔵文化財分布図

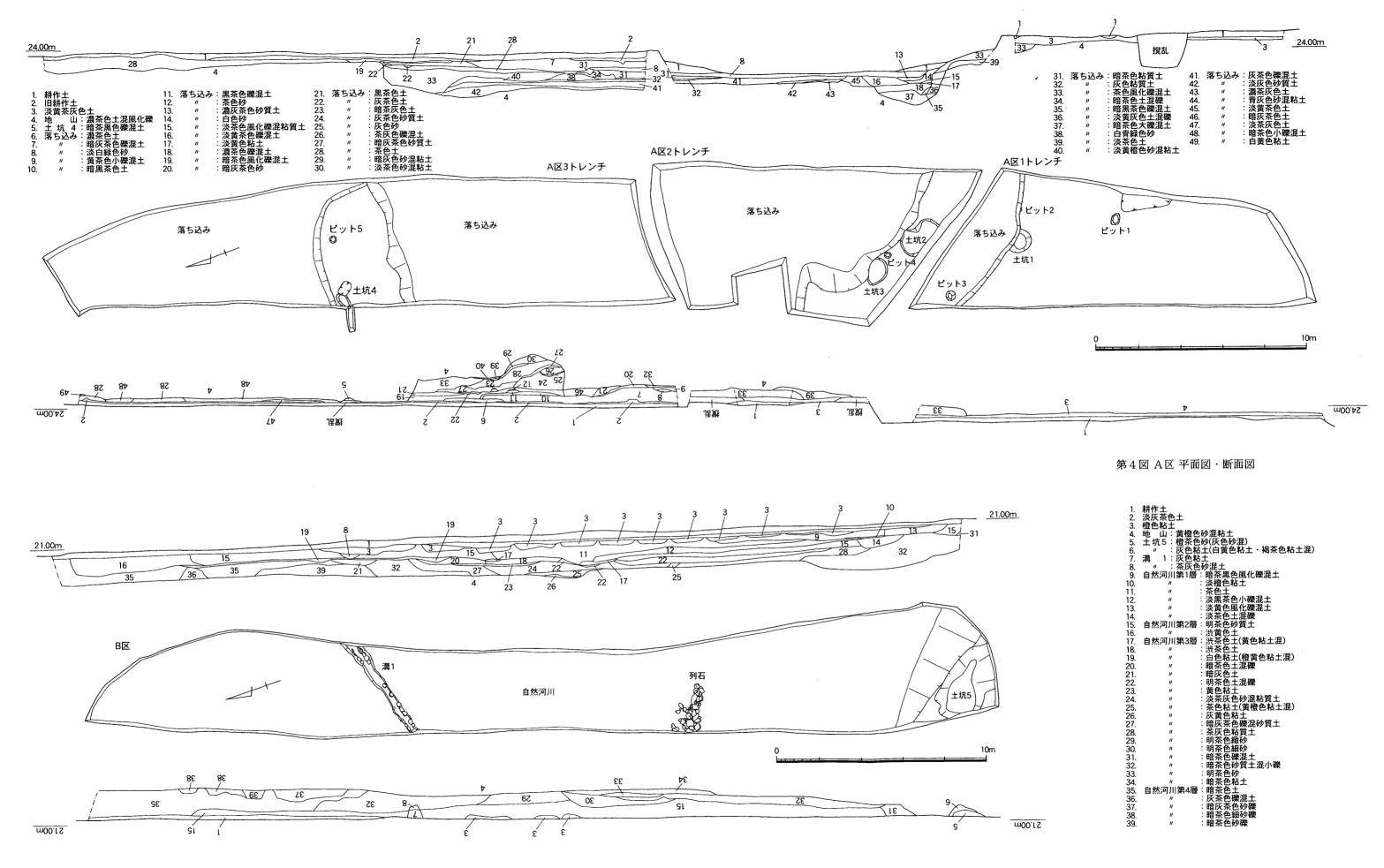
第3章 調査の成果

第1節 調査の方法

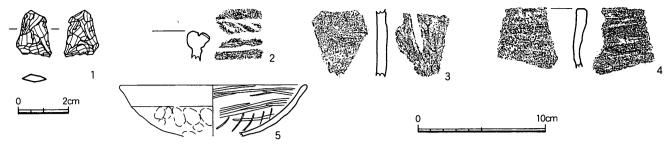
(財)大阪府文化財調査研究センターが発掘調査を行った調査区に隣接することから試掘調査を経ずに発掘調査を実施した。

調査報告は便宜上、南側の台地上をA区、北側の平地部をB区として報告する。A区は現 況の耕作面単位の3区画に分けて調査を行い、それぞれ南側から1・2・3トレンチとした。 その為、A区の全景写真は3区画に分かれている。





第5図 B区 平面図・断面図



第6図 A区 第3層 出土遺物

第2節 遺構・遺物

A区(第4·6図)

現況の高さは1トレンチはおよそT.P.+24.70m、2・3トレンチはおよそT.P.+24.00 mである。西側は平成10(1998)年度に(財)大阪府文化財調査研究センターが発掘調査を行い、縄文時代後期~晩期の土坑墓群や弥生時代後期~古墳時代前期の竪穴住居を発見した調査区に隣接する。

基本層序は第1層耕作土、第2層旧耕作土、第3層淡黄茶灰色土、第4層濃茶色土混風化 礫の地山である。第3層は南側の1トレンチにのみ存在する。

遺物は第3層からサヌカイト、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶器、磁器などが出土した。近世期の包含層と考えられる。

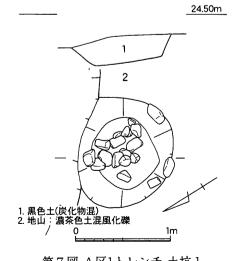
図示できた遺物は以下のとおりである。1はサヌカイト製で先端部を欠損する石鏃と思われる。2~4は縄文土器である。2は口縁を肥厚し、拡張した上端面に沈線を、その口縁端部外側にかけて短沈線を施す。後期前葉の四ツ池式・広瀬土壙40段階に比定できる。3は条痕地で、外面に縦位の沈線を施すが、詳細は不明。縦位沈線から、北白川上層式1期であろうか。4は無文土器の深鉢で、口縁は若干肥厚し、端部は面をもつ。いずれも後期に属する。5は瓦器椀で13世紀前半のものである。

遺構は土坑4基、ピット5基、落ち込み1を検出した。

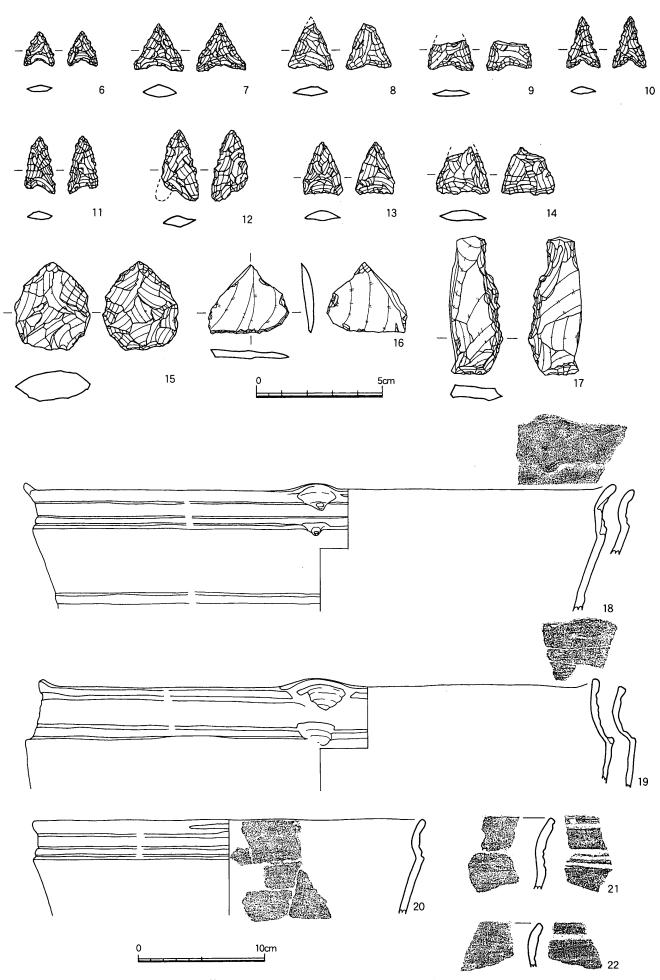
土坑1(第4.7~9図)

A区1トレンチ北部の地山面で検出した。北側は落ち込みに削平されている。東西1.22m、南北1.12m、深さ0.30mを測り、埋土は黒色土で炭化物が混じる。遺物はサヌカイト製の石鏃・スクレイパー・剥片、縄文土器、骨片が出土した。縄文時代の土坑である。

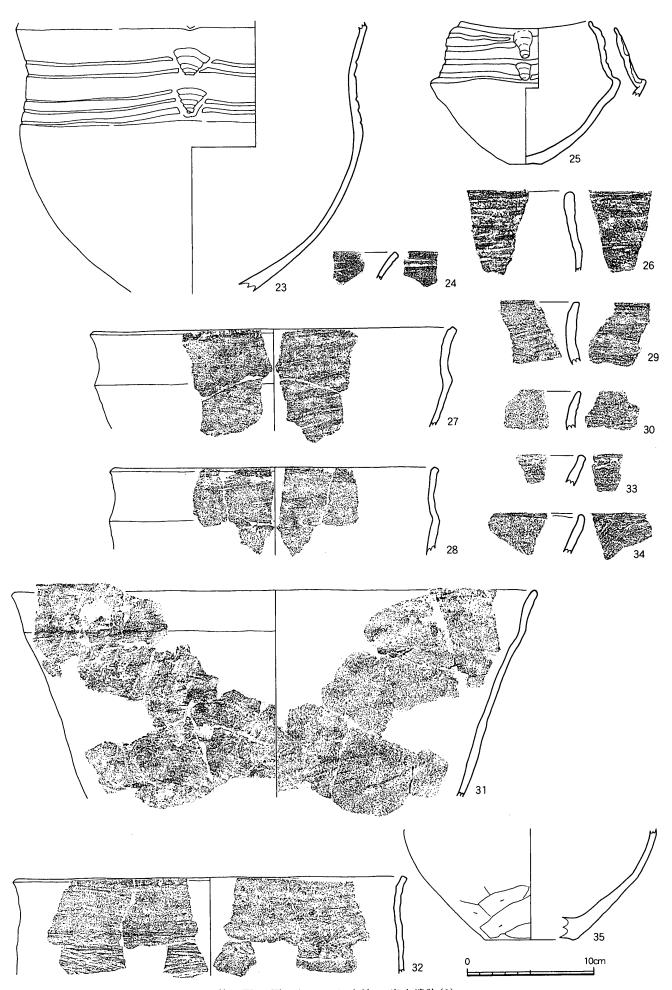
6~12は凹基無茎式石鏃である。8・9は基部の抉りが浅く先端部を欠損する。いずれもサヌカイト製である。13・14は平基無茎式石鏃で、14は先端部を欠損する。いずれもサヌカイト製である。15~17はスクレイパーで、いずれもサヌカイト製である。



第7図 A区1トレンチ 土坑1 平面図・断面図



第8図 A区1トレンチ 土坑1 出土遺物(1)



第9図 A区1トレンチ 土坑1 出土遺物(2)

18~35は縄文土器で、後期後葉に属する。

18~25は巻貝による凹線と扇状圧痕が特徴の宮滝式有文土器である。18~22は深鉢で、頸部で屈曲し、口縁は外反する。口縁下に凹線を1条、その下に間隔をあけて2~3条施す。18・19は口縁に半円形突起をもち、その下に巻貝の扇状圧痕を2段施す。23は口縁部を欠くが、同様の器形であろう。19・21・22の口縁端部は面取りし、他は丸くおさめる。24は外に開く器形で、鉢ないし浅鉢と考えられる。25は小型の浅鉢である。口縁から頸部にかけて凹線と巻貝扇状圧痕を2段施す。

26~34は無文土器である。26は頸部で屈曲し、口縁は内傾するもので、端部は丸くおさめる。27~31は頸部で屈曲し、口縁が外反する器形で、27~29は口縁端部を面取りし、30・31は丸くおさめる。32は頸部での明瞭な屈曲がなく、口縁

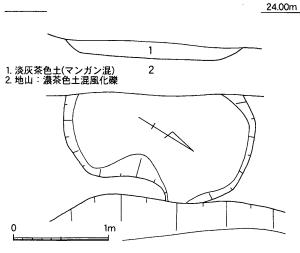
は緩やかに外反し、口縁端部は面取りする。33・34は外に開く口縁で、33の端部は面取りし、34の口縁は若干内側に折れ、端部は丸くおさめる。35は底部で、底面は凹み底である。これらは宮滝2式に比定できる。有文土器の種類や無文土器の器形から、一括性は高いものと判断できる。

出土した骨片はすべて焼成を受けており、人骨か獣骨かは不明である。

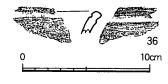
土坑 2(第4・10・11図)

A区2トレンチ南部の落ち込みの埋土を除去後に地山 面で検出した。東西1.40m以上、南北2.00m以上、深さ0.17m、埋土はマンガン混じりの淡 灰茶色土である。

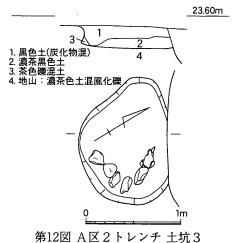
遺物はサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器が出土した。図示できたのは1点のみである。 36は外反口縁の縄文土器の浅鉢で、内外面とも口縁下に凹線を1条施す。宮滝2式に比定で きよう。遺物から考えると弥生時代以降の土坑である。



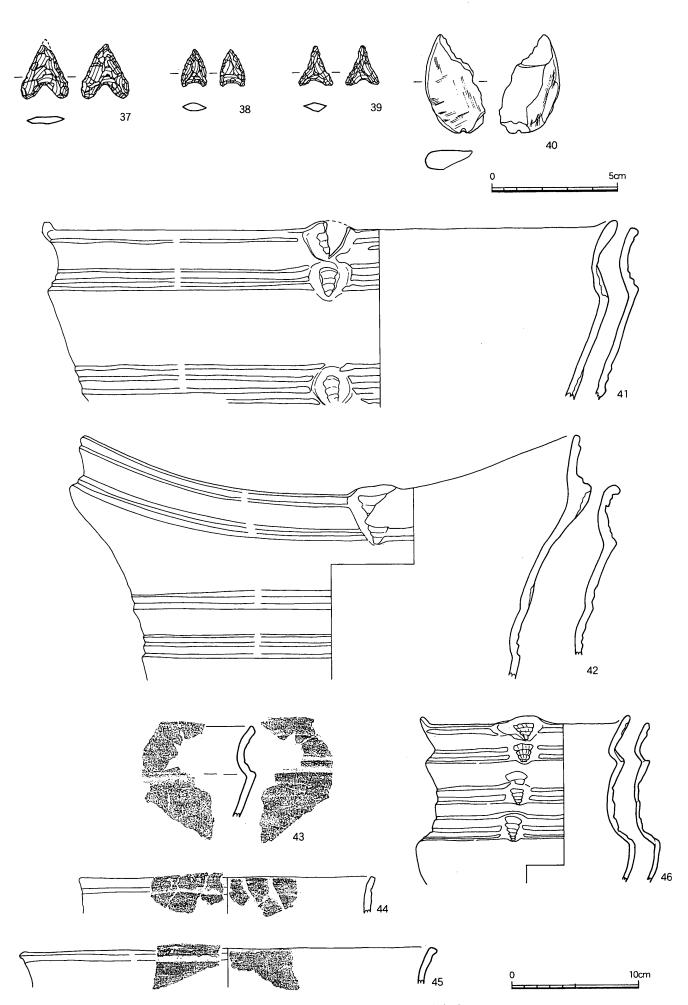
第10図 A区2トレンチ 土坑2 平面図・断面図



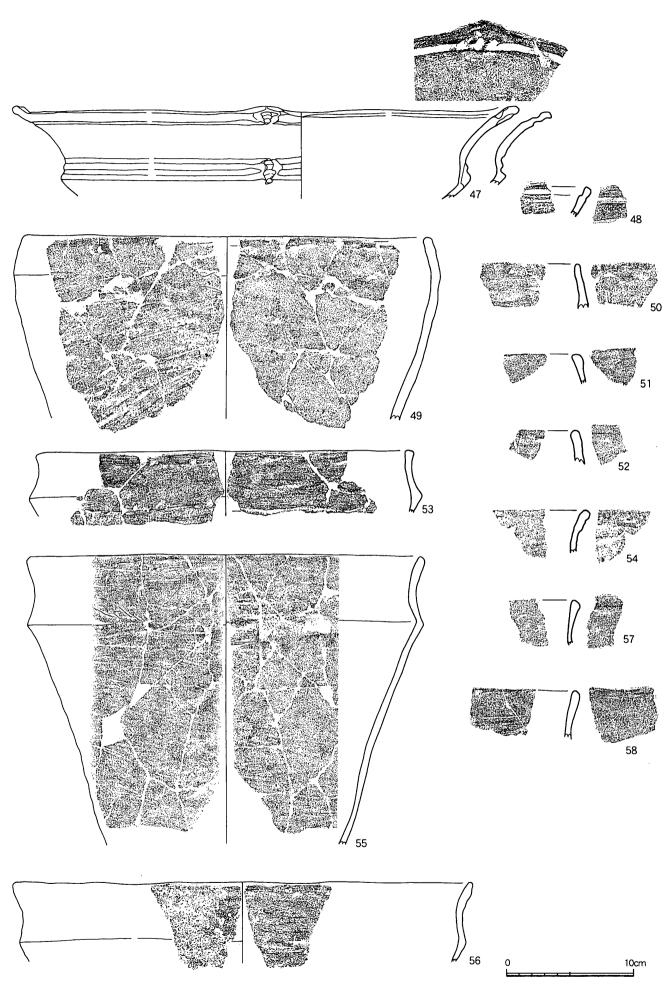
第11図 A区2トレンチ 土坑2 出土遺物



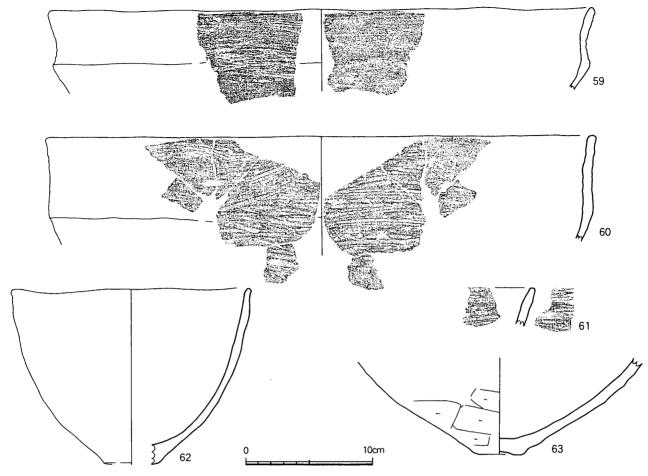
第12図 A区2トレンチ 土坑3 平面図・断面図



第13図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(1)



第14図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(2)



第15図 A区2トレンチ 土坑3 出土遺物(3)

土坑 3 (第4・12~15図)

土坑2の北西側に位置し、落ち込みの埋土を除去後に地山面で検出した。東西1.30m、南北0.95m以上、深さ0.25m、埋土の第1層は土坑1と同じ黒色土で炭化物が混じる。第2層 濃茶黒色土、第3層茶色礫混土である。遺物は第1層からサヌカイト製の石核・石鏃・剥片、縄文土器、石錘、炭化物、骨片、第2層からサヌカイト剥片、縄文土器、炭化物が出土した。

37~39は凹基無茎式石鏃である。37は直線的な側縁をもち、38は先端部の手前で屈曲し、39は側縁中央で屈曲する。いずれもサヌカイト製である。40は切目石錘で、大半を欠損する。 表面には研磨痕が認められる。石材は片岩である。

41~63は縄文土器で、いずれも後期後葉に属する。41~48は巻貝による凹線と扇状圧痕を施す宮滝式である。41~45は外反口縁の深鉢で、口縁下に凹線を1条と、41~43はその下に間隔をあけて2~3条施す。41・42は口縁部に半円形突起をもち、その下に巻貝による扇状圧痕を2段施す。42は2単位の波状口縁である。46は2段で屈曲する器形で、鉢ないし注口土器であろう。文様は4段施す。47は口縁が強く外反する浅鉢である。口縁には4箇所に半円形の突起をもち、内面口縁下に凹線と、貝殻頂部による刺突を施す。

 $49\sim61$ は無文の深鉢である。 $49\sim53$ は内屈口縁で、 $49\cdot50$ の端部は丸くおさめ、他は面取りする。51は口縁を肥厚する。 $54\sim61$ は外反口縁で、 $55\cdot56\cdot59\cdot60$ は頸部で屈曲する。60は緩く外反する。57は端部を面取りし、他は丸くおさめる。62は鉢である。63は鉢の底部で、底面は凹む。

出土した骨片はすべて焼成を受けており、種が同定できた獣骨は、イノシシの左橈骨の遠位関節面前縁の中央部であった。人骨と思われる骨片は8片出土し、そのうちの1片は歯槽の一部とみられる。その他の骨片では、小型の哺乳類の頭骨の縫合部と思われる1片以外は同定できなかった。

土坑 4 (第 4 · 16図)

A区3トレンチ中央部、落ち込みの埋土を除去後に地山面で検出した。東西0.80m、南北0.45m、深さ0.12mを測り、埋土は暗茶黒色礫混土である。サヌカイト剥片、縄文土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。縄文時代の土坑と考えられる。

ピット1(第4・17図)

本調査の最も南部に位置する遺構で、A区1トレンチの地山面で検出した。東西0.55m、南北0.38m、深さ0.07mを測り、埋土は暗茶色礫混土である。遺物が出土しなかったため、遺構の時代は不明である。

ピット2(第4・18図)

A区1トレンチの地山面で検出した。土坑1と同じく北側を落ち込みに削平され、一部が残る。残存部は東西0.34m、南北0.28m、深さ0.28m、埋土は灰緑色小礫混砂質土である。サヌカイト剥片、弥生土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。弥生時代の遺構と考えられる。

ピット3(第4・19図)

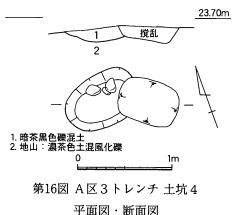
A区1トレンチの落ち込みの埋土を除去後、地山面で検出した。直径0.44m、深さ0.11mを測り、埋土は茶黒色風化礫混土である。サヌカイト剥片、縄文土器が出土したが、図示できる遺物はなかった。縄文時代の遺構と考えられる。

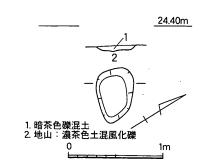
ピット4(第4・20図)

A区2トレンチの土坑2と土坑3の間に位置し、直径0.29m、深さ0.09mを測る。埋土は茶黒色礫混土である。遺物はサヌカイト剥片、チャート剥片、縄文土器が出土したが図示できる遺物はなかった。縄文時代の遺構と考えられる。

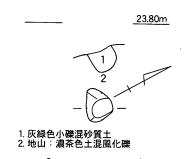
ピット5(第4・21・22図)

A区3トレンチの土坑4の東側に位置し、落ち込みの埋土

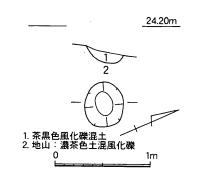




第17図 A区1トレンチ ピット1 平面図・断面図



第18図 A区1トレンチ ピット2 平面図・断面図



第19図 A区1トレンチ ピット3 平面図・断面図

を除去後、地山面で検出した。直径0.34m、深さ0.19mを測り、 埋土は暗茶灰色土である。遺物はサヌカイト製石鏃、縄文土器、 弥生土器が出土した。弥生時代以降のピットである。

64はサヌカイト製の凹基無茎式石鏃で、先端部を欠損する。 65は晩期後葉の凸帯文土器の深鉢である。内傾する口縁で、外 面口縁下に凸帯を1条施す。凸帯上および口縁端部に刻みを施 す。滋賀里IV式に該当する。

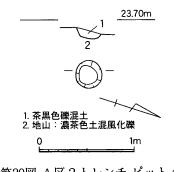
落ち込み(第4・23~29図)

A区1トレンチの北端から2・3トレンチの全面にわたる。東西6.90m以上、南北44.00m以上、深さは最深部で1.90mを測る。遺物は各層よりサヌカイト剥片、縄文時代から近代期までの土器が出土した。台地の東側が何度か崩落したものを、その都度修復したものと思われ、最深層から近代期の遺物が出土している為、最終の修復もその時期と思われる。一部に土留めと思われる木杭が数本残っていた。

66~82は凹基無茎式石鏃である。70·71は基部の抉りが浅く、66·70~73·80~82は先端部を欠損する。83~91は平基無茎式石鏃。87は全体的に丸みをもつ。85·88~90は先端部を欠損す

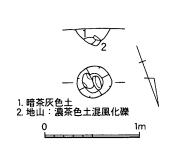
る。91は一部に原礫面をとどめる。いずれもサヌカイト製である。92~94はスクレイパーである。石材はいずれもサヌカイト製である。95・96は敲石である。どちらも砂岩製で、顕著な敲打痕が認められる。

97~194は縄文土器で、97~106は中期 末から後期前葉と考えられる一群であ

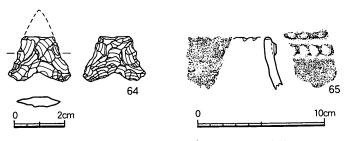


第20図 A区2トレンチ ピット4 平面図・断面図

24.00m

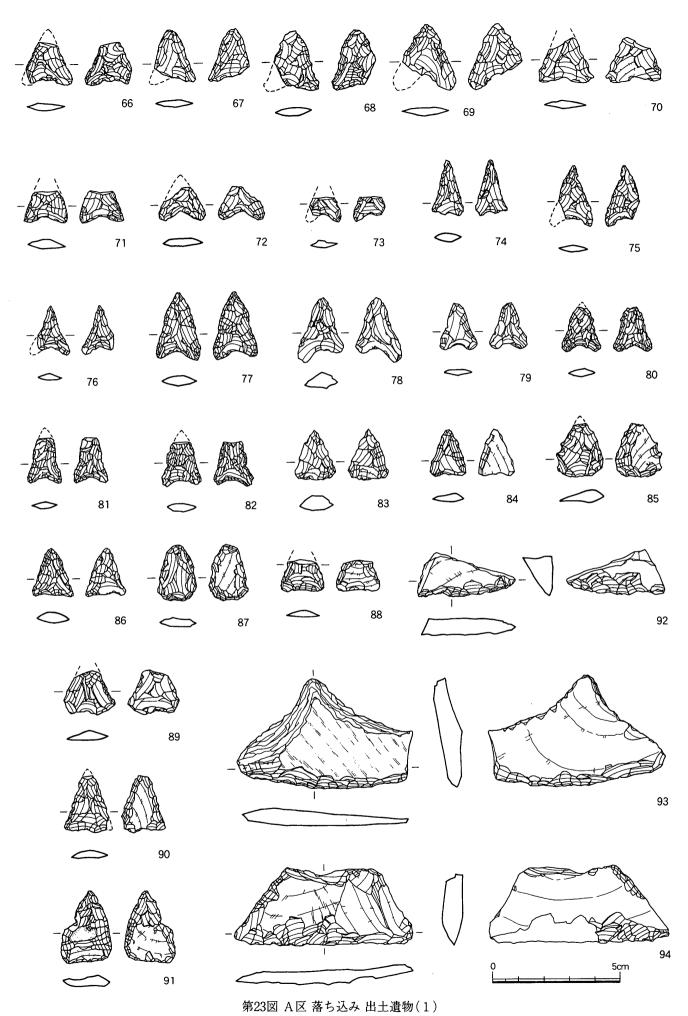


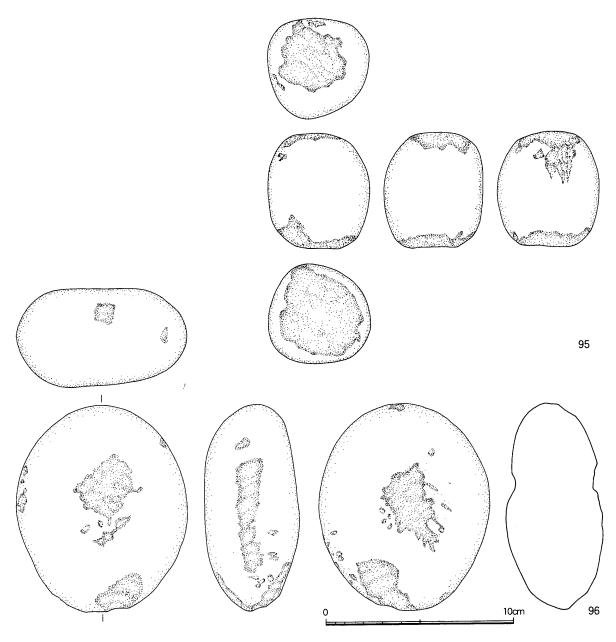
第21図 A区3トレンチ ピット5 平面図・断面図



第22図 A区3トレンチ ピット5 出土遺物

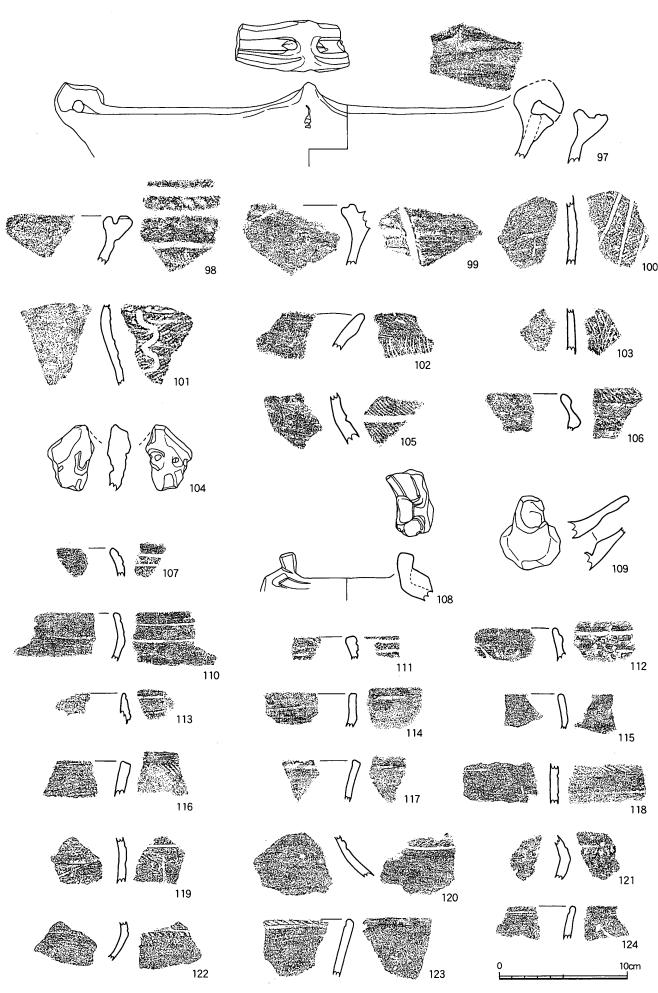
る。97~99は口縁部を拡張し、端部に沈線を施す深鉢である。98は端部上面に沈線と短沈線を施す。いずれも後期前葉のもので、四ツ池式に比定できる。100は縄文地に縦位の沈線を施す深鉢胴部片で、北白川上層式1期に比定できようか。101は縄文LR地に縦位の蛇行沈線と刺突を施す有文深鉢で、北白川上層式2~3期であろう。102・103は櫛歯状工具で条線を施すもので、102は口縁を肥厚し、肥厚部の外面に縄文RLを施す。北白川上層式2期の特徴を有する。104は波状口縁深鉢の突起部で、内外面に沈線を施す。関東の堀之内式系であろうか。105は縄文RL地に横位沈線を施すもので沈線幅の太さと、磨消縄文化していない点から中期末の可能性が考えられよう。106は内屈する口縁で、口縁部を肥厚し、肥厚部に縄文を施す。後期前葉であろうか。



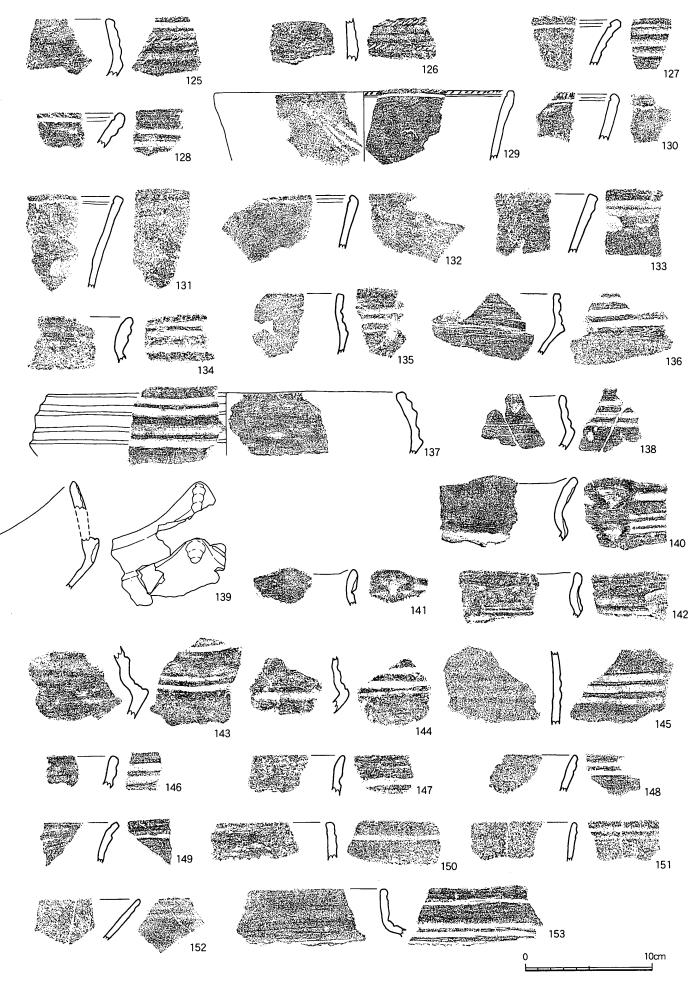


第24図 A区 落ち込み 出土遺物(2)

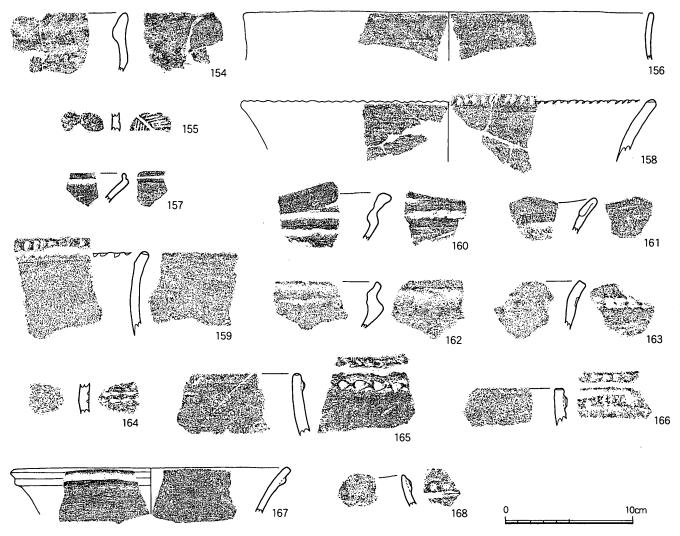
107~124は後期中葉に位置づけられる一群である。107は内屈する深鉢の口縁で、外面に細い区画沈線を施し、沈線内に縄文を施す。後期中葉の一乗寺K式に比定できようか。108・109は注口土器で、108は口縁に突起を持つ。口縁部は隆起帯による楕円形区画内に沈線を施し、沈線内に刺突を有する。ともに一乗寺K式から元住吉山I式であろう。110~115は「く」字状に内屈する口縁で、基本的に口縁端部は面取りする。111は沈線間に縄文LRを施す。112は沈線の下に隆帯をもち、隆帯上に縄文RLを施す。116・117は外反する口縁で、端部は面取りし、116の外面には縄文を施す。118・119は胴部片で、118は外面に沈線2条を施し、上の沈線の上方に貝殻背面圧痕による擬縄文、下の沈線の下部に刻みを加える。119は沈線と縄文RLを施す。120~122は注口土器である。120は刻みをもつ隆帯と、その下に沈線を施す頸胴部破片、121・122は沈線と爪形の刻みを施す胴部下半の破片である。これらは元住吉山I式に該当する。123・124は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口深鉢で、口縁端部を面取りする。元住吉山I式ないしⅡ式に比定できよう。



第25図 A区 落ち込み 出土遺物(3)



第26図 A区 落ち込み 出土遺物(4)

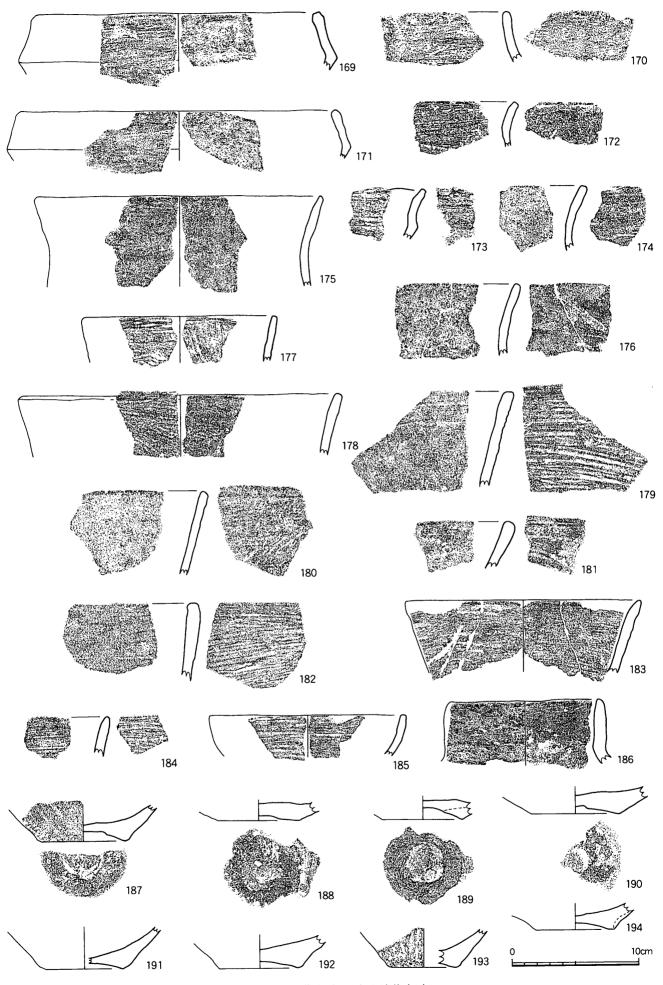


第27図 A区 落ち込み 出土遺物(5)

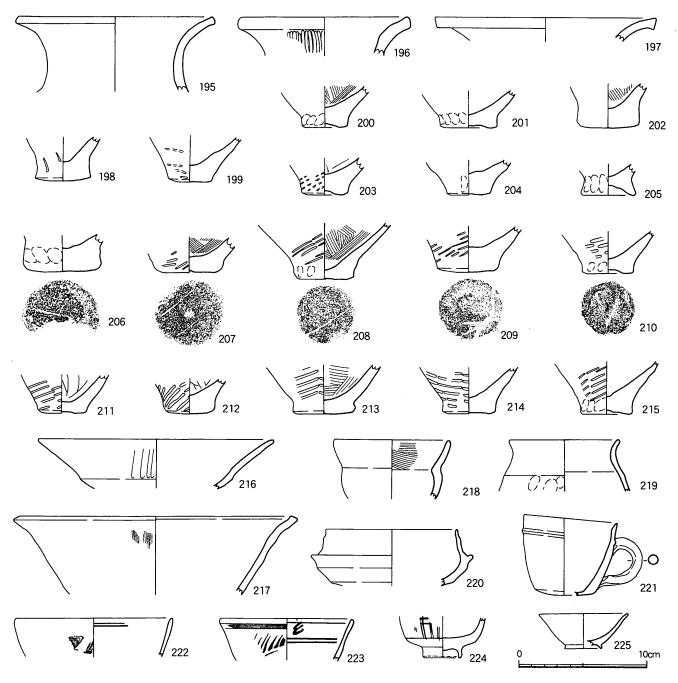
125~153は後期後葉~末葉に属する。125は内屈する浅鉢の口縁で、外面に凹線 4 条と、凹線間に刻みを施す。126も同様の文様構成をとる胴部である。ともに元住吉山 II 式に比定できる。

127~130は内面口縁下に沈線と刻みを施す、広口の深鉢ないし鉢である。127・128は外面に凹線を施す点は元住吉山II式の特徴であるが、口縁部を肥厚し、端部が丸みをもつなど、宮滝式の特徴を有する。129・130は外面無文で、口縁は丸くおさめる。元住吉山II式から宮滝式にあたるが、129は口縁を肥厚する点から宮滝式に含められよう。131・132は内面に沈線を施す広口の深鉢で、刻みはみられない。131は内面に刺突を施す。宮滝式に含まれよう。

133~153は後期後葉の宮滝式で、落ち込み出土土器の主体を占める。134は内傾しながら立ち上がり、口縁は強く外反する。口縁部は肥厚し、外面に凹線3条を施す。135は頸部で内屈し、口縁部が若干外反する深鉢である。外面に凹線3条を施す。136~138は浅鉢であろう。137は頸部で屈曲し、口縁は内彎する。これらは宮滝1式に比定できよう。139は波状口縁の深鉢で、口縁部は内傾する。口縁部外面と屈曲部に巻貝の扇状圧痕を施す。140~151は外反口縁を基本とする。140~142は巻貝の扇状圧痕を施すもので、140・141は口縁に半円形の突起をもつ。143・144は頸胴部の破片で、143は2段の屈曲が認められる。147・149・150は口縁下に凹線を1条施す。152は外に大きく開く器形で、浅鉢ないし鉢の可能性がある。153は



第28図 A区 落ち込み 出土遺物(6)



第29図 A区 落ち込み 出土遺物(7)

頸部から内傾し、口縁は直に立ち上がる器形で、注口土器であろうか。

154~164は後期末葉から晩期中葉の一群である。154は口縁内側を肥厚し、若干外反する。後期末葉の滋賀里 I 式の浅鉢であろうか。155は斜行する沈線と綾杉状の細沈線を施し、木葉状の文様を構成する。晩期初頭の滋賀里 II 式併行の浅鉢の可能性が高いが、あまり見られない文様である。156は口縁が若干外反する深鉢で、外面に条痕を施す。157は口縁が内側に短く折れる浅鉢で、外面屈曲部に沈線を施す。ともに晩期前葉~中葉の滋賀里Ⅲ a 式に該当する。158・159は外反する口縁の深鉢で、口縁端部上端に刻みを施す。晩期中葉の篠原式に比定できよう。163・164は外面口縁下や頸部に半截竹管による刺突を施すもので、瀬戸内地域の原下層式や谷尻式、前池式に特徴的に認められる。

165~168は晩期後葉の凸帯文土器である。165・166は深鉢で、外面口縁下に凸帯を1条貼

り付け、刻みを施す。口縁は面取りし、端部に刻みを施す。167は外に開く器形の浅鉢で、外面口縁下に凸帯を施す。凸帯上は刻みを施さない。これらは鬼塚期にあたり、従来の編年の滋賀里IV式に比定できる。168は内傾する器形で、口縁に凸帯を1条貼り付ける。凸帯上は浅い刻みを施す。晩期終末の長原式に比定できよう。

169~186は無文土器で、大半は後期後葉の宮滝式に伴うものと思われる。169~171は頸部で屈曲し口縁が内屈する深鉢である。169は口縁端部を面取りし、170・171は端部を丸くおさめる。172~176は外反口縁で、頸部がすぼまる器形の深鉢である。172~174は口縁端部を面取りし、175・176は丸くおさめる。177~184は口縁が外にひらく深鉢である。177~182は端部を面取りし、183・184は丸くおさめる。177は内外面とも二枚貝条痕で、条痕原体の違いから晩期前葉に降る可能性がある。181・182は口縁を肥厚する。179は外面に顕著な条痕が認められる。185は口縁が内彎する器形で、浅鉢と考えられる。186は内傾する体部で頸部から口縁にかけて直に立ち上がる。器形から注口土器と思われる。

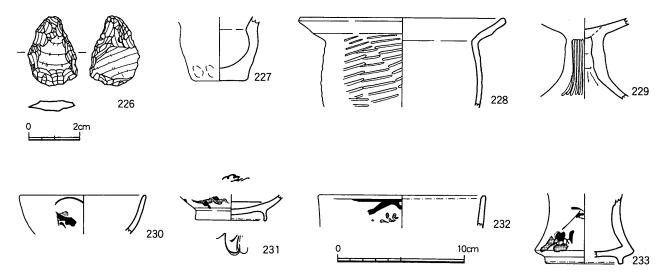
187~194は底部片である。いずれも底面の中心部が凹むもので、宮滝式に伴うものであろう。

195~215は弥生土器で、195~197は壺の口縁部、198~215は壺または甕の底部である。いずれも弥生時代後期のものである。

216~219は土師器で、216·217は古墳時代中期の高杯で、216は稜線をもつ杯部である。 218は古墳時代前期の小型丸底の壺、219は甕である。

220・221は須恵器で220は杯身、225は把手付椀である。いずれも古墳時代中期のものである。

222~225は磁器で、222·223は椀、224は湯呑み、225は盃である。江戸時代のものである。



第30図 B区 第2層 出土遺物

B区(第5·30図)

トレンチは山中川の氾濫原にあたり、平成 5(1993)年の堤防完成までは水害の頻発地域であった。現況の高さはおよそ T.P.+21.00 mである。

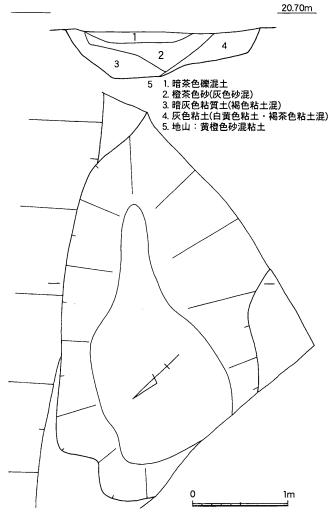
トレンチの基本層序は第1層耕作土、第2 層淡灰茶色土、第3層橙色粘土、第4層黄橙 色砂混粘土の地山である。

遺物は第2層から石器をはじめとする縄文時代~近世期の遺物が出土した。

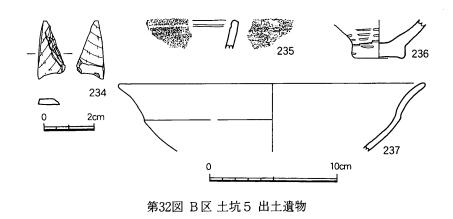
226はサヌカイト製の石器未成品、227~229は弥生土器で、227は口縁部を欠く小壺、228は外面に平行タタキが残る甕、229は高杯の脚部である。すべて弥生時代後期のものである。230~233は磁器で、230・231は椀、232は色絵の段重、223は瓶である。

第3層は耕作の畝跡で、遺物は出土しなかったが、近世期の耕作層である。

遺構は土坑を1基、溝を1条、自然河川を 1条検出したが、トレンチのほぼ全体が自然 河川であり、南端でわずかに肩を検出した。 河川埋没後に土坑5と溝1を構築している。



第31図 B区 土坑 5 平面図·断面図



土坑 5 (第5・31・32図)

自然河川埋没後に築かれた土 坑で、東西2.70m以上、南北3.00 m以上、深さ0.55mを測る。埋 土は第1層暗茶色礫混土、第2 層灰色砂混じりの橙茶色砂、第 3層褐色粘土混じりの暗灰色粘 質土、第4層白黄色粘土と褐茶 色粘土混じりの灰色粘土であ

る。

遺物は第1層からサヌカイト剥片、弥生土器、第3層からサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器、炭、第4層から須恵器、製塩土器が出土したが、自然河川埋没後に築かれているため、近世期以降の土坑である。図化できたのは以下の遺物である。

234はサヌカイト製の二次加工剥片である。235は縄文土器で内面に細い沈線を施す広口の深鉢で、端部は丸くおさめる。宮滝式である。

236・237は弥生土器で、236は外面に平行タタキのある甕底部、237は有稜高杯の杯部。いずれも弥生時代後期のものである。

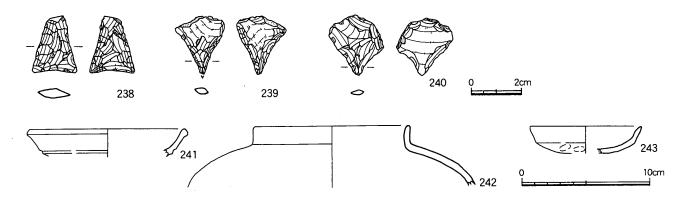
溝1(第5図)

自然河川埋没後に築かれたトレンチを横断する石組の溝で、長さ5.40m以上、幅0.70m、深さ0.90mを測る。直径25cm程度の石が平らな面を内側に向け、整然と並べられていた。埋土は上層が灰色粘土、下層が茶灰色砂混土である。

遺物は上層からサヌカイト剥片、縄文土器、弥生土器、土師器、土師質土器、陶器が出土した。近世期以降の溝である。図示できる遺物はなかった。

自然河川(第5・33~46図)

男里川の支流である山中川の旧河道と思われる。トレンチの南端で肩の一部を確認できたが、B区の大部分が河川内である。多くの遺物が出土したが、台地上からの崩落または人為的に廃棄されたものと推定される。地山面では長さ約2.50m、幅1.40m、高さ約0.40mで、直径30cm程度の列石が3段残存していた。魞(エリ)の可能性も考えられるが、詳細は不明である。



第33図 B区 自然河川第1層 出土遺物

埋土は河川の場所によって細かく分層できるが、大きく4層に捉えた上で遺物の報告をする。

238~243は第1層から出土した。238は平基無茎式石鏃で、平面形状は二等辺三角形状を呈する。239・240は石錐である。ともにサヌカイト製である。241・242は須恵器で、241は壺の口縁部、242は短頸壺。243は土師質小皿である。

244~379は第2層から出土した。244は平基無茎式石鏃で、平面形状は二等辺三角形状を呈する。245は石錐である。ともにサヌカイト製である。

246~255は縄文土器である。246は内傾する口縁の深鉢で、外面に沈線2条を施し、口縁から沈線間と沈線から頸部屈曲部間に刻みを施す。口縁は小波状を呈する。元住吉山I式に比定できる。247は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口の深鉢ないし鉢である。外面は条痕を施し、口縁端部は面取りする。元住吉山II式であろう。248は内面口縁下に沈線を施すもの。口縁はやや肥厚し、端部は丸みをもつ。宮滝1式に比定できよう。249は口縁下に刻目凸帯を1条施す深鉢である。口縁は丸くおさめ、端部には刻みを施す。滋賀里IV式と思われる。

250~253は無文土器の深鉢である。250は内傾口縁、251·252は外反口縁、253は外に開く口縁である。254·255は底部で、いずれも底面が凹む。宮滝式に伴うものであろう。

256~371は弥生土器で、いずれも後期後半から終末期にあたる。

256~261は壺もしくは甕の蓋である。256は外面に平行タタキを施し内面はナデ調整、257~259は内外面ともナデ調整、260は内外面ともハケ目調整、261は内外面ともナデ及びハケ目調整である。

262~304は壺で、口頸部の形態によって数種類に分類される。262~284は広口壺である。262~267は口頸部が短く外反し、端部に面をもつ。268~272は口頸部が外反し、端部が垂下して面をもつ。268・269は端面に竹管文を施す。270・271は端面に疑凹線を施し、270には円形浮文の剥離痕がある。273~284は口頸部が上外方へ伸び、口縁部は外反する。273・274は端面に円形浮文を貼り付けており、274は円形浮文に竹管文を施している。

285~292は長頸壺で、285・286は筒状の太い頸部に、外反する広口の口縁がつく。287は口頸部が外湾しながら上外方に伸びる。288~290はやや開きながら上方へ伸びる。289・290は球形の体部に比べて頸部が長い。291・292は口縁部を欠くが長頸壺であろう。

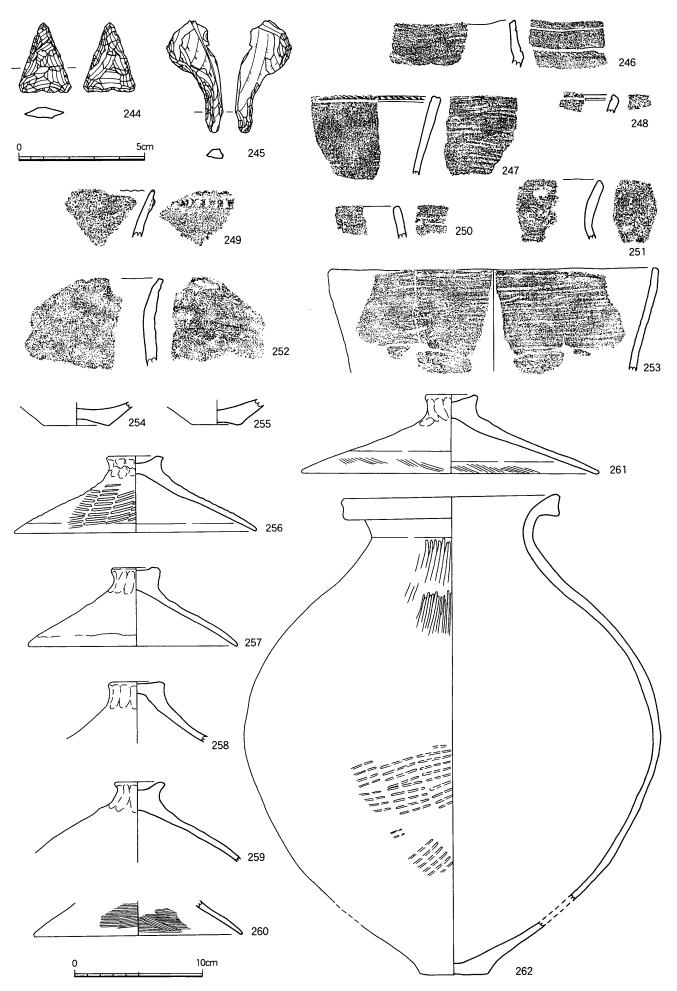
293・294は二重口縁である。293は口縁の外反度が増し、擬口縁との接合部がやや突帯状に張り出す。294は口縁部を厚く仕上げている。

295·296は小型の壺で、体部の下方が張り出し、突出した底部がつく。295は口頸部は短く、 上外方に開く。

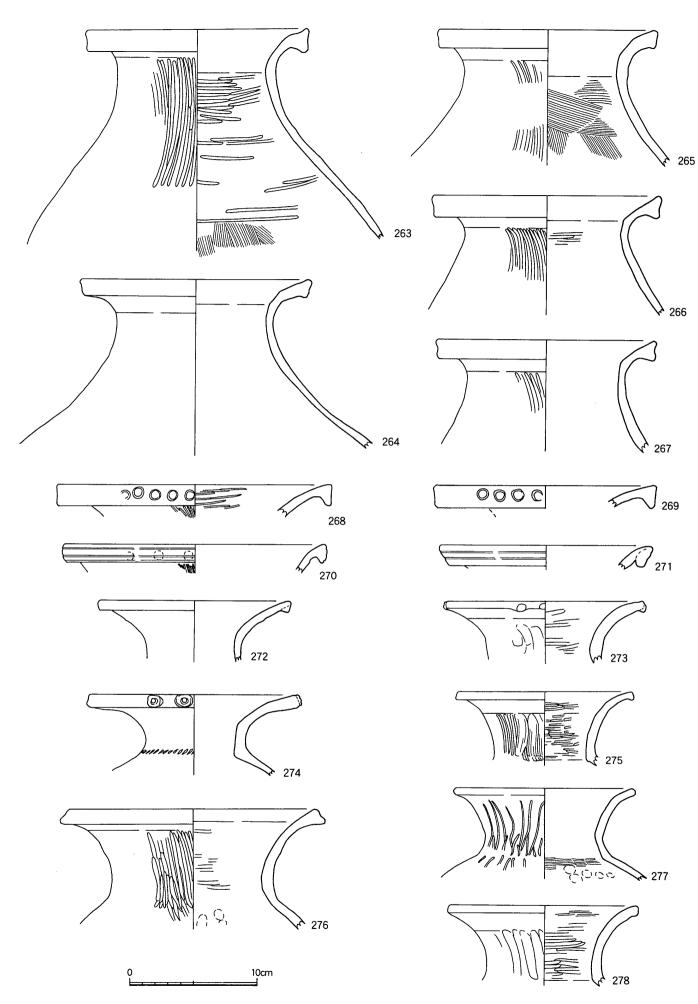
297・298は底体部、299~303は底部である。297~300の底部は突出しており、300は木葉痕が残る。

304は球形の体部で絵記号文を描いているのが特徴的であるが、なにを表しているかは不明である。

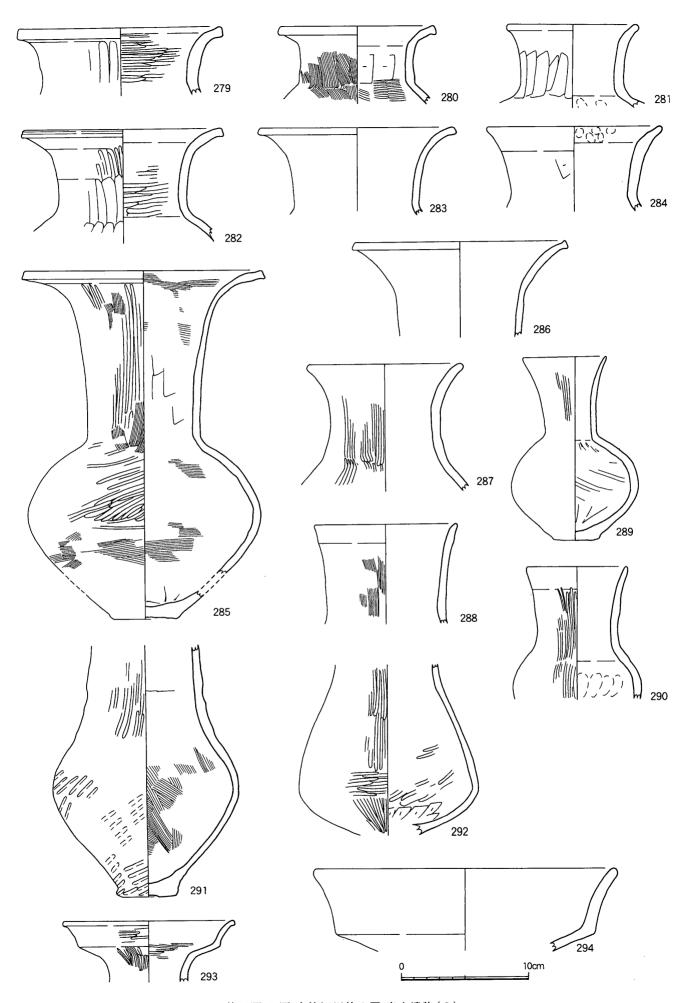
305~324は鉢である。305~313は口縁部が上外方へ短く開き、外面に平行タタキ成形を残すものと、ヘラミガキ調整を施したものがあるが313は手づくね。309~313は小型の鉢である。314~324は分割成形手法による甕の体部下半をそのまま鉢にしたもので、外面は平行タタキ成形、内面はハケ目調整である。316~320は小型の鉢である。外面に平行タタキ成形が



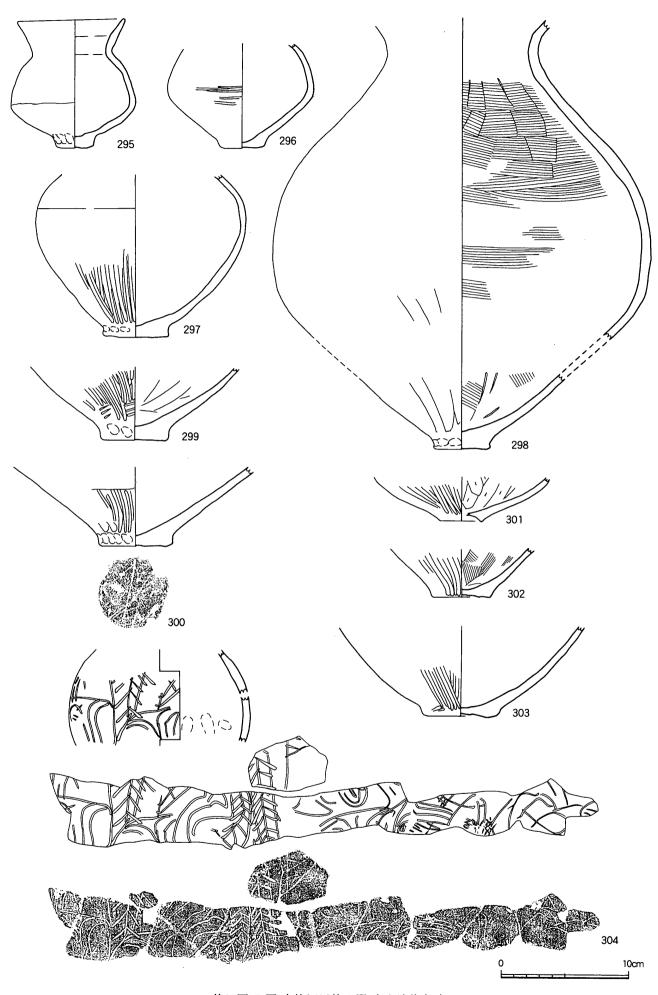
第34図 B区 自然河川第2層 出土遺物(1)



第35図 B区 自然河川第2層 出土遺物(2)



第36図 B区 自然河川第2層 出土遺物(3)



第37図 B区 自然河川第2層 出土遺物(4)

残り、内面はハケ目調整である。

325~330は有孔の鉢又は甕の底部である。底部に穿孔したもので、外面に平行タタキ成形が残る。325~329は突出した底部に複数の小孔、330は平らな底部中央に円孔を穿つ。

331~354は甕である。外面は平行タタキ成形で、内面はハケ目調整である。口縁部は丸くおさめるもの、少し屈曲するもの、受け口状口縁などがある。大きさは中型がほとんどだが、350は大型である。354は小型の甕で、平行タタキを丁寧にナデ消ししている。

355~363は高杯である。355~361の杯部はやや丸みのある椀形で、口縁部は明瞭な稜をもち、外反して上外方へ伸びる。口縁部高が杯部高の2分の1を占める。362の杯部は形状的には同じだが、杯部は小型で稜はゆるく、口縁部は外反しながら上方へ伸びる。363は杯部に稜がなく椀形である。いずれも杯底の粘土充填が確認される。脚部は柱状部が下方に開がりながら下った後、裾部はラッパ状に広がり、いずれにも複数の円形スカシを穿つ。

364・365は真蛸壺で、外面は平行タタキ成形が顕著に残る。364の内面はナデ調整。365の内面はハケ目調整で、底部には木葉痕がみられる。

366~371は製塩土器で、いずれも外面は平行タタキ成形。366・367は体部が外上方へ大きく開く。脚部は円柱状を呈し、裾部が開くもので、366~369は中空で基部から下外方へ広がる。370・371は実身で、裾部が広がる。

372・373は土師器である。372は杯。373は和泉型の土釜で、10世紀頃のもの。

374は土師質土器の真蛸壺。

375~377は須恵器。375·376は甕で、内外面とも指おさえが残る。377は高台のある壺底部である。

378・379はともに内黒の黒色土器である。378は椀で、10世紀のものである。379は鉢である。

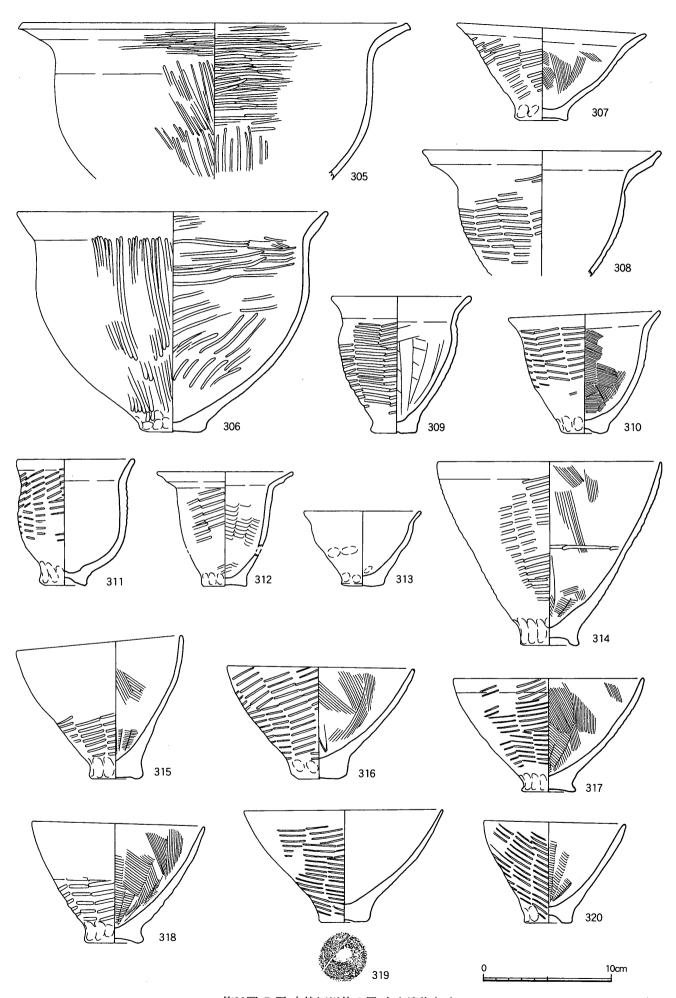
380~424は第3層から出土した。380は石鏃である。下半を欠損するが、柳葉状を呈するものと思われる。

381~388は縄文土器である。381は波状口縁の深鉢で、波頂部は突起をもつ。外面は2段の細い区画沈線内に貝殻背面圧痕による擬縄文を施す。元住吉山I式に比定できる。382は内面口縁下に沈線と刻みを施す広口の深鉢ないし鉢である。口縁部は肥厚せず、端部は丁寧に面取りする点から、元住吉山I式に該当しよう。383は内傾する口縁で、外面に細い沈線を1条施す。口縁端部は面取りする。元住吉山II式から宮滝1式であろうか。384は口縁に刻目凸帯を施す深鉢である。凸帯は台形状を呈し、貼り付けのナデは丁寧である。晩期後葉の船橋式に比定できる。

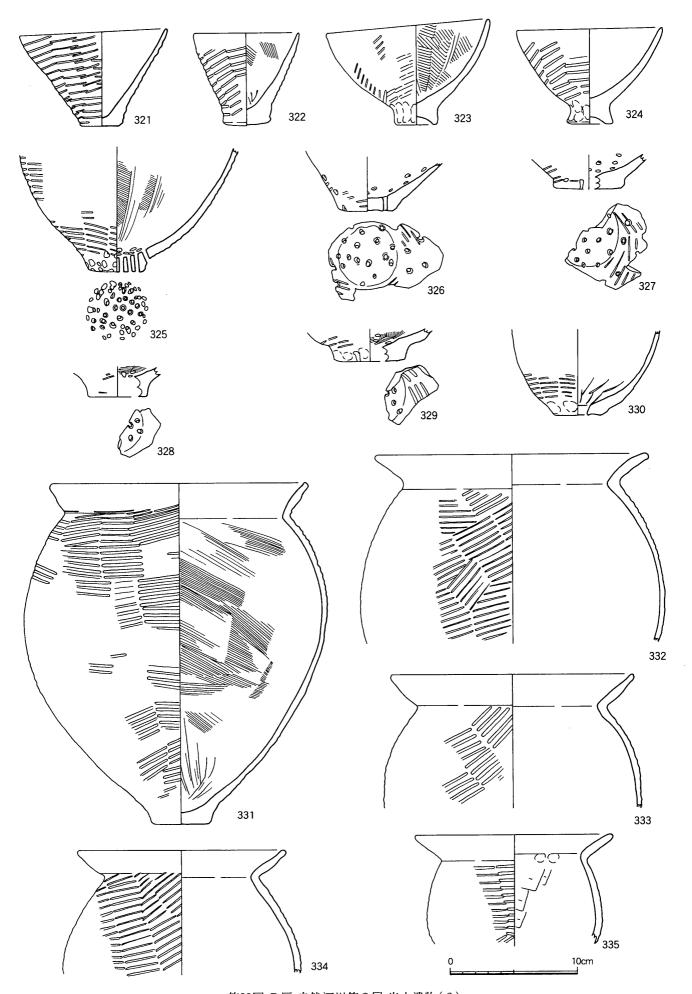
385~388は無文土器の深鉢で、385~387は口縁部をやや肥厚する。385・386の口縁端部は面取りし、387は丸くおさめ、388は先尖りである。いずれも後期に属すると思われ、多くは宮滝式に伴うものであろう。

389~422は弥生土器で、後期から終末期のものである。389・390は壺もしくは甕の蓋で、外面はナデ、内面はハケ目調整である。

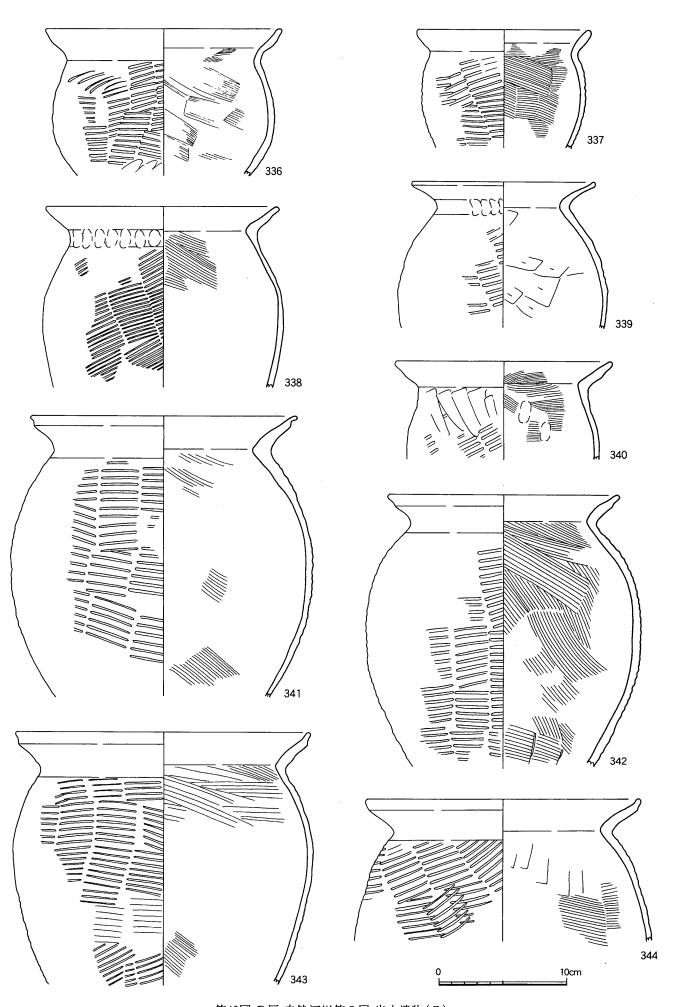
391~400は広口壺である。391~394は口頸部が短く外反し、端部に面をもつ。395・396は口頸部が外反し、口縁端部が垂下して面をもち、396は端面に竹管文を施す。397~400は口縁部が上外方へ外反する。



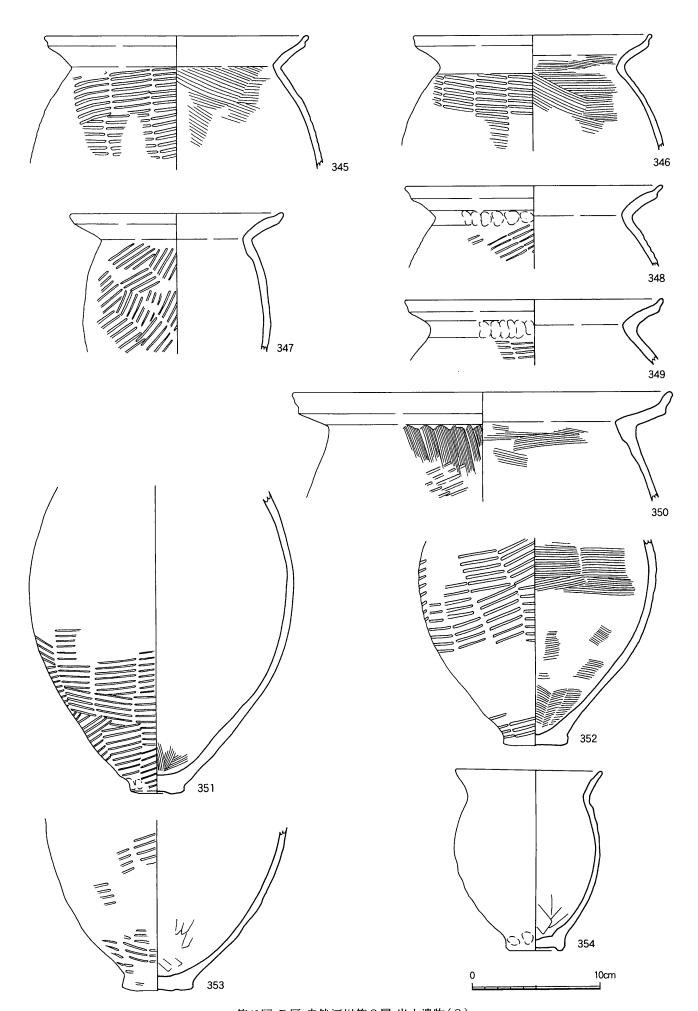
第38図 B区 自然河川第2層 出土遺物(5)



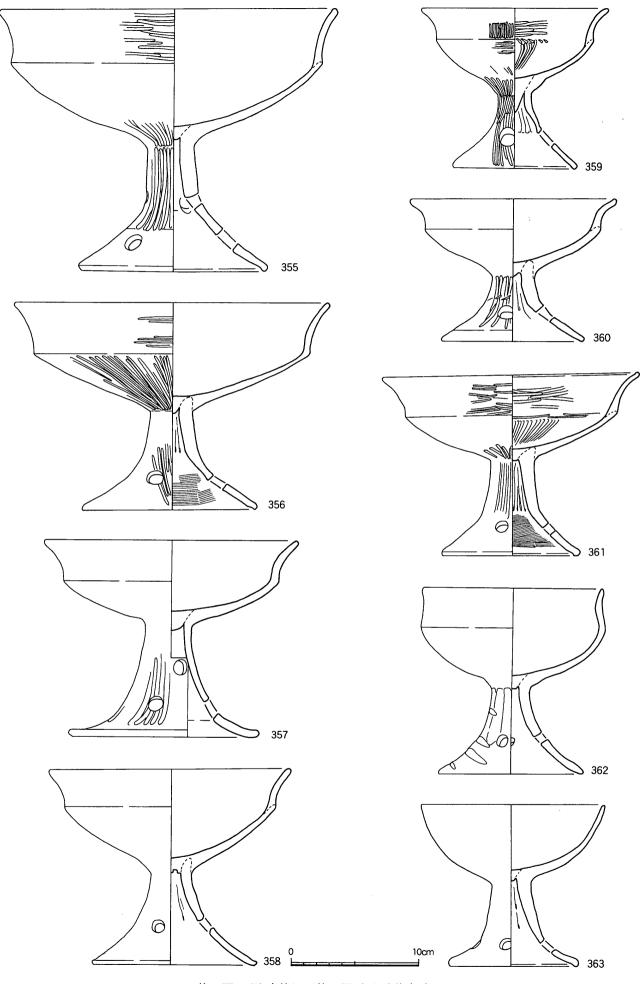
第39図 B区 自然河川第2層 出土遺物(6)



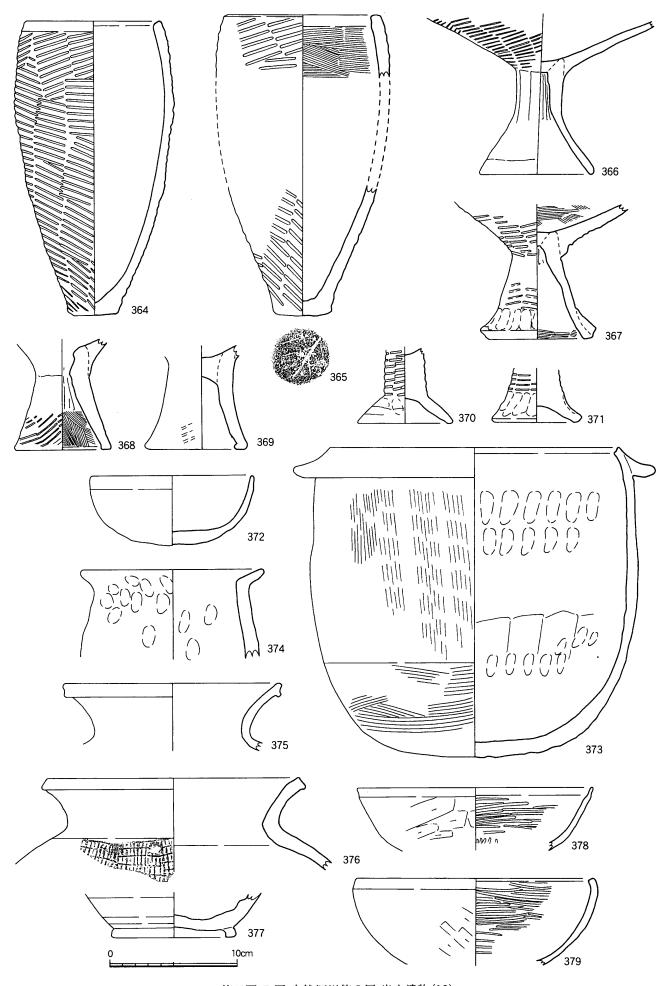
第40図 B区 自然河川第2層 出土遺物(7)



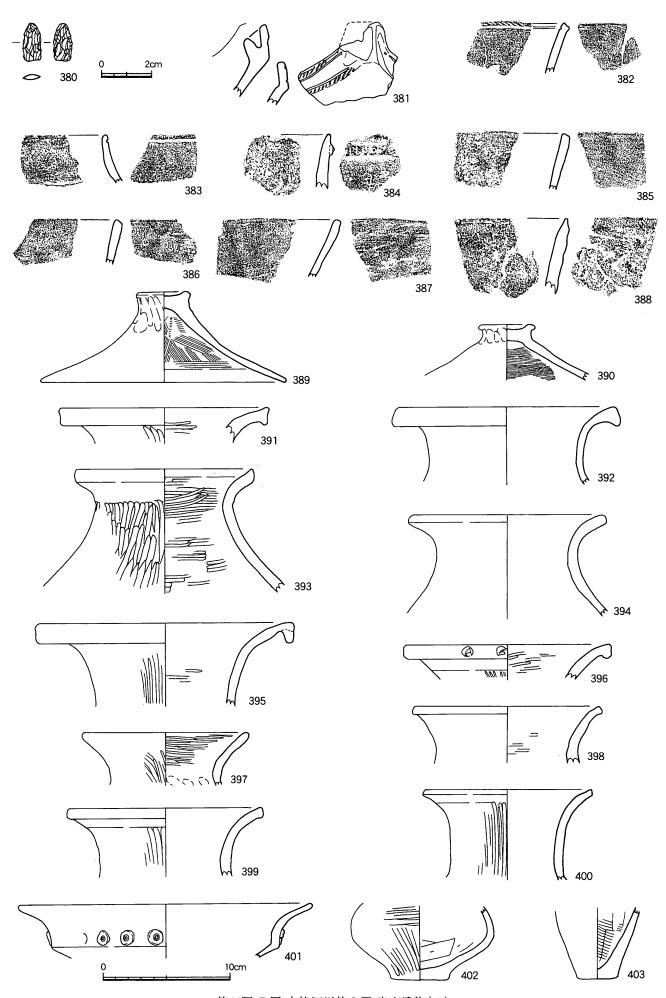
第41図 B区 自然河川第2層 出土遺物(8)



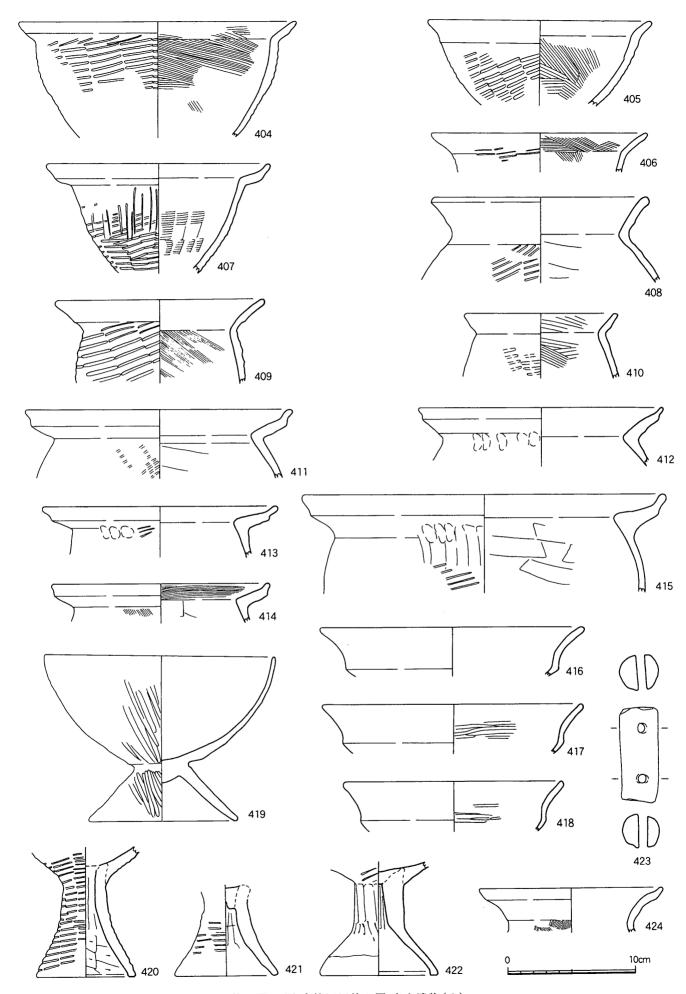
第42図 B区 自然河川第2層 出土遺物(9)



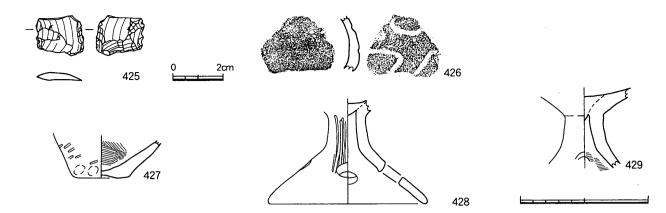
第43図 B区 自然河川第2層 出土遺物(10)



第44図 B区 自然河川第3層 出土遺物(1)



第45図 B区 自然河川第3層 出土遺物(2)



第46図 B区 自然河川第4層 出土遺物

401は二重口縁で、竹管文のある円形浮文を貼り付ける。

402・403は小型の壺で口頸部を欠く。403は蛸壺の可能性も考えられる。

404~407は鉢で、口縁部が上外方へ短く開く。外面に平行タタキ成形をそのまま残し、内面はハケ目調整を施す。

408~415は甕である。口縁部を丸くおさめるもの、少し屈曲するもの、受け口状口縁などがある。大きさは中型がほとんどだが、415は大型である。

416~419は高杯である。416~418は口縁部が明瞭な稜をもって外反して上外方へ伸びる。 419は杯部に稜がなく椀形を呈し、脚部は下外方に開く。

420~422は製塩土器の脚部で、外面は平行タタキ成形。420・421は脚柱部が中空の円柱状を呈し、裾部は基部よりゆるやかに下外方に開く。422も脚柱部は中空だが、基部から外方へ下った後、屈曲して下外方へ開く。

423・424は土師質土器である。423は2つの孔を穿った有孔土錘で、重さは76gの完形品である。424は甕である。

425~429は第4層から出土した。425はサヌカイト製の楔形石器である。426は縄文土器の深鉢である。内彎する器形で、外面に沈線文を施す。中期末葉~後期初頭であろう。

427~429は弥生土器で、427は壺または甕の底部、428・429は高杯である。428は脚部に円 形のスカシを四方に穿つ。

出土遺物から第1層は近世期、第2層は中世期、第3層は平安時代、第4層は弥生時代である。

第4章 まとめ

今回報告した調査区は(財)大阪府文化財調査研究センター(以下、センターと表記)の調査区の東側に位置し、台地上のA区はセンター調査区の第2区、北側の氾濫原であるB区は第1区に隣接する。A区とB区の標高差は約3.00mである。さらに調査の便宜上、A区を3つのトレンチに分割して調査を行った。

A区の基本層序は第1層耕作土、第2層旧耕作土、第3層淡黄茶灰色土、第4層濃茶色土 混風化礫の地山である。第3層は1トレンチでのみ検出され、近世期の遺物が含まれている。 センターの調査でも包含層から大量の縄文土器が出土しているが、それ以降の時期の遺物も ある程度出土している。

遺構は地山面で縄文時代後期の土坑3基、ピット2基、弥生時代後期の遺物を含む土坑1基、ピット2基を検出した。落ち込みからは縄文時代中期末から晩期終末の縄文土器が多数出土し、その多くを宮滝式の土器が占めていたものの、最下層からは近年の土留めに使われたと思われる木杭が検出され、近年まで崩落と修繕を繰り返し行っていたと思われる。

特筆すべきは、土坑1と土坑3から骨片が出土したことである。土坑3からは獣骨に混じって人骨が8点出土し、内1点は歯槽の一部であった。どちらも宮滝式の土器を主に含む縄文時代の土坑である。人骨の出土から、土坑の性格は墓であることが想定されるが、詳細は不明である。人骨及び獣骨は、すべて焼成を受けているものであった。

センターの調査では、縄文時代後期から晩期を中心とする土坑が約300基検出されているが、人骨片の出土は皆無である。埋土の残存脂肪分析では、動物由来のコレステロールが残存しているようであるが、それがヒトなのか、イノシシやシカなのかは識別できなかった。

B区の基本層序は第1層耕作土、第2層淡灰茶色土、第3層橙色粘土、第4層黄橙色砂混粘土の地山である。包含層はすべて近世期の遺物を伴うものである。地山面で土坑1基、自然河川1条を検出した。土坑は近世期以降のものである。自然河川は弥生時代後期から終末期の遺物を最下層に含んでおり、河川底では人頭大の石を3段に並べた施設を検出し、魞の可能性が考えられる。その後、近世期に埋没し、耕作が行われたようである。

以上の結果は、センターの調査で得られたものに沿うもので、縄文時代から続く土地利用 の過程の一端を本調査においても捉えることができた。

向出遺跡は調査を重ねていくことにより、その成果も着々と増えつつある。今後も調査を継続していく上で、当遺跡の様相についてより深く検討を加え、保存と活用に繋がる事業を推し進めていくことで、遺跡の重要性が広く周知されることを望む。

遺物観察表

December 19							723 177 P.		- X				
揮図番号 遺物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類 器種	計測値 (cm)			手	法	胎 土	焼成		色 調	備考
第6図 1	A区 2トレンチ	第3層 淡黄茶灰色土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 ፱	1.80 1.35								平基無茎式 先端欠損
2	A区 2トレンチ	第3層 淡黄茶灰色土	縄文土器 鉢	<u></u> 現存高 □径	-		口縁上端部 沈線及び短沈 口縁部 ナデ 沈線	線	密 (細砂粒含む)	良好	内	橙茶色	有文
3	A区	第3層 淡黄茶灰色土	縄文土器 鉢	残存高 口径	5.50	内面 外面 内面	ナデ 条痕後ナデ 縦位沈線 ナデ		密 (砂粒含む)	良好	断外内	ル 黄褐色 橙色	有文
	AX	第3層	縄文土器	残存高			卷貝条痕		密	良好	断	位 <u>淡白茶色</u> 茶褐色	無文
4		淡黄茶灰色土	深鉢	口径		内面	ナデ		(細砂粒・雲母含む)	ė 47	断	淡茶色	
5	A区 1トレンチ	第3層 淡黄茶灰色土	瓦器 椀	残存高 復元口径	14.50		口縁部 横ナデ 体部 指オサエ ヘラミガキ		密	良好	内	淡灰黄褐色	
第8図 6	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土 (炭化物混)	サヌカイト 石鏃	長幅厚	1.30 1.20 0.25								凹基無茎式 完形
7	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	サヌカイト 石鏃	長幅	1.85 1.95 0.45								凹基無茎式 完形
8	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	1.80 1.80								凹基無茎式 先端欠損
9	A区 1トレンチ	土坑 l 黒色土(炭化物混)	サヌカイト 石鏃	厚 残存長 幅	0.35 1.15 1.80								凹基無茎式 先端欠損
10	ΑŒ	土坑 1 黒色土 (炭化物混)	サヌカイト	厚 長 幅	0.25 1.95 1.30								 凹基無基式 完形
	ΑŒ	土坑1	サヌカイト	厚	0.25 2.30								凹基無茎式
11	1トレンチ A区	土坑1	サヌカイト	幅 厚 長	1.20 0.30 2.70								完形 凹基無基式
12	1トレンチ A区	黒色土(炭化物混) 土坑1	石鏃 サヌカイト	残存幅 厚 長	1.50 0.40 2.05								基部欠損 平基無茎式
13	1トレンチ	黒色土(炭化物混)	石鏃	幅 厚	1.55 0.40								完形
14		土坑 1 黒色土(炭化物混)		残存長 残存幅 厚	1.80 1.05 0.40								平基無茎式 先端欠損
15	- A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混) 	サヌカイト スクレイパー	長幅厚	3.40 2.90 1.20								
16	A区 1トレンチ	土坑1 黒色土(炭化物混)	サヌカイト スクレイパー	長幅厚	2.70 3.15 0.40								
17	A区 1トレンチ	土坑 l 黒色土(炭化物混)	サヌカイト スクレイパー	残存長 残存幅 関	5.35 2.10	•							
18	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高	9.90 46.00	外面 内面	ナデ 凹線 直押巻貝扇状 ナデ	圧痕	密 (細砂粒・雲母含む)	良好	内	暗茶褐色 淡茶褐色	有文 突起付外反平縁
19	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢				巻貝条痕後ナデ 凹線 直 巻貝条痕後ナデ	押卷貝扇状圧痕	密 (砂粒含む)	硬く良好	外内	暗褐色 橙褐色 黒灰褐色	有文 突起付内倾平縁
20	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径 :	7.40 30.40	外面 内面	ナア 凹線 ミガキ		密 (細砂粒・雲母含む)	良好	外内	淡灰褐色 茶褐色 暗茶褐色	有文 外反口縁
21	A区 1トレンチ	土坑1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径	5.60	外面 内面	ナデ 凹線	*	密 (砂粒含む)	良好	外	暗灰褐色 暗茶褐色 暗灰茶褐色	外面・内面口縁部に黒斑 有文 外反口縁
22	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径	3.40		ナデ 凹線 ミガキ	,	 密 (細砂粒・雲母含む)	良好	外内	" 暗茶灰色	 有文 外反口縁
	ΔIX		細女士哭		22.30	外面	頸部 ミガキ 凹線 直押	卷貝扇状圧痕	やや粗(ひかんた)			/ 淡黄褐色 啐 ** 胡 &	有文
23	A区	無巴工 (灰化初底) 土坑 1	(深) (組文土器	口径 残存高	2.20	外面	体部 ナデ ナデ ミガキ ナデ 凹線		(砂粒含む)	硬く良好	断	暗茶褐色 暗茶灰色 茶色	有文
24	1トレンチ A区	黒色土(炭化物混) 土坑 1	鉢又は浅鉢 縄文土器	口径	_	内面	ナデ 口縁部~頸部 凹線 直押	券 日鳳北匡旗	(砂粒含む)		内断	ルタイプ ※ 水灰色 淡黄茶褐色	外反口縁
25	1トレンチ	黒色土(炭化物混)	浅鉢	復元口径	10.20	内面	体部 ナデ ミガキ	C/\mapped on_px	(細砂粒含む)		内断	黄灰褐色 淡灰褐色	波状口縁
26		土坑1 黒色土(炭化物混)		残存高 口径	-	内面	卷貝条痕 卷貝条痕		密 (砂粒含む)		内断	暗茶褐色 〃 淡橙白灰色	無文 内傾口縁
27	A区 1トレンチ	土坑1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径 2			巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ		密 (小石・砂粒含む)	良好		淡褐色 〃 〃	無文 外反口縁
28	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径 2	6.90 25.40	外面 内面	巻貝条痕後ナデ ナデ		密 (砂粒含む)	良好	外内	淡白茶色	無文 外反口緣
29	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径			巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ		密 (小石・砂粒含む)	良好	外内	淡白橙褐色 明橙色	無文外反口縁
30	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深 鉢	残存高 口径		外面 内面	巻貝条痕後ナデ ナデ		密 (砂粒含む)		外内	淡白灰色 淡白茶褐色 〃	無文 外反口縁
31	A区 1トレンチ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢		16.30 41.40				粗 (砂粒多く含む)	良好	内	〃 暗茶褐色 淡橙色	無文 外反口殺
32	ΑZ	土坑 1 黒色土(炭化物混)	縄文土器	残存高	7.50	外面	巻貝条痕 巻貝条痕後ナデ		密 (小石・砂粒含む)	硬く良好	外	暗坏色 灰黄褐色 黒黄褐色	無文外反口緣
33	ΑZ	土坑 1 黒色土 (炭化物混)	縄文土器	残存高 口径	2.40	外面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ		密(砂粒含む)	良好	外	灰色 黒褐色	無文
	ΑŒ	土坑 1	縄文土器	残存高	3.20	外面	ナデ		密	良好	断外	淡茶褐色 暗茶褐色	無文
34	1トレンチ A区	黒色土(炭化物混) 土坑 1	(幹) (組文土器	口径 残存高			巻貝条痕後ナデ 体部 巻貝条痕後ナデ		(砂粒含む)	やや軟	内 断 外	" " 暗赤褐色	凹み底
第11図		黒色土 (炭化物混) 土坑 2		復元底径	7.40	内面	底部 ケズリ ナデ 巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ 一線		(砂粒含む)		内断	暗茶褐色 にぶい橙色 暗黄茶褐色	
第11図 36		エリス 淡灰茶色土 (マンガン混)	浅鉢	口径			巻貝条痕後ナデ 沈線		(砂粒含む)	及灯	内断	暗異条褐色 暗茶褐色 暗灰色	有文 外反口縁

	A区 2トレンチ	土坑3	器種 サヌカイト	(cm) 残存長								
38 2	I .	羔巴工(灰化物化/	石鏃	双行文 幅 同	2.10 1.85 0.25							凹基無茎式 先端欠損
	A区: 2トレンチ	土坑 3 黒色土 (炭化物混)	サヌカイト 石鏃	長幅	1.45 1.00							凹基無茎式 ほほ完形
39 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	サヌカイト 石鏃	及存長 幅 電	0.30 1.55 1.35							凹基無茎式 ほほ完形
40 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	片岩 切目石錘	厚 残存長 残存幅	0.35 3.90 2.40							大半欠損
41 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存厚 残存高 復元口径	0.70 14.00 43.40	外面 内面	条痕後ナデ 凹線 粘土貼巻貝扇状圧痕 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡茶灰褐色	有文 突起付外反平級
42 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径	19.10 38.50		巻貝条痕 凹線 粘土貼巻貝扇状圧痕 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良好	断 外 内 い	暗茶灰褐色	有文 突起付外反波状口級
43 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 □径		外面 内面	巻貝条痕後ナデ 凹線 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	断外内	" 暗茶褐色 黄茶褐色 黒褐色	有文 外反口縁
44 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径	2.90 22.80	外面 内面	ナデ 凹線 ナデ	密(砂粒・赤色マンガ	良好	断 外内 に	暗灰茶色	有文 外反口縁
45 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径		外面 内面		ン粒含む) 密 (砂粒含む)	良好	断 外 内 断	淡白茶褐色 暗茶褐色 淡橙褐色	有文 外反口縁
46 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 鉢又は注口	残存高 復元口径		外面 内面	ナデ 凹線 直押卷貝扇状圧痕 ナデ	密	良好	外内断	黒褐色	有文 突起付外反平級
第14図 47 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	超文土器 浅鉢	残存高 復元口径	7.10 39.00	外面 内面	巻貝条痕後ナデ 凹線 粘土貼巻貝扇状圧痕 口縁部 ナデ 凹線 巻貝殻頂刺突	密 (砂粒含む)	良好	外内断	暗茶褐色	有文 突起付外反平縁
48 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 浅鉢	残存高 口径			<u>体部 巻貝条痕</u> 条痕 凹線 巻貝条痕後ナデ 沈線	密 (砂粒含む)	良好	外内断	黒褐色 『暗茶灰色	有文 外反口緑
49 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径	14.10 31.60	1	口緑部 ナデ 体部 巻貝条痕 巻貝条痕後ナデ	密 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色	無文 内屈口緑
50 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径	3.50	外面	を見来最後プラ 条痕後ナデ 条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	乳黄白色	無文内屈口緑
51 2		土坑 3 黒色土 (炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径		外面 内面		密 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色 淡白茶灰色 淡白茶色	無文内屈口綠
52 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径	2.60	外面 内面	条痕後ナデ ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	乳白茶色	無文内屈口段
53 2	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径	5.00 29.80		口縁部 ミガキ 体部 ケズリ ミガキ	密	良好	外内断	暗灰茶色 ル にぶい橙色	無文 内屈口縁 外面頸部に煤付着
54 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径	3.30	外面		密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色	無文外反口縁
55 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	細文土器 深鉢	残存高 復元口径	22.60 30.80		巻貝条痕 摩滅のため調整不明	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色	無文 外反口縁
56 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径	6.30 36.00	外面 内面	剥離のため調整不明 ナデ	密 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色 ※白橙色	無文 外反口縁
57 2	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径		外面 内面		密	良好	外内断	淡橙色 灰色 白灰色	無文 外反口縁
58 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 □径	4.00	外面 内面	ナデ ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	黄黒褐色 黒褐色 暗灰色	無文 外反口録
第15図 59 2		土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径			口樣部 卷貝条痕	密 (砂粒含む)	良好	外内断	黑褐色 淡白茶褐色	無文 外反口級
60 2	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 復元口径			卷貝条痕 卷貝条痕	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶褐色 〃 淡茶白色	無文 外反口級
61 2	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 深鉢	残存高 口径			卷貝条痕 卷貝条痕	密 (砂粒含む)	良好	外内断	暗茶褐色 白茶褐色 暗茶褐色	無文 外反口縁
62 2	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 鉢	器高 復元口径		外面 内面	巻貝条痕 巻貝条痕	密	良好	外内断	暗茶褐色 〃 暗灰褐色	平段
63	A区 2トレンチ	土坑3 黒色土(炭化物混)	縄文土器 鉢	残存高 復元底径	7.60 4.00		体部 巻貝条痕 底部 ケズリ 摩滅のため調整不明	やや粗 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	暗程褐色 暗茶褐色	無文 凹み底
第22図 64	A区 3トレンチ	ピット5 暗茶灰色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅 厚	1.75 2.45 0.40							凹基無基式 先端欠損
65	3トレンチ	ピット5 暗茶灰色土	縄文土器 深鉢	残存高 口径	_	外面 内面	:面 O字刻 貼付凸帯 D字刻 剥離のため調整不明	密 (砂粒・雲母含む)	良好	外内断	灰黄褐色 , 黒灰褐色	凸带文 内倾口綠
第23図 66	3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 厚	1.65 1.85 0.50	· L						凹基無茎式 先端·基部欠損
67 :	3トレンチ		サヌカイト 石鏃	長 残存幅 厚	2.00 1.60 0.30							巴基無基式 基部欠損
68	3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 厚	2.30 1.75 0.35							凹基無基式 基部欠損
69	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	長 残存幅 厚	2.55 2.10 0.30							凹基無茎式 基部欠損
70 :	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 厚	1.75 2.15 0.35							凹基無茎式 先端欠損
71	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色小礫混土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 厚	1.20 1.70 0.35							凹基無茎式 先端欠損
72	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅 厚	1.25 1.85 0.35							凹基無茎式 先端欠損
73	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅 厚	0.95 1.25 0.30	5						凹基無茎式 先端·基部欠損

挿図番号 遺物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類 器種	計測値(cm)		手 法	胎土	焼成	Γ	色 調	備考
第23図 74	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	2.15				1		凹基無茎式 ほぽ完形
75	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト 石鏃	長 残存幅	0.30 2.35 1.45						凹基無茎式 基部欠損
76	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色風化礫混土	サヌカイト 石鏃	長 残存幅	0.25 1.90 1.25						凹基無茎式 基部欠損
77	A区 2トレンチ	落ち込み	サヌカイト 石鏃	長幅	0.25 2.65 1.75						四基無基式 ほほ完形
78	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	サヌカイト 石鏃	長幅	0.40 2.50 1.80	-					凹基無茎式 ほほ完形
79	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.60 1.80 1.45						四基無茎式 ほほ完形
80	A区 2トレンチ	落ち込み	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.20 1.70 1.50						凹基無基式 先端欠損
81	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.35 1.80 1.30						四基無茎式 先端欠損
82	A区 2トレンチ	落ち込み	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅	0.30 1.70 1.55						凹基無茎式 先端欠損
83	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	サヌカイト 石鏃	長幅	0.35 1.95 1.60						平基無茎式 完形
84	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.60 1.80 1.40			 -	-		平基無茎式 ほほ完形
85	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.30 2.10 1.85						平基無茎式 先端欠損
86	A区 3トレンチ	落ち込み 淡白緑色砂	サヌカイト 石鏃	長幅	0.50 1.90 1.60 0.40						平基無茎式 完形
87	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	サヌカイト 石鏃	長幅	2.20 1.50						平基無茎式 ほほ完形
88	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色碟混土	サヌカイト 石鏃	残存長 幅	0.40 1.25 1.70 0.25						平基無茎式 先端欠損
89	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅	0.25 1.70 2.00 0.40						平基無茎式 先端欠損
90	A区 3トレンチ		サヌカイト 石鏃	残存長 残存幅	2.20 1.75 0.30						平基無茎式 先端·基部欠損
91	A区 3トレンチ		サヌカイト 石鏃	残存長 幅	2.85 2.00 0.50						平基無茎式 未成品
92		落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト スクレイパー	残存長 残存幅	1.75 3.85 1.20						
93		落ち込み 暗灰茶色礫混土	サヌカイト スクレイバー	長 残存幅	4.30 7.00 0.85						
94	A区 3トレンチ	落ち込み 淡白緑色砂	サヌカイト スクレイパー	長幅	3.05 7.10 0.80						
第24図 95			和泉砂岩 敲石	長幅	6.00 5.40 5.25						
96			和泉砂岩 敲石	長 10 幅	0.85 9.00 5.20						
第25図 97	A区 2トレンチ		縄文土器 深鉢	残存高	6.20 8.00	コ緑上面 沈線 穿孔 外面 巻貝条痕後ナデ 内面 ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良好	外内断	橙褐色	有文 波状口緑
98	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器 深鉢	残存高 :	3.90	コ緑部上面 沈線 短沈線 外面 ナデ 凹線 縄文 内面 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶白色 淡茶白灰色 淡灰白茶色	有文
99	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器 深鉢	残存高 (口径	6.80	コ緑上面 沈線 外面 巻貝条痕後ナデ 縦位凹線 縄文 内面 ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良好	外内断	橙褐色 。 暗茶褐色	有文
100	3トレンチ	茶色風化礫混土	縄文土器 深鉢	残存高		外面 - 縄文 - 縦位沈線 内面 - ケズリ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶灰色 淡茶灰白色 暗茶褐色	有文
101	3トレンチ	暗茶色粘質土	縄文土器 深鉢			外面 縄文LR 蛇行沈線 巻貝殻頂刺突 内面 摩滅のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	橙色 淡茶灰色 淡灰黄色	有文
102	3トレンチ	暗黒茶色土	縄文土器 鉢	口径	-	外面 縄文RL 条線文 内面 ナデ	密 (砂粒含む)	良好		淡茶褐色 。 暗灰褐色	有文
103	3トレンチ	黒茶色土	縄文土器 鉢			外面 条線文 内面 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色 ・ 暗茶灰褐色	有文
104	3トレンチ	茶色風化礫混土	縄文土器 深鉢	口径	-	小面 沈線 刺突 内面 沈線	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色 〃 〃	有文 波状口縁
105	3トレンチ	茶色土	縄文土器 鉢			外面 縄文RL 横位沈線 内面 ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色 淡茶灰白色 黒灰色	有文
106	3トレンチ	暗黒茶色土	縄文土器 鉢	口径		外面 縄文 内面 摩滅のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶白色 , 黑色	有文 内屈口縁
107	2トレンチ		縄文土器 深鉢	口径		外面 ナデ 区画沈線 縄文 内面 ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良好	外内断	茶白色 〃 暗茶灰色	有文 内屈口縁
108	3トレンチ	暗灰茶色礫混土	縄文土器 注口	復元口径 8	3.00	外面 隆起帯 沈線 刺突 内面 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	内断	橙色 にぶい橙色 灰褐色	有文 突起付平線
109	3トレンチ	暗茶色粘質土	組文土器 注口			Fo(h	密 (細砂粒含む)	良好	内断	にぶい橙色 ゥ 淡灰橙色	注口部のみ
110	A区 3トレンチ		縄文土器 鉢	残存高 3 口径	3.70	外面 ナデ 凹線 内面 巻貝条痕	密 (雲母含む)	良好	外内	暗茶褐色 《 黒褐色	有文 内屈口緑

119 3トレンチ 暗灰茶色機混土 蜂 内面 巻貝条痕 (細砂粒含む) 内 暗茶形 水 で で で で で で で で で で で で で で で で で	内原
A区 おち込み 類文土器 残存高 250 外面 ナデ 沈線 接管 種文化 一	1
A	大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪
114 3 トレンチ 昭安 茶色螺混土 数字高 260 外面 老貝条痕後ナア 密 (細砂粒含む) 数字 3 トレンチ 昭安 茶色螺混土 数子高 270 外面 密線のため調整不明 密 (細砂粒含む) 日好 外 淡淡光 次子高 280 外面 空線のため調整不明 密 (細砂粒含む) 日好 外 深次月 116 3 トレンチ 昭安 色螺混土 数子高 280 外面 子戸 四種 四種 四種 四種 四種 四種 四種 四	内原口線 (在) 内原口線 (在) 有文 内原口線 (百色 有文 内原口線 (百色 有文 外反 口線 (5色)
A区 115 3 トレンチ 第5込み 4	有文 10
116 A区 落ち込み 44 3 42 42 42 42 42 43 42 42	10
A区 落ち込み 翻文土器 残存高 3.20 内面 ナデ 大級 大級 大級 大級 大級 大級 大級 大	関色 外反口縁
A 区 落ち込み 縄文土器 残存高 3.30 外面 沈線 長殻背面圧痕 R刻 やや粗 段好 外 浜灰利 原教育面 月教育面 日教育和 日教育和	日色
A 区 落ち込み 稲文土器 残存高 4.00 外面 巻貝条痕後ナデ 沈線 楓文RL 密 (細砂粒含む) 良好 外 にぶし 所添り 所添り 京	改程色 有文
A区 3トレンチ RF RF RF RF RF RF RF R	5 5 5 6 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8
A 区 3トレンチ 南下 茶色機混土 柳文土器 独存高 340 内面 沈線 爪形刻 内面 原統のため調整不明 やや粗 良好 内 暗音料 原稿 原稿 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京	在
122 A区 落ち込み 福文土器 残存高 350 外面 ナデ 沈線 爪形刻 内面 巻貝条痕後ナデ 密 一 内面 沈線 不必組 良好 外 暗茶料 京本色料質土 一 内面 沈線 尺刻 巻貝条痕後ナデ やや粗 良好 外 暗茶料 日経 一 内面 沈線 尺刻 巻貝条痕後ナデ 密 下 下 下 下 下 下 下 下 下	型色 動色 動色 動色 動色 動色 広口 動色 広口 動色 あた あた あた あた あた あた あた あた あた あた
123 A区 3トレンチ 暗茶色粘質土 棚文土器 残存高 126 4.70 外面 ナデ 口径 一 内面 沈線 R刺 巻貝条痕後ナデ やや粗 良好 外 暗茶料 暗茶 色粘質土 保鉢 間交上器 現文土器 現文土器 現文土器 現文土器 現文土器 現文土器 現文土器 現文土	担色 有文 ・
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 360 外面 ナデ 密 良好 外 暗灰料 の場合む) 124 3トレンチ 黒茶色土 深鉢 口径 一 内面 沈線 L刻 ナデ (砂粒合む) 原 暗茂料 原 原及 第26図 A区 落ち込み 縄文土器 残存高 440 外面 ナデ 四線 L刻 密 良好 外 暗茶房	製色 有文 以色 広口 色
第26図 A 区 落ち込み 縄文土器 残存高 4.40 外面 ナデ 凹線 L刻 密 良好 外 暗茶房	
125 3トレンチ 茶色風化礫混土 複鉢 口径 一 内面 ナデ (細砂粒含む) 内 淡茶所 暗茶所	F.色 内屈口縁
A 区 落ち込み 縄文土器 残存高 3.50 外面 ナデ 凹線 L 刻 密 良好 外 茶程度 内面 巻貝条痕後ナデ の数含む) 内面 総形 野 所 新 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切	直 有文
A区 落ち込み 縄文土器 鉢又は深鉢 投存高 口径 350 外面 一内面 ー 内面 ー 方面 ナデ 凹線 に細砂粒含む) 密 (細砂粒含む) 良好 内 断 断 所 新 所 所 所	場色 有文 広口
A区 落ち込み 縄文土器 4 接存高 4 260 外面 4 外面 7 上戸 2 四級 2 中内 2 中向 2 中向 2 </td <td>「色 有文 広口</td>	「色 有文 広口
A 区 落ち込み 桐文土器 残存高 5.40 外面 ナデ 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大京 大	最色 有文 協色 広口
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 3.70 外面 ナデ やや粗 やや粗 130 3トレンチ 黒茶色土 解文は深鉢 口径 一 内面 ナデ 沈線 L刻 「砂粒・器母合む」 内 黒綿色 断 。	茶褐色 有文
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 7.10 外面 卷貝条痕後ナデ 沈線 刺突 密 良好 外、淡樹房内 131 3トレンチ 茶色風化礫泥土 深鉢 口径 一 内面 卷貝条痕後ナデ 沈線 刺突 (砂粒含む) 内 所 灰橙色	日色 広口
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 5.20 内面 ナデルター 大学 大統括 132 3トレンチ 暗風茶色土 深鉢 口径 一 内面 ナデー 沈線 (砂粒含む) 断 風灰色	天色 有文 広口
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 4.50 外面 ナデ 凹線 審 (砂粒含む) 自好 外 黄茶店 133 3トレンチ 暗茶色粘質土 深鉢 口径 ー 内面 ナデ (砂粒含む) 原 淡黄店	B色 広口
A区 落ち込み 電子 棚文土器 深鉢 現存高 口径 3.50 外面 中内面 ナデ 外面 ナデ サア 凹線 (細砂粒含む) やや粗 (細砂粒含む) 良 内 の 断 淡灰が	器色 有文 外反口縁
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 4.70 外面 四線 やや粗 良 外 淡橙 135 3トレンチ 暗灰茶色機能土 一 内面 原域のため調整不明 (砂粒含む) 内。 所 液粒	色 有文 外反口級
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 4.90 外面 凹線 136 3トレンチ 暗灰茶色機泥土 一 内面 巻貝条痕後ナデ (細砂粒含む) 原 原皮	与
A 区 落ち込み 桐文土器 残存高 4.80 外面 凹線 (砂粒含む) (砂粒含む) 所 灰色 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大	色 有文 天色 内彎口線
A区 落ち込み 淡白緑色砂 概文土器 淡鉢 残存高 口径 4.20 外面 ナデ ミガキ 大面 ナデ ミガキ 密 良好 内 の 断 の	
A区 落ち込み 楓文土器 残存高 4.50 外面 ナア 直押卷貝扇状圧痕 密 (細砂粒含む) 身外 無影 内 暗灰式 断 暗灰式 断 呼及	ド褐色 波状口縁 黄褐色
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 5.00 外面 巻貝条痕後ナデ 凹線 粘土贴巻貝扇状圧痕 密 (砂粒含む) 場所 選挙 (砂粒含む) 場所 選挙 (砂粒含む) 関 選挙 (砂粒含む) 関 選挙 (砂粒含む) 関 選挙 (茶褐色 实起付外反平線 曷色 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 2.80 外面 ナデ 凹線 粘土貼巻貝扇状圧痕 密 141 3トレンチ 茶色土 深鉢 口径 一内面 板ナデ 断 淡灰土	突起付外反平線 登白色
A区 落ち込み 縄文土器 残存高 3.50 外面 巻貝条痕後ナデ 凹線 直押巻貝扇状圧痕 密 (砂粒含む) は 深鉢 口径 一 内面 巻貝条痕後ナデ 凹線 直押巻貝扇状圧痕 密 (砂粒含む) 内 淡橙は 所 黒褐	图色 外反口線 色
A区 落ち込み 桐文土器 残存高 5.70 内面 ナデ 凹線 内面 密 (砂粒含む) 良好 内 黒粉(所 小 黒 粉)	<u>'ii</u>
A区 落ち込み 茶色風化機混土 縄文土器 深鉢 残存高 4.30 内面 ナデ 四線 内面 密 (砂粒含む) 良好 外 (砂粒含む) 財 所 所 所 所 所 所 所	退色 色
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 6.00 外面 ナデ 回線 内面 ナデ 密 (細砂粒含む) (細砂粒含む) 財 暗灰	天褐色 有文 色 色
A区 落ち込み 棚文土器 残存高 250 外面 川線 密 (砂粒含む) 原子 外 暗茶 146 3トレンチ 端幹 口径 一 内面 巻貝条痕後ナデ (砂粒含む) 断 資本	場色 有文外反口縁場色
A区 A区 落ち込み 超文土器 投存高 3.10 外面 外面 未渡後十字 凹線 密 (砂粒含む) 良好 外 乳茶ド 147 2トレンチ 二 一 内面 ナデ 一 財 無灰	自色 有文 外反口線

挿図番号	トレンチNa	出土地点・層位	種類	計測値		手 法	胎土	焼成	Γ	色 調	備考
遺物番号 第26図 148	ΑŒ	落ち込み暗黒茶色土	器種 縄文土器 深鉢			巻貝条痕後ナデ 凹線	*** - *** *** *** *** *** *** *** *** *	良好	外内断	淡黄褐色 / 灰黄色	有文 外反口緑
149	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器 深鉢		外面 内面	条痕後ナデ 凹線 条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	茶灰色 黄褐色	有文 外反口綠
150	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	縄文土器 深鉢		外面 内面	ナデ 凹線 ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡白茶色 茶黄色 暗茶黄色 暗灰色	有文
151	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	縄文土器 鉢		外面 内面	凹線 摩滅のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色	有文
152	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 鉢又は浅鉢		外面 内面	ナデ 凹線 摩滅のため調整不明	やや粗 (細砂粒含む)	良	外内断	淡橙灰色 淡橙灰色 淡橙色	有文
153		落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 注口		外面 内面	巻貝条痕後ナデ 凹線 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶色 暗茶褐色 暗茶灰色	有文
第27図 154		落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 浅鉢		外面 内面	摩滅のため調整不明 ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良	外内断	暗灰黄褐色 / 黒灰色	有文 外反口縁
155	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 浅鉢	残存高 1.50	外面 内面	斜行沈線 綾杉状細沈線 ナデ	やや粗	良好	外内断	暗茶色 《 暗茶褐色	有文
156		落ち込み 茶色風化礫混土	縄文土器 深鉢	残存高 3.70 復元口径 31.80	外面 内面	巻貝条痕 ナデ	密 (砂粒・雲母含む)	良好	外内断	暗茶褐色 暗茶灰色 暗茶褐色	有文 外反口縁
157	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器 浅鉢		外面 内面	口縁端部 沈線 ナデ ナデ	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	淡赤白灰色 黒灰色 淡赤黄褐色	有文 外反口縁
158		落ち込み 暗黒茶色土	縄文土器 深鉢			- 面 V字刻 巻貝条痕後ナデ ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	暗茶褐色 卵 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	有文 外反口縁
159	3トレンチ	落ち込み 茶色風化礫混土	縄文土器 深鉢	口径 一	口縁」 外面 内面	-面 D字刻 ナデ ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶褐色 暗黄褐色 暗灰褐色	有文 外反口線
160	3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 浅鉢	口径 一	外面 内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色 暗黄褐色 黒灰色	有文 波状口縁
161	3トレンチ		縄文土器 浅鉢	口径 一		巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	やや粗 (細砂粒含む)	良好	外内断	茶褐色 〃 暗灰褐色	有文 波状口縁
162	3トレンチ	落ち込み暗灰茶色礫混土	縄文土器 浅鉢	口径 一	内面	剥離のため調整不明 剥離のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良	外内断	暗橙色 黒褐色	有文
163	3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 深鉢	口径 一	内面		やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	暗茶灰色 灰黄褐色 黒褐色	有文
164	3トレンチ	落ち込み 茶色風化礫混土	縄文土器 鉢		内面		粗 (砂粒含む)	良好	外内断	茶褐色 橙茶色 暗茶灰褐色	有文
165	3トレンチ	落ち込み 茶色風化礫混土	縄文土器 深鉢	口径 一	外面 内面		密 (砂粒含む)	良好	外内断	橙灰色 茶灰色 暗茶灰色	凸带文
166	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器 深鉢	残存高 2.90 口径 —	外面 内面	- 面 D字刻 ナデ 貼付凸帯 V字刻 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色 暗灰茶色 〃	凸带文
167	3トレンチ		縄文土器 浅鉢	復元口径 21.40	内面	ナデ 貼付凸帯	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	茶灰褐色 暗茶灰褐色 黄灰褐色	凸带文 外反口縁
168	3トレンチ		縄文土器 鉢	口径 一	外面内面	貼付凸帯 D字刻 摩滅のため調整不明	密(砂粒多し)	良好	外内断	白茶灰色 〃 暗灰色	凸带文 内傾口縁
第28図 169	3トレンチ		縄文土器 深鉢	復元口径 22.20	内面	巻貝条痕後ナデ巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	暗茶褐色 黄褐色 灰色	無文 内屈口縁
170	3トレンチ	黒茶色土	縄文土器 深鉢 郷立土里	口径 一	内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)		内断	淡橙黄色 淡橙色 乳黄白色	無文内屈口縁
171	3トレンチ	落ち込み暗灰茶色礫混土	縄文土器 深鉢	復元口径 24.80	内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	やや粗 (砂粒・雲母含む)			橙黄褐色 / 暗灰褐色	無文 内屈口縁
172	3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 深鉢	口径 一	内面	ミガキ 巻貝条痕後ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	内断	暗茶褐色 暗茶灰色 黒色	外反口縁
173	2トレンチ	落ち込み	縄文土器 深鉢	口径 一	内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	(小石・砂粒含む)	良好	内断	暗茶褐色 水 茶色	無文 外反波状口縁
174	3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土 落ち込み	縄文土器 深鉢 縄文土器	口径 一	内面	巻貝条痕後ナデ ナデ 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡茶白色 淡灰白色 黄灰茶色	無文 外反口縁
175	3トレンチ	帝ら込み 暗茶色粘質土 落ち込み	深鉢	復元口径 22.20	内面	を日本版をナデ 巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む) 密		断	東灰糸也 橙黄褐色 淡白黄灰色 にぶい淡橙色	無文 外反口縁 無文
176	3トレンチ	帝ったみ 暗茶色粘質土 落ち込み	飛文工 奋 深鉢 - 縄文土器	口径 一	内面	摩滅のため調整不明	で (砂粒含む)		内	にあい改位也 火褐色 にぶい橙色	外反口線 外反口線 無文
177	2トレンチ	落ち込み	和文土器			二枚貝条痕 二枚貝条痕 卷貝条痕	(砂粒含む)		内断	にぶい赤橙色 ル 黒黄褐色	無文
178	3トレンチ A区	暗茶色粘質土 落ち込み	深 鉢 楓文土器	復元口径 24.80	内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕	(砂粒含む)		内断	茶黄色 黒褐色 茶灰褐色	無文
179	3トレンチ	茶色風化礫混土	深 針 縄文土器	口径 一	内面	を 虚成のため調整不明 巻貝条痕	(砂粒含む)		内	暗灰黄色 暗灰色 灰茶色	無文
180	3トレンチ		深鉢	口径 一	内面	ない。 ないでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、	(砂粒含む)		内断	黄灰褐色 黄灰褐色 淡茶灰白色 淡茶色	無文
181	2トレンチ		深 外	口径 一	内面	を見来版はアファナデ 巻貝条痕	・ (細砂粒含む) やや粗		内断	暗茶灰色 淡茶白灰色 淡茶灰色	無文
182	3トレンチ	茶色風化礫混土	縄文土部 深 鉢	口径 一	内面	を以来が ケズリ 巻貝条痕後ナデ	(細砂粒含む)		内断	淡灰茶色 淡灰茶白色 暗茶褐色	無文
183	2トレンチ	落ち込み	和文土 都 深鉢	復元口径 18.40	内面	世界状版リー 巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕	やや粗		内断	暗然构色 淡白茶褐色 淡白茶色 黒褐色	無文
184			深鉢		内面	卷貝条痕 	(砂粒含む)	XXI	内	無獨巴 黒黄色 暗茶灰色	/

重図番号 登物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類器種	計測値(cm)			手 法	胎 土	焼成		色 調	備考
第28図 185	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	縄文土器 浅鉢	残存高	3.20	外面 内面	巻貝条痕後ナデ 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	茶灰色 〃 暗灰黄色	無文 内赞口禄
186	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	縄文土器 注口	残存高 復元口径	5.10 11.60	外面 内面	巻貝条痕後ナデ ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄黑褐色 黑褐色	無文
187	A区 3トレンチ	落ち込み 暗黒茶色土	縄文土器 鉢	残存高 底径		外面 内面	ナデ 摩滅のため調整不明	やや粗 (細砂粒含む)	良好	断外内)	淡灰色 黄灰褐色	凹み底
188	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色風化礫混土	縄文土器 鉢	残存高 底径		外面 内面	巻貝条痕 ナデ ナデ	密 (砂粒含む)	良好	断外内)	淡灰色 黄茶褐色 暗橙色	凹み底
189	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色土	縄文土器 鉢	残存高 底径	1.55 6.30	外面 内面	ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	断外内	· 暗茶褐色 淡茶灰褐色	凹み底
190	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色 礫 混土	縄文土器 鉢	残存高 復元底径	2.10 6.80	外面 内面	ナデ	やや粗 (細砂粒含む)	良好	断外内	》 淡橙灰褐色 暗茶褐色	凹み底
191		落ち込み 茶色風化礫混土	和文土器 鉢	残存高 復元底径		外面 内面		やや粗 (小石・細砂粒含む)	良好	斯 外 内	黒褐色 橙灰褐色 暗茶褐色	凹み底
192	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	縄文土器 鉢	残存高 底径		外面 内面		やや粗 (砂粒含む)	良好	斯 外 内	淡茶褐色 橙茶灰色 暗茶灰色	凹み底
193	A区 2トレンチ	落ち込み	縄文土器	残存高 復元底径			巻貝条痕 ケズリ 巻貝条痕後ナデ	密 (砂粒含む)	良好	断外内断	。 暗黄灰褐色 暗茶褐色	凹み底
194	ΑŒ	落ち込み 暗灰茶色 礫 混土	縄文土器 鉢	残存高 底径	2.00	外面内面	ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	断 外 内	暗橙褐色 橙色 淡茶色	凹み底
第29図 195	A区 2トレンチ	落ち込み	弥生土器 壺	残存高 口径	6.30	外面	摩滅のため調整不明 横ナデ	密 (砂粒含む)	やや軟	断外内	淡灰色 橙色	口縁部に黒斑
196	ÀΙΧ	落ち込み 茶色風化礫混土	弥生土器 壺	残存高 復元口径	3.00	外面	横ナデ ヘラミガキ 横ナデ	審	良好	断外内	が 黄茶褐色	
190	ΑIZ	茶 色風 化保促工 落ち込み 暗灰茶色礫混土	歌生土器 壺	残 存高 復元口径	1.80	外面	横ナデ	やや粗(砂粒含む)	良好	断外内	淡灰橙色 橙色	
	Α区	落ち込み	弥生土器	残存高	3.40		体部 板ナデ後横ナデ	密	良好	断外内	橙黄色 橙色	外面底部に黒斑
198	ΑX	暗灰茶色礫混土 落ち込み	壺又は 要 弥生土器	底径 残存高		内面 外面	底部 ナデ 板ナデ 体部 タタキ後ナデ	密	良好	斯 外	淡橙色 淡橙色	
199	3トレンチ A区	茶色土 落ち込み	・ 強又は要 弥生土器	底径 残存高	3.40	内面 外面	底部 ナデ	やや粗	良好	内断外	% 淡橙色	
200	3トレンチ A区	暗灰茶色礫混土 落ち込み	壺又は 要 弥生土器	底径 残存高	3.60	内面 外面	底部 指オサエ ハケ目 体部 摩滅のため調整不明	(砂粒含む)	良好	内断外	淡橙褐色 淡黄橙色 暗茶褐色	
201	3トレンチ	暗灰茶色礫混土	壺又は甕	底径	4.40	内面	底部 指オサエ 摩滅のため調整不明 底部 ナデ	(砂粒含む)	良好	内断外	橙褐色 淡橙色 橙黄色	
202	A区 3トレンチ		弥生土器 壺又は 変	底径	5.00	内面	ハケ目	(砂粒含む)		内断	橙色 淡橙色	
203	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	弥生土器 壺又は 変	残存高 底径	3.60	外面内面	体部 タタキ後ナデ 底部 ナデ 板ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	橙色 橙褐色 淡橙色	
204	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	弥生土器 壺又は 変	残存高 底径	2.70 3.40	外面内面	体部 指オサエ後ナデ 底部 ナデ 剥離のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	橙色 暗茶褐色 橙色	
205	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径		外面 内面	指オサエ 摩滅のため調整不明	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 淡橙灰色 〃	
206	A区 2トレンチ	落ち込み	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径	2.80 6.10	外面 内面	指オサエ 剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	やや軟	外内断	橙褐色 黒灰色 赤灰色	底部に木葉痕
207		落ち込み 茶色風化礫混土	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径	2.70 5.30	外面 内面	タタキ ハケ目	やや粗 (細砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色 明茶色 暗茶褐色	底部にスサ圧痕
208	A区 3トレンチ	落ち込み 茶色風化礫混土	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径	4.30 4.60		体部 タタキ 底部 指オサエ後ナデ ハケ目	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 / / / / / / / / / / / / /	外面底部に木葉痕
209	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	弥生土器 壺又は 甕	残存高 底径	3.50 4.70	外面	体部 タタキ 底部 ナデ 康滅のため調整不明	粗 (砂粒含む)	良好	外内断	にぶい橙色	外面底部にスサ圧痕
210	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	弥生土器 壺又は 変	残存高 底径	3.30 4.10	外面	体部 タタキ 底部 指オサエ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	黄褐色 淡茶灰色 淡橙灰色	外面底部に木葉痕
211	A区 3トレンチ	落ち込み 淡白緑色砂	弥生土器 壺又は 変	残存高 底径		外面	<u>摩滅のため調整不明</u> タタキ 板ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	次世紀 淡黄褐色 淡黄橙色	
212	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径	2.70 4.00		体部 タタキ 底部 ナデ	密	良好	外内断	次典位と にぶい橙色 次橙色	
213	A区 2トレンチ	落ち込み	弥生土器 壺又は 甕	残存高 底径	3.80 5.00	外面	底部 剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡茶色	外面に黒斑
214	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	弥生土器 壺又は 要	現存高 底径	3.60 4.10	外面	体部 タタキ 底部 未調整	密 (砂粒含む)	良好	断 外内 5	淡茶白色 にぷい橙色	
215	A区 3トレンチ	落ち込み 黒茶色土	弥生土器 壺又は 要	残存高 底径	4.20 4.10	内面 外面 内面	摩滅のため調整不明体部 タタキ 指オサエ摩滅のため調整不明	密	良好	断外内斯	黒灰色 橙色 ***	外面底部に木葉痕
216	A区 2トレンチ	落ち込み	土師器 高杯	残存高 復元口径			横ナデ ヘラミガキ 剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	やや軟	斯 外 内 い	淡橙色 橙黄色 橙色	
217	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	土師器 高杯	残存高 復元口径	6.10 21.40	外面 内面	横ナデ ハケ目 横ナデ	密	良好	断外内的	<u>橙白色</u> 黄褐色	外面口縁部に黒斑
218	ΑZ	落ち込み 茶色風化礫混土	土師器 小型丸底壺	残存高 復元口径	4.60 8.90	外面	口縁部 横ナデ 体部 ナデ 口縁部 ハケ目	やや粗 (砂粒含む)	良好	断外内断	<u>淡黄茶色</u> にぶい橙黄色 ″	
	AZ	落ち込み	土師器	残存高		外面	<u>体部 ナデ</u> 口縁部 横ナデ	密	良好	外内	黄茶褐色	
219		暗茶色粘質土		復元口径	8.40	内面	体部 指オサエ 口線部 横ナデ 体部 ナア	ote	pr on ±t.	断	淡橙色	
220	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	須恵器 杯身	残存高 復元口径			口縁部 横ナデ 体部 回転ヘラケズリ 横ナデ	密	やや軟	外内断	乳黄白色 * *	

挿図番号 遺物番号	トレンチNo	出土地点·層位	種類器種	計測値 (cm)	1	手 法	胎土	焼成		色 調	備考
第29図	A区 3トレンチ	落ち込み 暗茶色粘質土	須恵器 把手付椀	器高 6.30 復元口径 7.20		口縁部 横ナデ 把手部 貼付 また イル	密	良好	外内	暗灰色	
	ΑŒ	落ち込み	磁器	底径 4.60 残存高 3.00	内面 外面	底部 ヘラケズリ 横ナデ 施釉 染付	密	硬	断外	茶灰色 釉·青味白色	
222	3トレンチ	暗茶色粘質土	椀	復元口径 12.40	内面	施釉 染付			内	染・明藍色 釉・背味白色 染・明藍色	
	A区 3トレンチ	落ち込み 暗灰茶色礫混土	磁器		外面	施釉 染付	密	硬	斯外	白色 釉・青味白色 染・藍色	
223	0,,,,		PE	10.00	7	ערשגע ייין אייי			内	釉・青味白色 染・藍色	
224		落ち込み 茶色風化礫混土	磁器 湯呑み	残存高 3.20 底径 3.10		施釉 染付 畳付 露胎	緻密	硬	外	<u>白灰色</u> 釉·灰味白色 染·藍色	畳付にハナレ砂付着
	ΑZ	落ち込み	磁器	器高 2.70	外面	施釉		硬	内断外	釉・灰味白色 白灰色 釉・白色	
225 第30図		暗茶色粘質土 第2層	金 サヌカイト	復元口径 6.80 復元底径 2.80	内面	量付 露胎			内断	釉・〃 白色	未成品
226		淡灰茶色土	石器	幅 1.95 厚 0.40					_		
227	B⊠	第2層 淡灰茶色土	弥生土器 小壺	残存高 5.00 底径 4.40	外面内面	体部 ナデ 底部 指オサエ及びナデ 頸部 横ナデ	(砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色 淡橙褐色 淡橙色	手づくね
228	B区	第2層 淡灰茶色土	弥生土器 変	残存高 7.00 復元口径 16.00	外面	体部 ナデ 口級部 横ナデ 体部 タタキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色	
	D.E.				内面	口縁部 横ナデ 体部 板ナデ		1.77	断	淡橙白色	
229	B⊠	第2層 淡灰茶色土	弥生土器 高杯	残存高 6.30 基部径 3.00	外面内面	杯部 ナデ 脚部 ヘラミガキ 杯部 ナデ	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	橙茶色 〃 〃	杯底部に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 輪積み痕
230	ΒIZ	第2層 淡灰茶色土	磁器	残存高 3.00 復元口径 10.00	外面内面	脚部 ナデ 施釉 染付 施釉	密	良好	外	釉·灰味白色 染·灰味藍色	
	B⊠	第2層	磁器		外面		Silverin:	6.17	内断	釉·灰味白色 白灰色	
231	DΙΔ	泰 Z 協 淡灰茶色土	椀		内面	畳付以外は施釉 染付 施釉 染付	級密	良好	外内	釉·青味白色 染·藍色 釉·青味白色	
	B区	第2層	磁器	残存高 2.50	外面	施釉 染付	級密	良好	断外	染・藍色 <u>白色</u> 釉・白色	色絵
232		淡灰茶色土	段重	復元口径 13.00		施釉 口縁部 釉ふき取り露胎			内	染·灰味藍色 黄色 緑色 釉·白色	
233	ΒŒ	第2層 淡灰茶色土	磁器		外面	施釉 染付 高台部 釉ふき取り器胎	緻密	良好	断外	白色 釉·背味白色	
					内面	毎日即 相ふさ取り路店 露胎			内断	染・藍色 白色 白色	
第32図 234	B⊠	土坑5 暗灰色粘質土 (褐色粘土混)	サヌカイト	長 2.30 幅 1.50 厚 0.20							二次加工剝片
235	B⊠	土坑5 暗灰色粘質土 (褐色粘土混)	縄文土器 深鉢		外面 内面	摩滅のため調整不明 摩滅のため調整不明 沈線	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	黒褐色	有文 広口
236	B区	土坑 5 暗茶色礫混土	弥生土器 翌	残存高 3.00 底径 4.20		体部 タタキ 底部 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	橙褐色 黒色	
237	B⊠	土坑 5 暗灰色粘質土	弥生土器 高杯	残存高 5.20 復元口径 24.00	内面 外面 内面	摩滅のため調整不明 ナデ ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	断外内	橙褐色 茶黄色 淡橙褐色	
第33図 238	ΒŒ	(<u>褐色粘土混)</u> 自然河川 第 1 層	サヌカイト 石鏃	残存長 2.20 幅 1.75					断	淡黄褐色	 平基無茎式 先端欠損
239	Β区	自然河川 第1層	サヌカイト 石錘	厚 0.40 残存長 2.35 残存幅 1.90					-		先端欠損
	B⊠	自然河川	サヌカイト	厚 0.35 残存長 2.35							
240	B⊠	第1層 自然河川 第1層	石錘 須恵器	残存幅 2.15 厚 0.65 残存高 2.10	外面	横ナデ	密	良好	外	暗灰色	
241	B区	第1屆 自然河川	壺 須恵器			横ナデ	奢	良好	内断外	% 紫灰色 淡灰色	外面体部に自然釉
242	B区	第1周	短頸壺	復元口径 12.20	内面	横ナデ			内断	") Lim tentre il waln
243		自然河川 第1層	土師質	復元口径 8.60	内面	口縁部 横ナデ 底部 指オサエ及びナデ 横ナデ	密	良好	外内断	淡橙色 〃 〃	
第34図 244	B⊠	自然河川 第2層	サヌカイト 石鏃	長 2.70 幅 2.05 厚 0.35							平基無茎式 ほぼ完形
245	B⊠	自然河川 第2層	サヌカイト 石錐	残存長 4.35 残存幅 2.20 残存厚 0.35							
246	B区	自然河川 第2層	縄文土器 深鉢	残存高 4.00		ナデ 沈線 R刻 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	暗茶灰褐色	有文 内傾小波状口縁
247	B区	自然河川 第2層	縄文土器 深鉢又は鉢	残存高 5.80 復元口径 22.40	外面		やや粗 (砂粒含む)	硬く良好	内	。 暗灰茶色 黒褐色	有文 広口
248	B⊠	自然河川 第2層	縄文土器 深鉢	残存高 1.50 □径 —	外面	<u>ナア 沈線 R刻</u> ナデ ナア 沈線 L刻	密 (砂粒含む)	良好	断外内	暗茶白色 暗灰白色	有文
249	B⊠	自然河川 第2層	縄文土器 深鉢		口線」	面 D字刻 ナデ 貼付凸帯 D字刻	密(砂粒含む)	良好	断外	暗白灰色 黄茶灰色	凸带文
	B区	自然河川	縄文土器	残存高 2.50	内面 外面	ナデ 巻貝条痕	密	良好	内断外	灰黄色 暗灰色 淡橙褐色	無文
250	B区	第2層 自然河川	深鉢 縄文土器	残存高 4.10	内面 外面	ナデ	やや粗	良好	内断外	黄褐色 灰黒色 淡橙褐色	無文
251	B区	第2層	深鉢	口径 一	内面外面	ナデ	(砂粒含む)		内断	橙褐色 淡橙色	外反口緣
252	υıΣ	第2層	深鉢		内面		密 (砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色	無文 外反口線

₽図番号 は物番号	トレンチNa	出土地点・層位	種類 器種	計測値 (cm)		手 法	胎士	焼成		色 鯛	備考
第34図 253	B区	自然河川 第2層	縄文土器 深鉢	残存高 8.0	外面	卷貝条痕 卷貝条痕	密 (砂粒含む)	良好	外内	暗茶灰色 暗黄灰色	無文
	BIZ	自然河川	縄文土器	残存高 1.8	外面	体部 ケズリ	密	良好	断外内	灰黒色 黄灰白色 暗茶灰色	凹み底
254		第2層	鉢	復元底径 5.0	内面	底部 指オサエケズリ	(砂粒含む)	良好	断外	黒灰色	凹み底
255	B⊠	自然河川 第2届	縄文土器 鉢	残存高 2.0 底径 4.0		体部 剥離のため調整不明 底部 ナデ 剥離のため調整不明	(砂粒含む)	及好	内断	暗茶灰色 黒灰色	日の広
	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 蓋	器高 6.0 復元口径 19.1	外面	つまみ部 指オサエ 体部 タタキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色 淡橙白色	
256		39 Z AY	54.	つまみ径 4.5)	口縁部 横ナデ 天井部 ナデ	(*) 100 Li O /		断	淡橙褐色	
257	BIZ	自然河川 第2層	弥生土器 蓋	器高 6.2 口径 16.4	外面	口縁部 横ナデ つまみ部 指オサエ 体部~口縁部 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄橙茶褐色 *	外面口縁部に輪積み痕
	ВIX	自然河川	弥生土器	つまみ径 3.5 残存高 4.7)内面)外面	ナデ つまみ部 指オサエ 体部 ナデ	やや粗	やや軟	断 外 内	淡橙色	
258	B区	第2層 自然河川	蓋 弥生土器	つまみ径 4.4 残存高 6.3	内面	ナデ つまみ部 指オサエ	密	やや軟	断 外	<i>*</i> 橙色	
259	B 🗵	第2層 自然河川	蓋 弥生土器	つまみ径 4.0 残存高 2.6	D 内面 分 外面	体部 ナデ ナデ ハケ目	密	良好	内断外	淡橙色 〃 明茶褐色	
260		第2層	蓋	復元口径 16.2	内面	ハケ目	(砂粒含む)		内断	暗茶灰褐色 淡橙灰色	
	B区	自然河川 第2層	弥生土器 蓋	器高 6.2 復元口径 23.1	0 外面	つまみ部 指オサエ 体部 ヘラナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	橙色	
261				つまみ径 4.1	内面	口縁部 ハケ目 天井部 指オサエ 体部 ナデ			断	淡橙白色	
	B区	自然河川	弥生土器	器高 37.0) 外面	口縁部 ハケ目 口縁部 横ナデ	密	やや軟	外	淡橙褐色	
262		第2層	壺	口径 16.6 復元底径 5.2	O 内面	頸部 ヘラミガキ体部 タタキ後ナデ口縁部 横ナデ			内断	暗黄褐色 暗灰色	
第35図	B区	自然河川	弥生土器		0 外面	体部 剥離のため調整不明 口縁部 横ナデ	密	良好	外	橙黄褐色	
263		第2層	壺	口径 17.2		顕部〜体部 ヘラミガキ 口縁部 横ナデ 顕部〜体部 ヘラミガキ			内断	黄灰褐色 ″	
	B区	自然河川	弥生土器		0 外面	体部 ハケ目 口縁部 横ナデ	やや粗	良好	外	淡橙褐色	
264		第2層	壺	口径 17.8	内面	体部 剥離のため調整不明 口縁部 横ナデ 体部 剥離のため調整不明	(砂粒含む)		断	″ 淡橙色	
265	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 10.5 口径 16.8	0 外面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	密	良好	外内	淡橙褐色 淡白橙色	
					内面	口縁部 横ナデ 体部 ハケ目		1.17	断	淡橙褐色	
	ΒŒ	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 9.1 復元口径 17.8		口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	明茶橙色 淡橙褐色	内面頸部に黒斑
266					内面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ 体部 摩滅のため調整不明			IED!	淡橙色	
267	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 8.6 復元口径 17.0		口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	密	やや軟	外内断	橙黄褐色 淡橙色	
268	BI⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 2.5 復元口径 21.4	0 外面	別離のため調整不明 口縁部 横ナデ 竹管文 頸部 ヘラミガキ	密(砂粒含む)	良好	外内	橙茶褐色	
	B⊠	自然河川	弥生土器	残存高 1.7	内面 0 外面	<u> へラミガキ</u> 口縁部 横ナデ 竹管文	やや粗(細砂粒含む)	良好	断外内	淡黄褐色 淡橙白褐色	
269	B区	第2層	壺 弥生土器		0 外面	剥離のため調整不明 口縁部 横ナデ 擬凹線	密	良好	斯外	淡橙白色 茶色	貼付浮文剝離痕
270	D. E.	第2層	童 -	復元口径 20.4	内面	頸部 ヘラミガキ 横ナデ 口縁部 提凹線	密	良好	内斯外	※茶白灰色 橙褐色	
271	B⊠	自然河川 第2届	弥生土器 壺	復元口径 16.2	0 内面	摩滅のため調整不明			内断	〃 黒黄色	
272	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺			剥離のため調整不明 剥離のため調整不明	密(砂粒含む)	やや軟	外内断	淡橙色 淡黄橙色	
273	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 6.0 復元口径 15.2	0 外面	頸部 ヘラケズリ	やや粗 (砂粒含む)	やや軟	外内	橙褐色	
074	B区	自然河川	弥生土器		0 外面	ヘラミガキ 口縁部 竹管文付円形浮文 頸部 横ナデ 刻目	やや粗(砂粒含む)	良好	斯 外 内	淡橙色 橙黄褐色	-
274		第2層	塑	復元口径 16.0	内面	体部 剥離のため調整不明	(I)/AE (3 (3)			橙黄色	
275	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 5.8 復元口径 13.0	0 外面 0 内面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ後ヘラケズリ	密	良好	外内断	橙褐色 〃 淡黄褐色	
	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 9. 復元口径 19.	0 外面		やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	橙褐色	
276		N2 743	52	(A)CIALE 13.	内面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	(3 12 2 7		断	淡橙色	
000	B区	自然河川	弥生土器		20 外面		密(砂粒含む)	良好	外内	暗黄茶褐色 暗茶灰色	
277		第2層	壺	復元口径 14.	内面	頸部 ヘラミガキ 口縁部〜頸部 横ナデ 体部 ハケ目 指オサエ及びナデ			断	淡茶色	
278	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 7. 口径 14.	0 外面		密	良好	外内断	黄橙茶色 〃 淡黄茶色	
第36図 279	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 5. 復元口径 15.	80 外面 80	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラケズリ	密	良好	外内	淡橙黄褐色	
	B区	自然河川	弥生土器	残存高 6.	内面 00 外面	口縁部 横ナデ	密 (砂粒含む)	良好	斯 外 内	淡黄灰白色 淡橙白褐色	
280		第2層	塑	復元口径 12.	内面	頸部 ハケ目 口縁部 横ナデ 頸部 ヘラケズリ	(少私品で)		断		
	B 🗵	自然河川	弥生土器		50 外面	体部 ハケ目	やや粗	良好	外		
281		第2層	童	復元口径 10.		頸部 ヘラケズリ 口縁部〜頸部 横ナデ	(砂粒含む)			″ 淡橙白褐色	
	B 🗵	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 8. 復元口径 15.	30 外面	体部 指オサエ 口縁部 横ナデ 類部 ヘラミガキ及びヘラケズリ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内		
	1	30 5 mg	and a	1%/Line 13.	り内面			1	断		1

重図番号 登物番号	トレンチNo		種類 器種	計測値 (cm)		手 法	胎土	焼成	L	色 調	備考
第36図 283	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 (復元口径 15	5.40 外面 5.20 内面	頸部 剥離のため調整不明 口縁部 横ナデ	密 (砂粒含む)	やや軟	外内断	茶橙色 〃 暗灰黄色	
284	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 6 復元口径 13	5.60 外面	頸部 ヘラケズリ 口縁部 指オサエ及びナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡檀褐色 灰色	
285	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	復元口径 19	7.30 外面 9.00 5.20	<u>頸部 剥離のため調整不明</u> 口縁部 横ナデ 頸部 ハケ目及びヘラミガキ 体部 ヘラミガキ及びハケ目 底部 未調整	密 (石英含む)	良好	外内断	茶橙褐色 〃	
2.00					内面	本所型					
286	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺		7.40 外面 i.60 内面	口縁部 横ナデ 頸部 剥離のため調整不明	密	やや軟	外内断	淡橙色 橙黄褐色 淡橙色	
287	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺		0.00 外面 0.90 内面	口縁部〜顕部 ヘラミガキ 剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	やや軟	外内断	橙褐色 淡橙色	外面体部、内面体部に黒斑
288	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 7 復元口径 11		顕部 ハケ目	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色	
289	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	復元口径 6	内面 1.40 外面 1.50 1.70 内面		密 (砂粒含む)	やや軟	断外内	淡黄褐色 淡橙色	ほほ完形
290	B⊠	自然河川 第2届	弥生土器 壺		.50 外面	頸部〜体部 ヘラミガキ 口縁部〜頸部 横ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	断外内断	黄茶色	
291	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺		.80 外面	体部 ナデ及び指オサエ 頸部 ヘラミガキ 体部 タタキ後ナデ 底部 ナデ	密 (砂粒含む)	良	外内断	淡橙褐色 黒灰色 淡茶白色	顕部内面に輪積痕
292	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺		内面 :30 外面 :20 内面	ハケ目 ヘラミガキ 頸部 壁滅のため調整不明 体部 ヘラミガキ 底部 ヘラケズリ	密 (小石含む)	良好	外内断	橙黄褐色 黄茶褐色 淡黄褐色	外面体部に黒斑
293	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 4 復元口径 13	.80 外面 .40 内面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色 〃 淡橙黄色	
294	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺		.50 外面	日報 付ナデ	密 (砂粒含む)	やや軟	外内断	淡橙色 淡黄橙色	
337図 295	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	口径 8	.05 外面 .30 内面	口縁部〜体部 横ナデ 底部 指オサエ ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	が 橙色 淡橙色 グ	ほぼ完形
296	B区	自然河川第2層	弥生土器 壺		.10 外面 .50	体部~底部 横ナデ 体部 ヘラミガキ 底部 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	橙色 黒灰色	外面体部に黒斑
297	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 12	<u>内面</u> .60 外面 .20	摩滅のため調整不明体部 ナデ ヘラミガキ底部 指オサエ ヘラケズリ	密 (砂粒含む)	やや軟	断 外 内	淡橙色 橙色 暗灰褐色	
298	BZ	自然河川 第2層	弥生土器 壺	復元口径 11	.40	<u>剥離のため調整不明</u> 頸部 剥離のため調整不明 体部 板ナデ 体部 指オサエ 頸部剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	やや軟	断外内断	<u>淡橙色</u> 橙褐色 黄橙褐色 黒色	
299	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 5 復元底径 5	.60 外面 .30	体部 ハケ目	密	良好	外内斯	淡橙褐色 淡黄褐色	外面底部に籾圧痕
300	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺		.10 外面 .80	体部 ペラミガキ後ヘラケズリ 底部 指オサエ 剥離のため調整不明	密 (砂粒含む)	良好	外	% 機褐色 黄橙褐色 淡黄橙色	外面底部に木葉痕
301	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 壺		.40 外面 .40	体部 ヘラミガキ 底部 ナデ ヘラケズリ	密	良好	外内断	機製色 黒色 最色	
302	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺		70 外面 60		密	良好	外内断	淡橙褐色 黄橙褐色	
303	BZ	自然河川 第2層	弥生土器 壺			体部 ヘラミガキ 底部 未調整	やや粗 (砂粒含む)	やや軟	外内断	淡橙色 淡橙褐色 淡橙色	外面体部に黒斑
304	B区	自然河川 第2層	弥生土器 壺	残存高 7 体部径 14	50 外面	ヘラミガキ 指オサエ及びナデ	密	良好	外内断	橙色	線刻絵画
338図 305	B⊠		弥生土器 鉢	残存高 12 復元口径 30	20	口縁部 横ナデ 体部 横ナデ ヘラミガキ ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡黄橙色 淡橙褐色 水黄橙色	
306	В区		弥生土器 鉢	復元口径 24	10 外面 20 20	口縁部 横ナデ 体部 ヘラミガキ 底部 指オサエ ヘラケズリ 口縁部~体部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	校員位已 橙褐色 // 淡黄橙色	外面底部に黒斑
307	B区	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	口径 14.	55 外面 80 20	底部 板ナデ 口縁部 横ナデ 体底部 稍オサエ ロ体部 が 横ナデ 体部 が 横ナデ 体部 が が り	密(砂粒含む)		内	淡茶白色 淡橙褐色 〃	外面底部に黒斑
308	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	器高 9. 復元口径 18.		底部 指オサエ 口縁部 横ナデ 体部 タタキ 口縁部 横ナデ 体部 摩滅のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)		外内断	暗黄茶褐色 黄橙褐色 橙色	外面口縁部に煤付着
309	B区	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	復元口径 11.	60		密			淡橙色 橙色 淡橙褐色	
310	B区	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	口径 11.	50 外面	は 体部 ケズリ	密		外内断	淡橙褐色	内面底部に黒斑

●図番号 □物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類 器種	計測値 (cm)		手 法	胎士	焼成		色 調	備考
第38図	B区	自然河川 第2局	弥生土器 鉢	器高	9.80 9 9.10	·面 口縁部 横ナデ 体部 タタキ	やや粗 (小石・砂粒含む)	やや軟	外内	橙色	
311		77273		底径	3.70	底部 指オサエ 国面 口縁部 横ナデ			断	"	
		A. Ab Section	76.45 1 88	100-2		体部 摩滅のため調整不明	de	t: 47	外	10.10 /L	
	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢		8.90 5 10.50	体部 タタキ	(細砂粒含む)	良好	内	橙褐色	
312				底径	3.50	底部 指オサエ ナデ 面 口縁部 横ナデ			断	淡橙色	
	BIX	自然河川	弥生土器	器高	5.80 5	体部 ハケ目 面 指オサエ及びナデ	密	良好	外	淡茶白色	
313	DIA	第2層	鉢	復元口径	9.10 F		(砂粒含む)	1200	内断	,	
	В区	自然河川	弥生土器		3.30 14.30 5		密	やや軟	外	橙褐色	外面底部に黒斑
314		第2層	鉢	復元口径 底径	17.50 4.60	体部 タタキ 底部 指オサエ ナデ			内断	》 淡黄橙色	
011				7.4 1.1.		日面 口縁部~体部 ハケ目 底部 ナデ					
	Β区	自然河川	弥生土器		11.30 5	面 体部 タタキ	密	やや軟	外	橙黄色	
315		第2層	鉢	復元口径 : 底径	12.90 4.20 F	底部 指オサエ 7面 ハケ目			内断	〃 淡橙色	
316	B区	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	器高	8.90 5 14.50		密 (砂粒含む)	良好	外内	黄茶褐色	
310				底径	4.30 F]面 ハケ目		45.E7	断	淡橙褐色	外面底部に木葉痕
317	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢		8.90 5 14.80	体部 タタキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色	外国政部に本果扱
				底径	4.30	底部 指オサエ 3面 ハケ目			断	淡橙色	
210	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢	器高 復元口径	9.15 3 13.30		密 (砂粒含む)	良好	外内	橙色	
318		99 Z NB	44	底径	4.20	底部 指オサエ	(1942.6.0)		断	淡橙色	
	B⊠	自然河川	弥生土器	器高	8.70 5	<u> 面 ハケ目 </u>	密	やや軟	外	橙黄褐色	外面底部に木葉痕・黒斑
319		第2層	鉢	復元口径 底径	15.50 F 2.00	F面 剥離のため調整不明	(砂粒含む)		内断	″ 橙黄色	
	B⊠	自然河川	弥生土器	器高	7.95		やや粗	良好	外	淡橙褐色	
320		第2層	鉢	口径 底径	11.00 3.80 F	底部 指オサエ 円面 口縁部 ナデ	(砂粒含む)		内断	》 淡橙色	
第39図	B⊠	自然河川	弥生土器	器高	7.60 5	<u>体部 ハケ目</u> h面 タタキ	やや粗	良好	外	黄茶褐色	外面底部に黒斑
321	Die	第2層	鉢	口径	11.50 F	面 摩滅のため調整不明	(砂粒含む)		内断	黄灰褐色 淡黄灰褐色	
	B⊠	自然河川	弥生土器	底径 器高	7.20	面 口縁部 ナデ	密	良好	外	淡黄褐色	外面底部に木葉痕
322		第2層	鉢	復元口径 底径	8.10 3.70 F	体部 タタキ 7面 口縁部 ナデ	(砂粒含む)		内断	"	
	D.177	et de la constitue	34-44- J. 90	1	8.20	体部 ハケ目	密	良好	91	橙褐色	
323	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢		12.60	底部 指オサエ ナデ	(細砂粒含む)	RXI	内	黄橙褐色	
		自然河川	弥生土器	底径 器高	3.45 F		やや粗	良好	断 外	淡黄橙色 淡茶色	
324		第2層	鉢		11.30 3.60 F	底部 指オサエ	(砂粒含む)		内断	″ 暗灰色	
005	Β区	自然河川	弥生土器	残存高	9.50	面 タタキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄橙褐色	底部に穿孔
325		第2層	鉢又は甕	底径		可面 ハケ目		n n #6	断	淡橙色	hi thi the fitt 1 + -4-this dis
326	B⊠	自然河川 第2周	弥生土器 鉢又は 甕	残存高 底径	3.70 £		密	やや軟	外内	淡橙色	外面底部に木葉痕 底部に穿孔
	Β区	自然河川	弥生土器	残存高	2.70	「面 タタキ	密	良好	外	沙橙色	底部に穿孔
327	D E	第2層	鉢又は甕	復元底径	5.60		(細砂粒含む)		内断	淡黄褐色 淡橙色	
	ВŒ	自然河川	弥生土器	残存高	2.30		密	良好	外	淡橙褐色	底部に穿孔
328		第2層	鉢又は甕	復元底径	4.60	底部 ナデ内面 ハケ目	İ		内断	暗灰褐色	
329	B区	自然河川 第2層	弥生土器 鉢又は甕	残存高 復元底径	2.50 5.60		密	良好	外内	淡茶白色	底部に穿孔
- 525	D. Fet				- 1	内面 ハケ目	密	良好	断	橙色	底部に穿孔
330	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 鉢又は 翌	残存高 底径	3.80	本部 タタキ 成部 指オサエ	100	DE ST	外内	*	E THE STILL
	B区	自然河川	弥生土器	器高	26.85	7面 板ナデ 1面 口縁部 横ナデ	密	良好	断外	淡橙色 黄茶褐色	外面体上部・底部に黒斑
331		第2層	塾		19.80	体部 タタキ 底部 ナデ	(細砂粒含む)		内断	茶褐色 淡茶褐色	内面口縁部・体下部に黒斑
331				ACIE		内面 口縁部 横ナデ			"	XXIII L	
						体部 ハケ目 底部 ヘラケズリ			ļ.,		
332	ΒØ	自然河川 第2層	弥生土器 翌	残存高 復元口径	14.70 21.00	面 口縁部 横ナデ 体部 タタキ	やや粗	やや軟	外内	淡橙褐色 黄灰褐色	外面体部に煤付着
	B区	自然河川	弥生土器			内面 剥離のため調整不明	密	やや軟	断外	淡橙色 橙褐色	
333	ΔIΔ	第2層	外生工奋 要	現 任 尚 復 元 口 径	19.00	体部 タタキ	(小石・砂粒含む)	, \ 5 A	内	黄茶褐色	
	ВŒ	自然河川	弥生土器	残存高	9.70		やや粗	やや軟	外	淡黄褐色 暗黄茶色	外面口縁部・体部に煤付着
334		第2層	塾	復元口径	16.00	体部 タタキ 内面 口縁部 横ナデ			内断	淡橙褐色 淡橙色	
	יהו מ	田福建	光井上明	砲方 す		体部 摩滅のため調整不明	やや粗	良好	外	橙褐色	
335	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要	残存高 復元口径		体部 タタキ	(砂粒含む)	174.1	内	,	
					-	内面 口縁部 横ナデ 体部 指オサエ ヘラケズリ			断	淡黄橙色	
第40図 336	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要	残存高 復元口径	11.40		やや粗	良好	外内	暗橙褐色 淡橙褐色	
330		77 € NH) XC	夜儿口往		内面 口縁部 横ナデ			断	/	
		自然河川	弥生土器	残存高	9.20		密	やや軟	外	橙色	
	B区	第2層	塾	復元口径	13.40	体部 タタキ 内面 口縁部 横ナデ			内断	淡橙色 淡橙白色	
337	B⊠	89 Z 123		1		体部 ハケ目	やや粗	やや軟	外	淡橙色	
337			24- A1- NO	確かせ	1/00	小面 口縁部 横ナデ		1 1 44			i .
	B Z	自然河川 第2層	弥生土器 甕		14.00 18.20	頸部 指オサエ	(砂粒含む)	1	N N	"	
337		自然河川			18.20	体部 タタキ 内面 口縁部 横ナデ	(砂粒含む)		内断		
_	BIZ	自然河川 第2層	斑	口径	18.20	体部 タタキ 内面 口縁部 横ナデ 体部 ハケ目		やや斬		"	
338		自然河川		口径	18.20	体部 タタキ 口線部 横ナデ 体が 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	密	やや軟	外内	化 相 超 世 数 褐 色 暗 貴 褐 色	
_	BIZ	自然河川 第2層 自然河川	変 弥生土器	口径 残存高	11.30 14.40	体部 タタキ 山板部 横ナデ 体部 ハケ目 「面 口緑部 横ナデ 類部 指オサエ 体		やや軟	外	橙褐色	
338	BIZ	自然河川 第2層 自然河川 第2層	変 弥生土器	円径 残存高 復元口径	11.30 14.40	体部 タタキ 内面 口線部 横ナデ 体部 ハケ目 下面 野部 横ナデ 野部 横ナデ 外部 タタキ 内面 は線部 仲ナデ 体部 タクキ な部 のラケズリ	密	やや軟	外内断外	% % 格色 格	
338	BIZ BIZ	自然河川 第2層 自然河川	整 弥生土器 整	口径 残存高	11.30 14.40	体部 タタキ 内面 口線部 横ナデ 体部 ハケ目 下面 野部 横ナデ 野部 横ナデ 外部 タタキ 内面 は線部 仲ナデ 体部 タクキ な部 のラケズリ	密		外内断	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

挿図番号 遺物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類 器種	計測值 (cm)		手 法	胎土	焼成		色 調	備考
第40図 341	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要	残存高 21	90 外 50 内	体部 タタキ ① 口縁部 横ナデ	やや粗 (砂粒含む)	やや軟	外内断	淡黄橙褐色 〃 〃	外面に煤付着
342	В区	自然河川 第2層	弥生土器 瓷	残存高 21 復元口径 17	30 外 80 内	体部 タタキ ii 口縁部 横ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 淡黄橙褐色 淡橙色	外面体下部暗灰褐色に変色
343	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要	残存高 19 復元口径 22	80 外	体部 タタキ ii 口縁部 横ナデ	密 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 《 淡橙白色	
344	B区	自然河川 第2層	弥生土器 変	残存高 10 復元口径 21		体部 ハケ目 口線部 横ナデ 日線部 横ナデ 口線部 横ナデ 体部 板ナデ ハケ目	密 (細砂粒含む)	良好	外内断	淡黄茶色 〃 淡黄褐色	
第41团 345	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 甕	残存高 10 復元口径 20			密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 《 淡橙色	内面口縁部に黒斑
346	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要	残存高 9 口径 18	00 外 50 内	 口級部 横ナデ 体部 タタキ	密	良好	外内断	淡橙褐色 〃 淡橙色	
347	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 変	残存高 10 復元口径 16	70 外i 60 内i	ii 口縁部 横ナデ 体部 タタキ	やや粗 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	黄橙褐色 〃 淡橙色	
348	BØ	自然河川 第2層	弥生土器 変	残存高 6. 復元口径 20.	30 外i 00 内i	□ 口縁部 横ナデ 頸部 指オサエ 体部 タタキ □ 口縁部 横ナデ	密 (砂粒含む)	やや軟	外内断	橙黄褐色 〃 淡黄橙色	
349	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 甕	残存高 5. 復元口径 20.	- 1	頸部 指オサエ 体部 タタキ 『 口縁部 横ナデ	やや粗 (砂粒含む)	やや軟	外内断	橙褐色 橙黄褐色 淡橙色	
350	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 翌	残存高 8. 復元口径 29.	50 外i 60 内i	体部 タタキ後ハケ目	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	暗橙褐色 橙褐色 灰色	
351	BΙΖ	自然河川 第2層	弥生土器 要		60 外i 20 内i	i 体部 タタキ 底部 指オサエ	密(砂粒含む)	良好	外内断	淡橙色 黒色 淡橙色	外面底部に黒斑
352	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 翌		10 外i 00 内i	i 体部 タタキ 底部 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	暗橙褐色 橙色 橙黄色	
353	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 要		70 外i 60	Í 体部 タタキ 底部 ヘラケズリ	密 (細砂粒含む)	やや軟	外内	暗黄褐色	内面体部に黒斑
354	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 変	器高 14. 復元口径 11. 復元底径 4.	00	□ 口縁部 ナデ体部 タタキ後ナデ底部 指オサエ及びナデ□ 口縁部~体部 ナデ	密 (細砂粒含む)	良好	断外内断	<u>淡橙色</u> 暗黄褐色 橙褐色 淡橙色	外面体部に黒斑
第42図 355	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	復元口径 26.	30 外i 20 80 内i	脚部 ヘラミガキ 横ナデ	密	良好	外内断	橙茶色 《 淡橙茶色	杯部底に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 脚柱部に円形二方スカシ 裾部に円形三方スカシ
356	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	復元口径 24.	20 外i 40 50 内i	I 杯部 ヘラミガキ 脚部 ヘラミガキ	密	良好	外内断	淡橙褐色 〃 淡橙白色	杯部口級・脚部端に黒斑 杯底部に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 脚部に円形三方スカシ
357	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	復元口径 19.			やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 * *	杯底部に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 脚柱部に円形二方スカシ 裾部に円形四方スカシ
358	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	器高 15. 復元口径 18. 底径 13.		□ 口縁部 横ナデ 脚柱部 ナデ 裾部 横ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	橙色 淡橙褐色 淡橙白色	杯部底に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 脚部に円形三方スカシ
359	B区	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	復元口径 14.	40 外i 60 内i 90	『 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	橙褐色	杯部底に粘土円板充填 脚柱部内面に絞り痕 脚部に円形三方スカシ
360	Β⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯		00 外i 90 20	『 □ 緑部 横ナデ 怀底部 ナデ 怀底部 サラミガキ 裾部 様ナデ □ 口線部 横ナデ 怀底部 ナデ	密 (小石含む)	良好	外内断	橙褐色,淡橙褐色	脚柱部内面に絞り痕 脚部に円形三方スカシ
361	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	器高 14. 復元口径 20. 底径 10.		杯体部 ナデ 杯底部〜裾部 ヘラミガキ 裾部 ナデ 横ナデ Ī □緑部 ヘラミガキ	密(砂粒含む)	良好	外内断	淡茶褐色	脚柱部内面に飲り痕 脚部に円形三方スカシ 外面口緑部に黒斑
362	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	器高 14. 復元口径 14. 底径 11.		杯底部 ナデ 脚柱部 ヘラケズリ 裾部 横ナデ ii 杯部 ヘラミガキ後ナデ	審	良好	外内断	橙色 〃 淡橙色	杯底部に粘土円板充填 脚部に円形三方スカシ 外面口緑部に黒斑
363	В⊠	自然河川 第2層	弥生土器 高杯	復元口径 14.	55 外i 20 20 内i	杯底部〜脚部 ナデ 口縁部 横ナデ 杯底部 ナデ	密	良好	外内断	淡黄茶褐色	杯底部粘土充填 脚柱部内面に絞り痕 脚部に円形四方スカシ 外面頸部に黒斑
第43図 364	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 真蛸壺	復元口径 10.	70 外i 50 80 内i	 裾部 ナデ □ 口級部 横ナデ 体部 タタキ □ 口級部 横ナデ 体部 カデ 	密 (砂粒含む)	良好	外内断	黄茶褐色 淡橙褐色 〃	
365	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 真蛸壺	復元口径 12	00 外i 00 内i	□ □ 緑部 横ナデ体部 タタキ	やや粗	良好	外内断	橙褐色 〃 〃	外面底部に木葉痕

挿図番号 遺物番号	トレンチNa	出土地点·層位	種類 器種	計測f (cm)		手 法	胎土	焼成		色 調	備考
第43図 366	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 製塩土器	残存高 底径	11.80 9.10		体部 タタキ 脚柱部 ヘラケズリ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	程灰褐色 //	脚柱部内面に絞り痕
							裾部 剥離のため調整不明 剥離のため調整不明		4.17	断	淡橙色	No. 13 der de "C" a fels la séc
000	B⊠	自然河川 第 2 層	弥生土器 製塩土器	残存高 底径	10.30 9.10		体部 タタキ 脚柱部 タタキ後ナデ 裾部 指オサエ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内断	黄茶褐色 〃 〃	脚柱部内面に絞り痕
367						内面	性部 相オリエ 体部 ハケ目 脚柱部 ナデ			NO1	7	
	B区	自然河川	弥生土器	残存高	8.60	外面	裾部 ハケ目 タタキ後ナデ	やや粗	良好	外	淡橙茶褐色	脚柱部内面に絞り痕
368	DΕ	第2層	製塩土器	底径			裾部 ハケ目	(砂粒含む)	I A	内断	次黄褐色	DE DE MAINTE DE LA PROPERTIE D
369	B⊠	自然河川 第2層	弥生土器 製塩土器	残存高 復元底径		外面 内面	タタキ後ナデ ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色	外面裾部に黒斑
	ВZ	自然河川	弥生土器	残存高			脚柱部 タタキ	密	良好	断外	淡橙色 暗橙灰色	
370		第2層	製塩土器	復元底径	7.50	内面	裾部 ナデ及び指オサエ 裾部 ナデ	(細砂粒含む)		内断	淡灰黄色	
371	B区	自然河川 第2層	弥生土器 製塩土器	残存高 底径	4.20 7.10	外面	脚柱部 タタキ 裾部 指オサエ及びナデ	密	良好	外内	白茶褐色暗灰褐色	
050	B⊠	自然河川	土師器	器高		内面 外面	ナデ □緑部 横ナデ	密	良好	断 外 内	<u>白茶褐色</u> 橙褐色 橙色	
372		第2層	杯	口径	12.70	内面	体部〜底部 ナデ 口線部 横ナデ 体部〜底部 ナデ			断	淡橙色	
	ΒØ	自然河川 第2層	土師器 土釜	残存高 復元□径		外面	口縁部〜鍔部 横ナデ 体部 ハケ目後ナデ	密 (小石・細砂粒含む)	良好	外内	暗茶灰色	
373		77 2 19	22.306	I WALLE	21.20		底部 ハケ目 口縁部 横ナデ	(11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		断	淡茶白色	
	BIX	自然河川	土師質土器	残存高	7.00	外面	体部 指オサエ及び板ナデ 指オサエ及びナデ	密	良好	外	淡橙褐色	
374		第2屆	真蛸壺	復元口径	14.50	内面	口縁部 ナデ 体部 指オサエ及びナデ	(細砂粒含む)	4.7=	内断	,	
375	Β区	自然河川 第2層:	須恵器 変	残存高 復元口径		外面 内面	横ナデ 横ナデ	密	良好	外内斯	暗灰色 ***	
070	BIZ	自然河川	須恵器	残存高		外面	口縁部 横ナデ	密	良好	外内	淡灰色 暗灰色	
376		第2層	要	復元口径	19.80	内面	体部 格子タタキ □緑部 横ナデ 体部 ナデ			断	灰色	
377	ВZ	自然河川 第2層	須恵器 壺	残存高 底径	3.40 9.80	外面	体部 ファ 体部 回転ヘラケズリ 底部 高台貼付け後横ナデ 回転ヘラケズリ	密	良好	外内	暗灰色	内面底部に自然釉
317	B区	自然河川	黒色土器	残存高		内面 外面	横ナデ 口縁部 横ナデ	密	良好	断外	灰茶色 橙褐色	
378	ے اد	第2層	椀	復元口径	18.60		体部 ヘラケズリ 口縁部 横ナデ			内断	黑色 淡橙褐色	
	B区	自然河川	黒色土器	残存高		外面	<u>体部 ヘラミガキ</u> 口縁部 横ナデ	密	良好	外	橙褐色	
379		第2層	鉢	復元口径	18.80	内面	体部 ヘラケズリ 口縁部 横ナデ			内断	黑褐色 淡橙褐色	
第44図	B区	自然河川	サヌカイト	残存長	1.50		体部 ヘラミガキ					下半欠損
380	BZ	第3層 自然河川	石鏃 縄文土器	残存幅 残存厚 残存高	0.70 0.20 5.80		上面 卷貝殼頂刺突	密	良好	外	暗茶黄褐色	有文
381	2) (4.	第3層	深鉢	口径	-	外面	ナデ 貝殻背面圧痕 沈線 ケズリ	(砂粒含む)		内断	,	突起付波状口縁
382	B区	自然河川 第3層	縄文土器 深鉢又は鉢	残存高 口径	3.60	外面	巻貝条痕 ナデ 沈線 R刻	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄灰褐色 黒黄灰色	有文広口
205	B⊠	自然河川	縄文土器	残存高	3.70	外面		密	良好	斯 外 内	黄灰褐色 暗灰黄色	有文 内傾口縁
383	B区	第3層 自然河川	深鉢 縄文土器	口径 残存高	4 20	内面 外面		(砂粒含む)	良好	外外	が 暗灰茶色 暗黄灰色	凸带文
384	BIZ	第3層	深鉢	口径	4.20	内面		(砂粒含む)	EXI	内断	唱製灰色 黒褐色 暗黄灰色	
385	B⊠	自然河川 第3層	縄文土器 深鉢	残存高 口径		外面 内面	巻貝条痕 ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡茶色 灰黄色	無文
	B区	自然河川	縄文土器	残存高			卷貝条痕	密	良好	断外	黄灰色 暗灰褐色	無文
386		第3層	深鉢	口径			卷貝条痕 	(砂粒含む)	1.77	内断	灰褐色 暗黄灰色	-
387	BIZ	自然河川 第3層	縄文土器 深鉢	器高 口径		外面 内面	巻貝条痕 ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内断	淡橙褐色 《 淡橙白色	無文
200	B⊠	自然河川	縄文土器	残存高 口径			巻貝条痕及びナデ 巻目条痕後ナデ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	液位日巴 暗茶色 橙色	無文
388	B区	第3層	深鉢 弥生土器	器高	710		巻貝条痕後ナデ つまみ部 指オサエ	密	良好	断外	電灰色 黄橙茶褐色	
389	212	第3層	蓝	復元口径 つまみ径	19.20		体部 ハケ目後ナデ 口縁部 横ナデ	(砂粒含む)		内断	淡黄橙褐色	
						内面	天井部 ナデ 体部 ハケ目					
	B 🗷	自然河川	弥生土器	残存高		外面	口縁部 横ナデ つまみ部 ナデ及び指オサエ	やや粗	良好	外	黄灰褐色	
390		第3層	蓋	復元つま	外任 4.40	内面	体部 ナデ 天井部 ナデ 体部 ハケ目	(細砂粒含む)		内断	黄橙褐色 〃	
391	B区	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 復元口径		外面		密	良好	外内	淡黄茶色	
351		Na O UR	342		10.20	内面	頭印 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				淡黄灰色	
392	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 復元口径		外面	口縁部 横ナデ 頸部 摩滅のため調整不明	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡黄褐白色 ″	
L						内面	口縁部 横ナデ 頸部 摩滅のため調整不明			断	淡橙白色	
393	Β区	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 復元口径			口級部 横ナデ 体部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄橙褐色 暗灰褐色	
<u> </u>	B⊠	自然河川	弥生土器	残存高	7.90	外面	ヘラミガキ 口縁部 横ナデ	やや粗(いなのな)	やや軟	外	淡橙灰色 黄橙褐色	
394		第3周	壺	復元口径	14.80	内面	類部 摩滅のため調整不明 口縁部 横ナデ 類部 剥離のため調整不明	(砂粒含む)		内断	<i>"</i> 淡橙黄色	
395	B区	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 復元口径		外面	知品 利能のため調整作所 口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	やや軟	外内	淡橙色	
						内面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ			断	淡橙黄色	
396	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 復元口径		外面	口縁部 横ナデ 竹管文 類部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡茶黄色	
						四面	口縁部 横ナデ 頸部 ヘラミガキ			断	*	

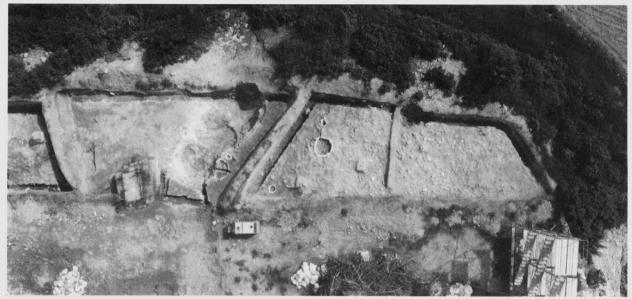
且初田写	トレンチNo			計測値 (cm)		手 法	胎土	焼成		色調	備考
第45図 397	B区	自然河川 第3層	弥生土器 壺		1.20 外 2.80	頸部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	外内	淡黄茶褐色	内面口縁部に黒斑
	- 151				内	面 口縁部 ヘラミガキ 頸部 指オサエ		1	断	*	
398	B区	自然河川 第3層	弥生土器 壺	残存高 4 復元口径 14	I.50 外 I.40 内		密 (砂粒含む)	軟	外内	淡橙色 橙色	外面頸部に黒斑
399	BIZ	自然河川 第3層	弥生土器 壺		5.40 外 5.00	面 口縁部 横ナデ 類部 ヘラミガキ	密(細砂粒含む)	良好	斯 外	淡橙色 橙褐色	
	B区	自然河川	弥生土器		7.00 外	面 摩滅のため調整不明	密	やや軟	内断外	淡橙黄色 橙黄褐色	•
400		第3層	壺		3.10	頸部 ヘラミガキ	(砂粒含む)	1 1 1	内断	橙褐色 淡橙色	
-	B⊠	自然河川	弥生土器		.20 外		密	やや軟	外	淡橙色	
401	n l7	第3層	壺 弥生土器		2.80 内		(細砂粒含む)	4.17	内断	淡黄褐色	
402	B⊠	自然河川 第3層	<u>泰</u>		.70 外 .60 内	面 体部 ヘラミガキ 底部 ナデ 面 体部 ナデ及びヘラケズリ	密	良好	外内断	淡黄橙褐色 淡黄褐色	
403	B区	自然河川 第3層	弥生土器 壺		.60 外 .20 内	面 ナデ	密	良好	外内	橙褐色	内面に黒斑
第45図	Β区	自然河川	弥生土器		.00 外		やや粗	やや軟	断 外	淡黄橙色 淡橙褐色	
404	D.17	第3層	鉢			体部 タタキ <u> </u>	(砂粒含む)	1	内断	黄灰色 淡橙色	
405	Β区	自然河川 第3層	弥生土器	残存高 6 復元口径 17	.60 外 .40 内	体部 タタキ	密 (小石・砂粒含む)	良好	外内断	淡黄茶色	
	Β区	自然河川	弥生土器	残存高 3	.10 外	体部 ハケ目	やや粗	良好	外	淡茶白色	
406		第3層	鉢	復元口径 16	.80 内	体部 タタキ 町 ハケ目	, , ,		内断	》 乳黄白色	
407	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 鉢	残存高 8 復元口径 17		体部 タタキ後一部ヘラケズリ	密 (砂粒含む)	やや軟	外内	黄茶褐色	外面体部茶灰褐色に変色 内面体部に付着物
	ρl√	山路銀点	沙什山里	辞友章 C	内	体部 ハケ目	ate	÷ 47	断	淡橙色	
408	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 要	残存高 6 復元口径 16		面 口縁部 横ナデ 体部 タタキ 面 口縁部 横ナデ	密(砂粒含む)	良好	外内断	暗黄茶褐色 淡赤灰色 淡橙白色	
\dashv	B区	自然河川	弥生土器	残存高 6	.60 外	<u>体部 板ナデ</u> 11 口縁部 横ナデ	やや粗	良好	外	淡橙褐色	
409		第3層	要	復元口径 16	.00	体部 タタキ 前 口縁部 横ナデ	(砂粒含む)		内断	淡橙色	
410	B区	自然河川	弥生土器		.10 外		密	良好	外	暗黄褐色	
410	В区	第3層	要 弥生土器	復元口径 11. 残存高 5.	.60 内 .40 外		密	th 67	内断	淡橙褐色 淡橙色	月亮中驱如:• 林丛李
411	DЕ	第3層	要	復元口径 20.	.80	1 口縁印 傾りり 体部 タタキ後ナデ II 口縁部 横ナデ	atr	良好	外内断	暗茶灰色 淡茶褐色 淡茶褐色	外面口頸部に煤付着
	B区	自然河川	弥生土器	残存高 4.	.60 外	体部 板ナデ	やや粗	やや軟	外	黄褐色	
412		第3層	甕	復元口径 19.		頸部 指オサエ 体部 剥離のため調整不明	(小石・砂粒含む)		内断	橙褐色 淡橙色	
	5.67	els deb fore (1)	74.4. / 89	70-7		□ 口縁部 横ナデ 体部 剥離のため調整不明		1	ļ.,	VIII	
413	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 要	残存高 4. 復元口径 18.	.00 外i .20	□ 口縁部 横ナデ頸部 指オサエ体部 タタキ	やや粗 (砂粒含む)	やや軟	外内断	橙灰褐色 暗黄褐色 灰黄色	
110					内				ESI	从其巴	
414	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 翌	残存高 3. 復元口径 16.		体部 ハケ目	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色 淡橙色	
	לו מ	के के जाता (i)	24- HL- 131	10 to to 2		「 口縁部 ハケ目 <u> 体部 板ナデ</u>	An An Mil	5.19	断	淡橙色	
415	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 要	残存高 7. 復元口径 28.	.70 外i .20	□ 口縁部 横ナデ頸部 指オサエ体部 タタキ後ヘラケズリ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内斯	暗茶色 明茶褐色 淡茶灰色	
					内i				IST)	灰东风色	
416	BØ	自然河川 第3層	弥生土器 高杯		90 外i 40 内i	□ 摩滅のため調整不明 □ 摩滅のため調整不明	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡茶褐色	
	B⊠	自然河川	弥生土器			i 横ナデ	密	良好	斯外	淡橙茶色 淡橙褐色	
417	B区	第3層	高杯			「 ヘラミガキ	dr.		内断	橙黄褐色 淡黄褐色	
418	ΒŒ	自然河川 第3層	弥生土器 高杯	残存高 3. 復元口径 17.	00	□ 口縁部 横ナデ体部 剥離のため調整不明□ ヘラミガキ	密	良好	外内斯	淡橙色 《 淡橙白色	
419	B⊠	自然河川 第3層	弥生土器 高杯	口径 18.	00 外i 00 内i	Í ヘラミガキ Ī 杯部 ヘラミガキ	密 (砂粒含む)	良好	斯 外 内	橙色	
	В区	自然河川	弥生土器	底径 11. 残存高 10.	60 20 外i	脚部 _ ナデ j タタキ	密	良好	外	沙橙灰褐色	脚柱部内面に絞り痕
420	В区	第3層 自然河川	製塩土器			「 体部 剥離のため調整不明 脚部 ヘラケズリ	(細砂粒含む)	di 47	内断	ル 淡橙色 悪格にな	Big 44 from the section of the section of
421	DΙΔ	自然河川 第3層	弥生土器 製塩土器		10 外i 10 内i	Ĩ タタキ Ī 摩滅のため調整不明	やや粗	良好	外内断	黄橙灰色 黄灰色 暗灰色	脚柱部内面に絞り痕
422	B区	自然河川 第3層	弥生土器 製塩土器		70 外i 30	i 体部 タタキ 脚柱部 ヘラケズリ	やや粗 (砂粒含む)	良好	外内	淡橙褐色	脚柱部内面に絞り痕
					内	裾部 剥離のため調整不明 i 剥離のため調整不明			断	淡橙白色	
423	B区	自然河川 第3層	土師質土器 有孔土錘	幅 3.	35 手: 00	がくね	密	良好	外	淡黄茶褐色	完形
424	B区	自然河川	土師質土器	残存高 3.	65 50 外i	1 口縁部 横ナデ	密	良好	外	暗茶灰色	
424 [BΖ	第3層 自然河川	サヌカイト	復元口径 14. 残存長 1.	内印	- 頸部 ハケ目 Ī 横ナデ		ļ	内断	淡茶色 淡黄茶色	
	마요	第4層	楔形石器	残存幅 1.	35 30						
425	B区	自然河川 第4層	縄文土器 深鉢		20 外i	i ナデ 沈線 趣文 i ナデ	密 (砂粒含む)	良好	外内	黄灰褐色 ″	有文
425	DIV		1	1		「 体部 タタキ	やや粗	良好	断外	黒褐色	
426	B区	自然河川	弥生土器					及刈		茶黄色	
426	B区	第4局	壺又は甕	底径 4.	50 内ī	底部 指オサエ及びナデ i ハケ目	(小石・砂粒含む)		内断	暗灰褐色 淡橙褐色	
				底径 4.	50 内i 90 外i	底部 指オサエ及びナデ [ハケ目 脚柱部 ヘラミガキ 裾部 ナデ		良好	内	暗灰褐色	杯底部に粘土円盤充填 脚部に円形四方スカシ



上空から見た向出遺跡(北より)



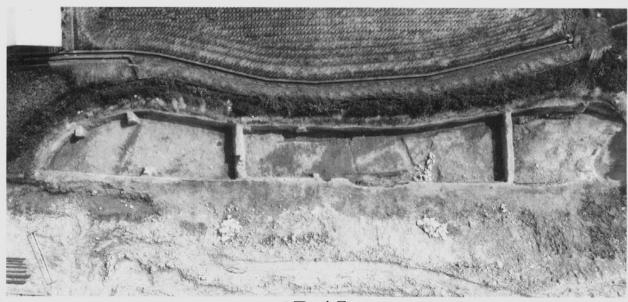
調査区遠景(南より)



A区1・2トレンチ 全景



A区3トレンチ 全景



B区 全景



A区1トレンチ 東側断面



A区2トレンチ 東側断面



A区3トレンチ 東側断面



A区1トレンチ 土坑1 東側断面



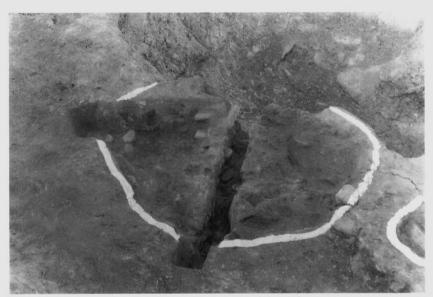
A区1トレンチ 土坑1 (北より)



A区2トレンチ 土坑2 南側断面



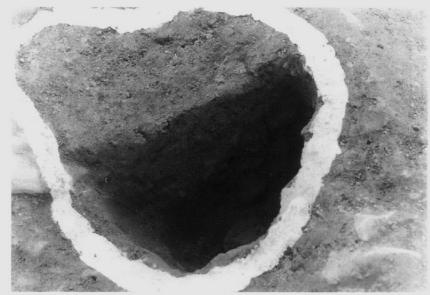
A区2トレンチ 土坑3 西側断面



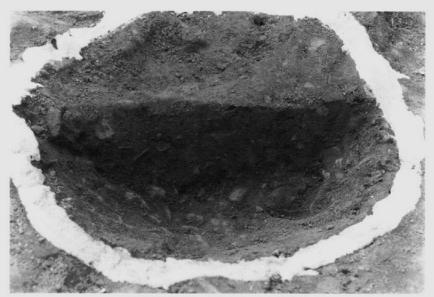
A区2トレンチ 土坑3(南より)



A区1トレンチ ピット1 (東より)



A区1トレンチ ピット2 西側断面



A区1トレンチ ピット3 西側断面



A区3トレンチ ピット5(北より)



B区 東側断面



B区 西側断面



B区 土坑5 南側断面



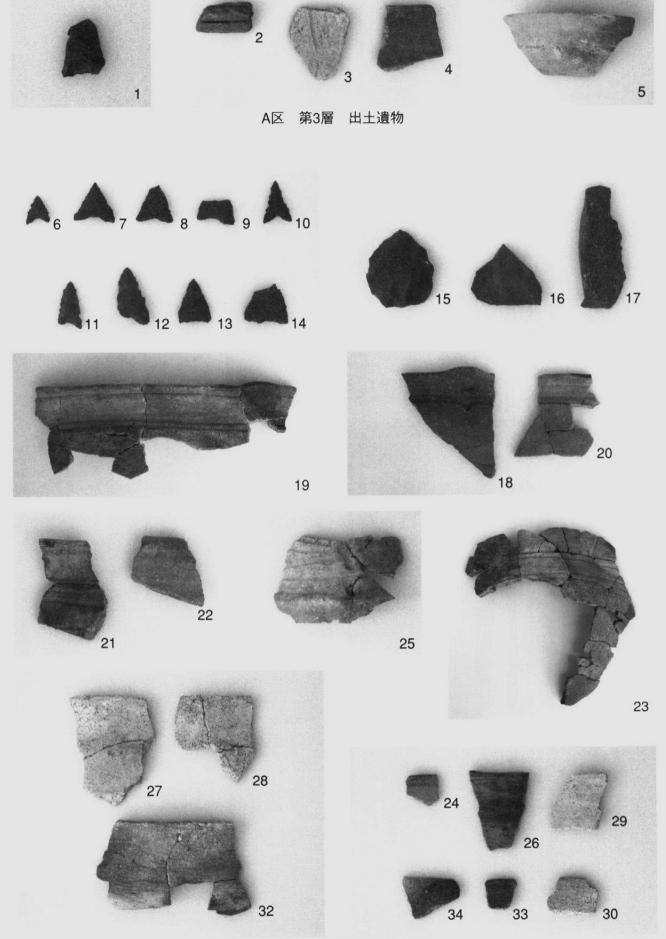
B区 土坑5(北より)



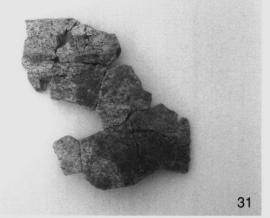
B区 溝1(西より)



B区 自然河川 列石(南より)



A区1トレンチ 土坑1 出土遺物

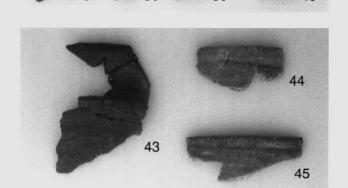


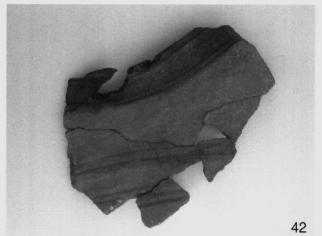


A区1トレンチ 土坑1 出土遺物











A区2トレンチ 土坑3 出土遺物

46

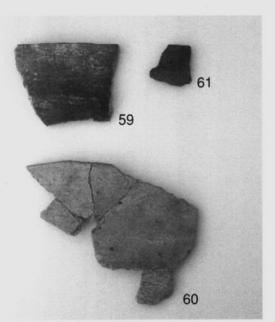


50 51 52 54 57 58

A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



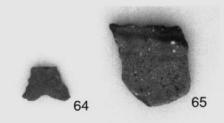
A区2トレンチ 土坑3 出土遺物



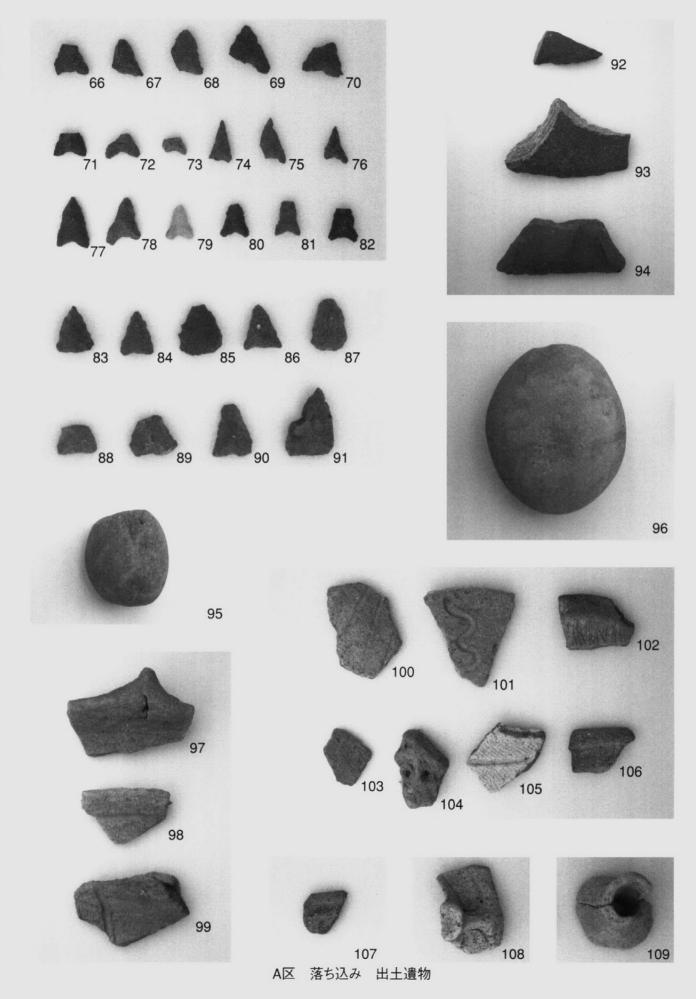
A区2トレンチ 土坑3 出土遺物

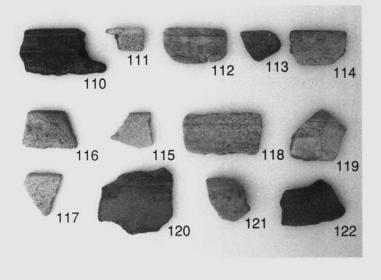


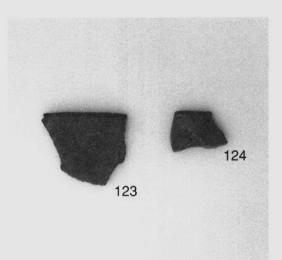
A区2トレンチ 土坑3 出土遺物

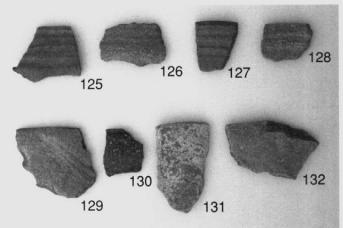


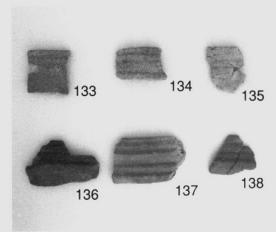
A区3トレンチ ピット5 出土遺物

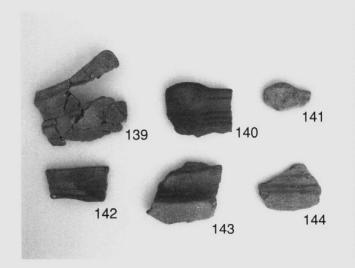


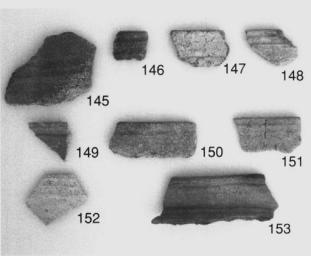


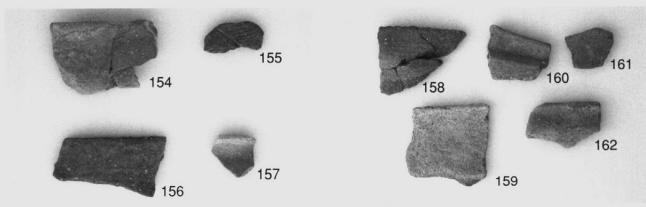




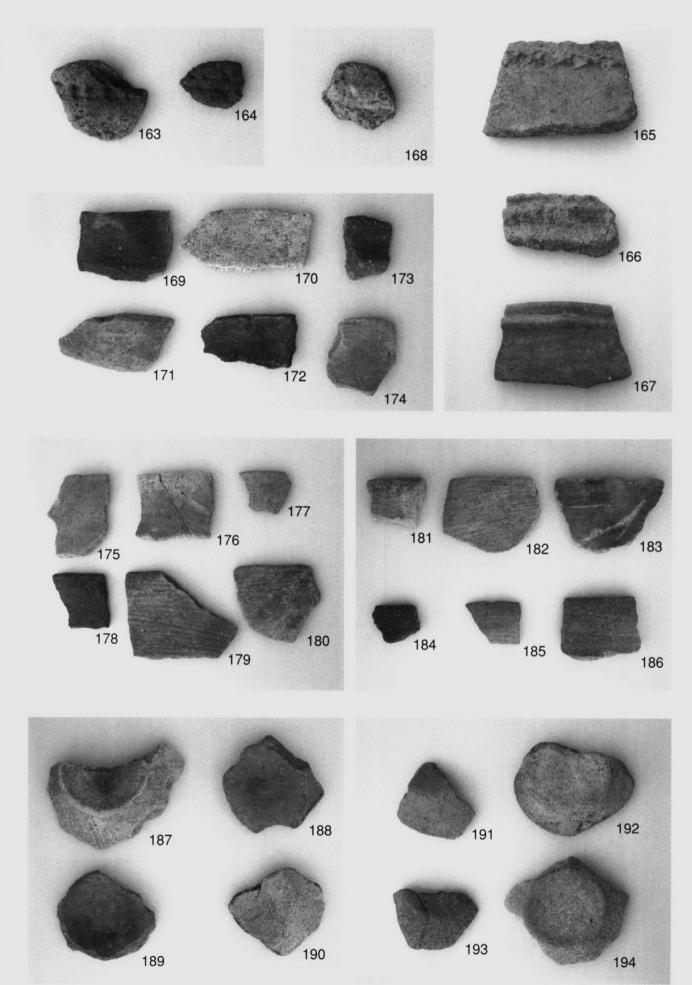




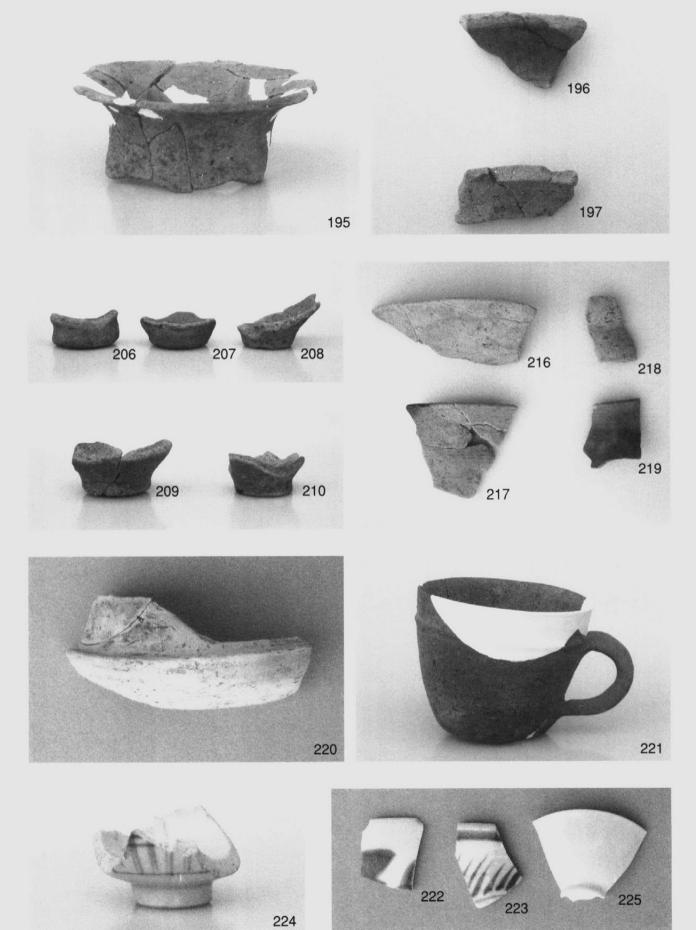




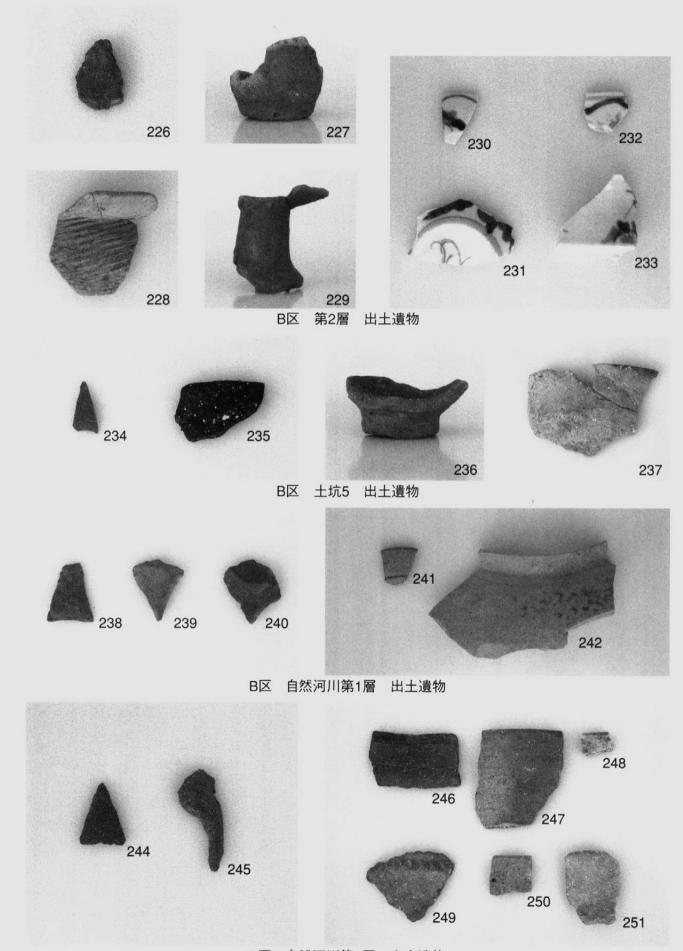
A区 落ち込み 出土遺物



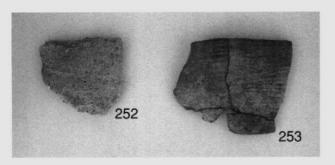
A区 落ち込み 出土遺物



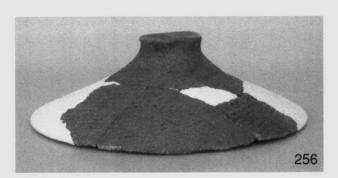
A区 落ち込み 出土遺物



B区 自然河川第2層 出土遺物















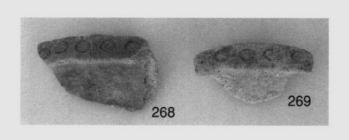


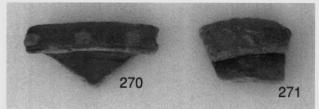


B区 自然河川第2層 出土遺物

267

265





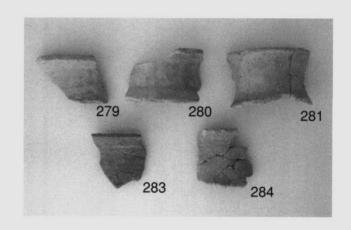








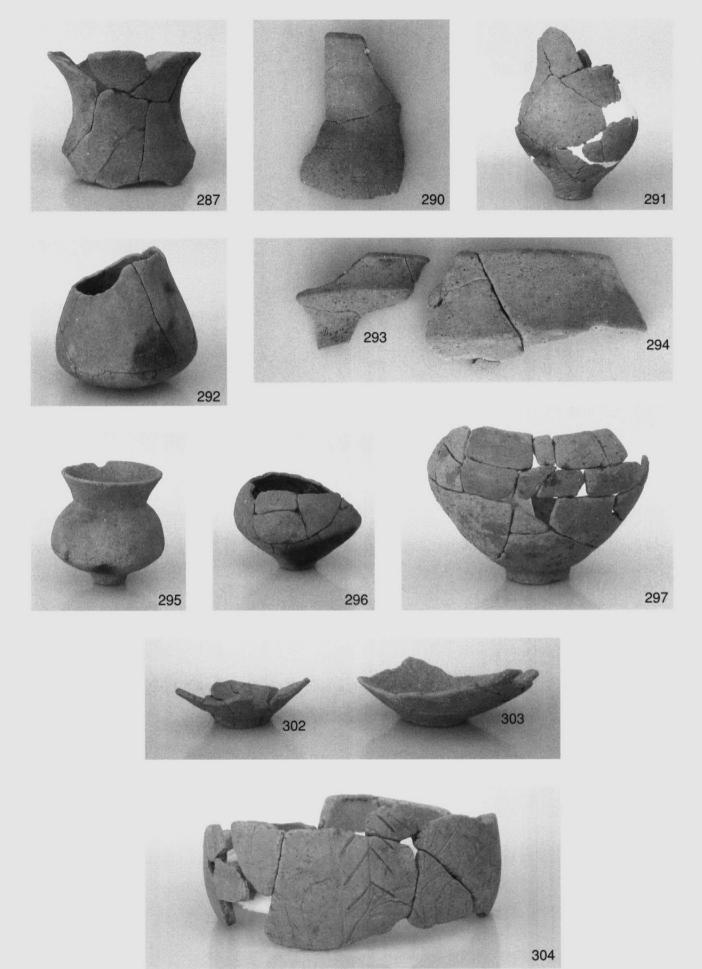




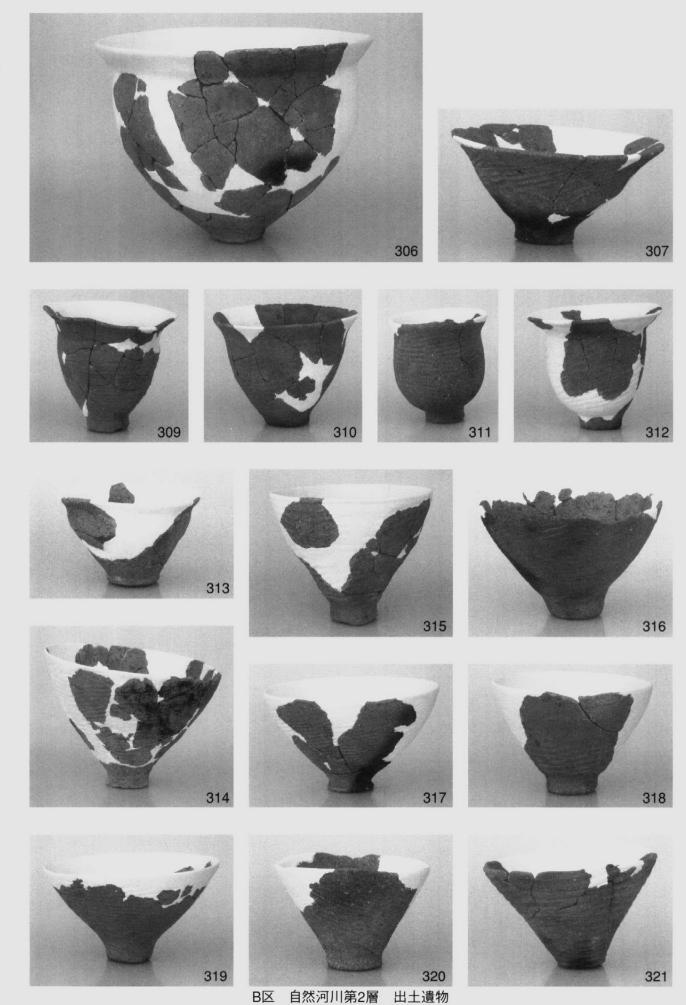




B区 自然河川第2層 出土遺物



B区 自然河川第2層 出土遺物



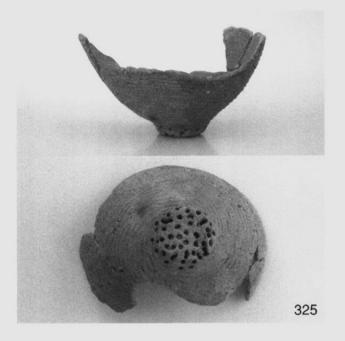
 $B\boxtimes$

自然河川第2層









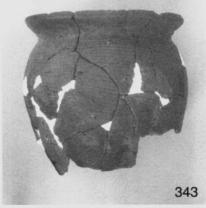






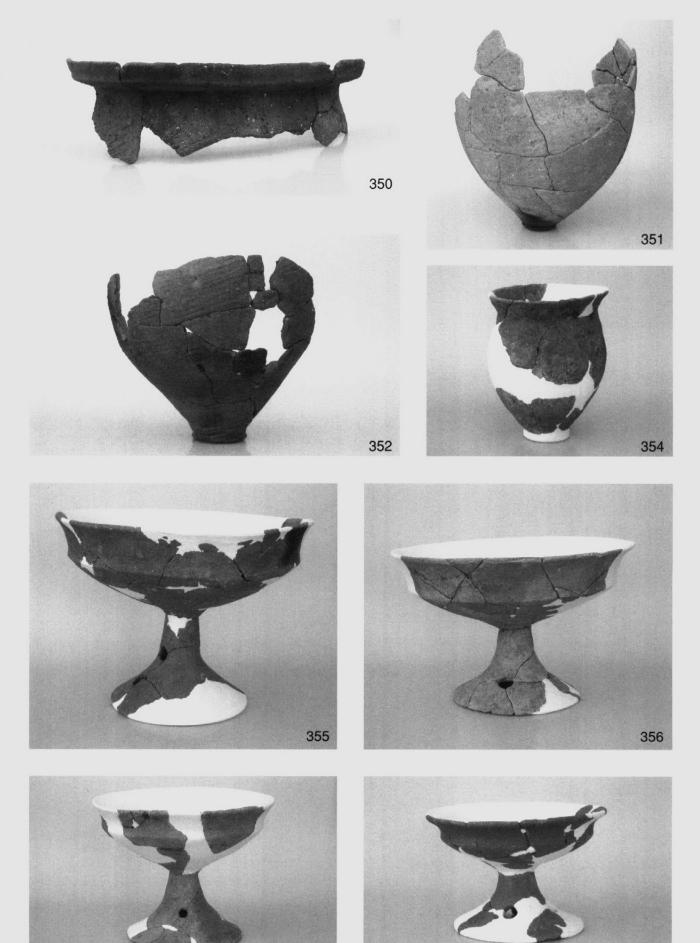








B区 自然河川第2層 出土遺物

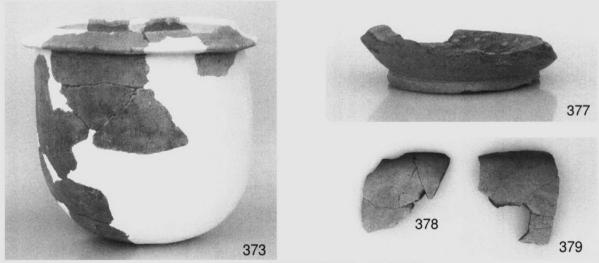


B区 自然河川第2層 出土遺物

360

358





B区 自然河川第2層 出土遺物



報告書抄録

ふりがな むかいでいせきはっくつちょうさほうこくしょ												
書 名 向出遺跡発掘調査報告書												
副書名	00-1区											
卷 次												
シリーズ名 阪南市埋蔵文化財報告												
シリーズ番号	43											
編 著 者 名 三好義三・田中早苗・上野 仁・横澤 慈・横田明日香												
編 集 機 関 阪南市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課												
所 在 地 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5678												
発行年月日	2009年 3 月 31 日											
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな コード 北 緯 東 経 調査期間 調査面積 調 面 所在地 市町村番号 遺跡番号 。 / " 。 / " 。 / " 。 月 面 所 原 因											
かい で い せき 向 出 遺 跡	世 禁											

遺跡名	種別主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
向 出 遺 跡	散布 地 縄文時代〜近世期	土坑、溝、 ピット、 落ち込み	縄文土器・弥生土器・土師器・ 須恵器・黒色土器・瓦器・陶器・ 磁器など	土坑1および 土坑3から焼 骨が出土。

阪南市埋蔵文化財報告 43

向出遺跡発掘調査報告書 一 0 0 - 1 区 一

2009年3月

発 行:阪 南 市 教 育 委 員 会 生涯学習部生涯学習推進課

大阪府阪南市尾崎町35の1

印刷所:株式会社 带 谷 印 刷 所 大阪府貝塚市北町19番14号